

滝沢市
子育てに関するアンケート調査

調査結果報告書

平成26年3月

滝沢市

目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査内容.....	3
3. 調査対象及び調査方法.....	4
4. 調査票の回収状況.....	4
5. 報告書の見方.....	4
II. 調査結果の概要.....	5
III. 調査結果.....	9
1. お子さんご家族の状況について.....	11
2. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	15
3. 保護者の就労状況について.....	17
4. 平日の定期的な幼児教育・保育事業の利用状況について.....	24
5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼児教育・保育事業の利用希望.....	34
6. 放課後児童クラブの利用状況について.....	42
7. 放課後児童クラブの利用希望について.....	48
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	53
9. 小学校卒業までの放課後の過ごし方について.....	57
10. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	61
11. 病気の際の対応について.....	62
12. 不定期の保育サービスの利用について.....	67
13. 育児休業など職場の両立支援制度について.....	73
14. 子どもの虐待について.....	83
15. 市の子育て支援全般について.....	85
IV. 資料.....	97

I. 調查概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

滝沢市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたって、教育・保育事業の需要量の見込みを設定するうえでの基礎資料とするため、本調査を実施した。

2. 調査内容

- ・お子さんとご家族の状況について
- ・子どもの育ちをめぐる環境について
- ・保護者の就労状況について
- ・平日の定期的な幼児教育・保育事業の利用状況について
- ・土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼児教育・保育事業の利用希望
- ・放課後児童クラブの利用状況について
- ・放課後児童クラブの利用希望について
- ・小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ・小学校卒業までの放課後の過ごし方について
- ・地域の子育て支援事業の利用状況について
- ・病気の際の対応について
- ・不定期の保育サービスの利用について
- ・育児休業など職場の両立支援制度について
- ・子どもの虐待について
- ・市の子育て支援全般について

3. 調査対象及び調査方法

- ①調査地域
 - ・滝沢市内
- ②調査対象者
 - ・滝沢市に在住する就学前児童の保護者
 - ・滝沢市に在住する小学生の保護者
- ③標本数
 - ・就学前児童の保護者：2,000名、小学生の保護者：2,000名
- ④標本抽出方法
 - ・無作為抽出
- ⑤調査期間
 - ・平成25年12月7日から平成26年1月6日
- ⑥調査方法
 - ・郵送配布、郵送回収
- ⑦調査実施機関
 - ・滝沢市

4. 調査票の回収状況

	就学前	小学生	合計
標本数	2,000	2,000	4,000
有効回収数（率）	1,043（52.2%）	1,056（52.8%）	2,099（52.5%）

5. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。
- ・就学前児童の年齢については、0歳～5歳と表記しています。各年齢が該当する誕生日は次の通りです。

「0歳」＝平成24年4月以降

「3歳」＝平成21年4月～平成22年3月

「1歳」＝平成23年4月～平成24年3月

「4歳」＝平成20年4月～平成21年3月

「2歳」＝平成22年4月～平成23年3月

「5歳」＝平成19年4月～平成20年3月

II. 調査結果の概要

II. 調査結果の概要

1. 子どもの育ちをめぐる環境について

子どもの面倒をみてもらえる親族・友人が「いない」のは、就学前・小学生児童とも全体の15%ほどとなっている。

2. 保護者の就労について

母親の就労状況は、子どもの年齢が高くなるにつれて、「フルタイム」「パート・アルバイト」のどちらも多くなる傾向にある。また、両親が働いている「共働き世帯」は就学前では全体の半数、小学生では全体の約6割となっている。

母親の就労希望では、パートからフルタイムへ転換したい人は4割以下で、パート・アルバイトで引き続き就労していきたい意向の方が多くなっている。

3. 平日の定期的な幼児教育・保育事業の利用について

現在の利用状況では、0歳時点では全体の25%が利用しており、5歳時点では98%になり、年齢とともにほぼ全員が利用するようになる。

利用希望においては、「認可保育所」「幼稚園」が、それぞれ全体の半数近くを占めており、「幼稚園での預かり保育」「認定こども園」等の利用希望は全体の25%程度となっている。

4. 放課後児童クラブの利用について

現在の利用状況では、1年生時点では全体の半数が利用しており、6年生時点では10%以下になり、年齢とともに利用が減少している。

利用希望においても、利用状況と同様の水準での変化となっており、児童クラブの利用については実態と需要のバランスが取れているといえる。

両親の就労状況で見ると、共働きの家庭において利用希望が多くなっている。

5. 虐待について

虐待を目撃したり、相談されたりなど、何らかの手段で認知した人は全体の20%以下となっている。また、虐待を認知した人の内、役場などの公的な組織に連絡した人は全体の10%に満たない結果となっている。

6. 市の子育て支援について

子育てに関する負担感について、「負担を感じる」という意見が「負担を感じない」とする意見よりも多い。一方で、子育て環境や支援に対する満足度については、「満足している」という意見が多い結果となっている。

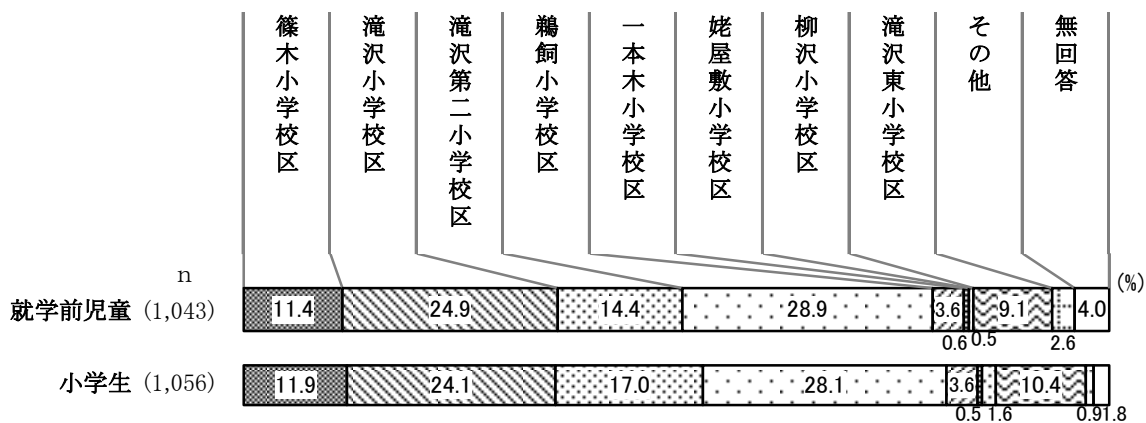
III. 調查結果

Ⅲ. 調査結果

1. お子さんご家族の状況について

7. 居住地域

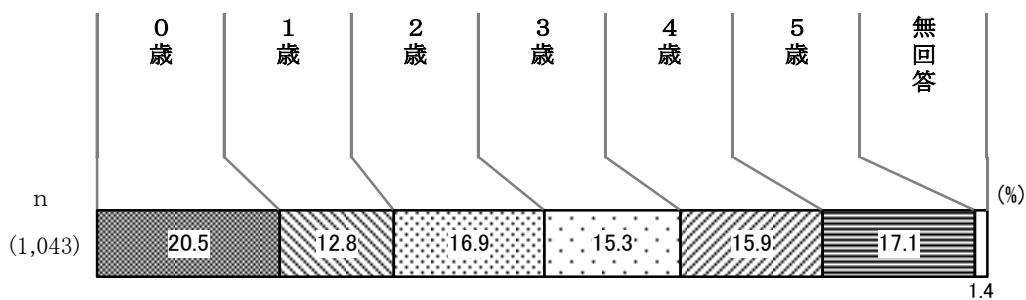
図表 1 居住地域



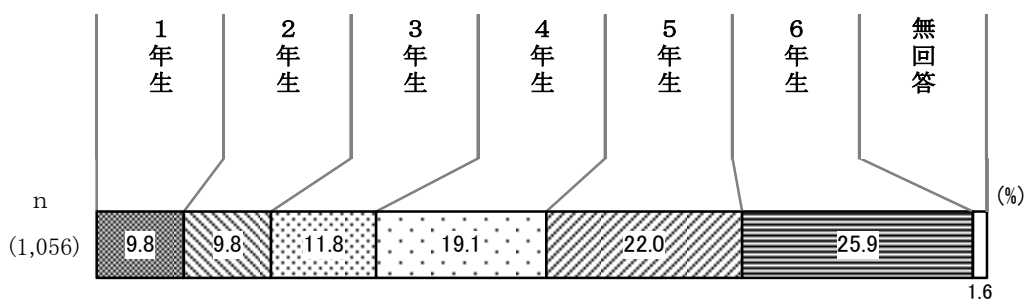
8. お子さんの年齢・学年

図表 2 お子さんの年齢・学年

【就学前児童】

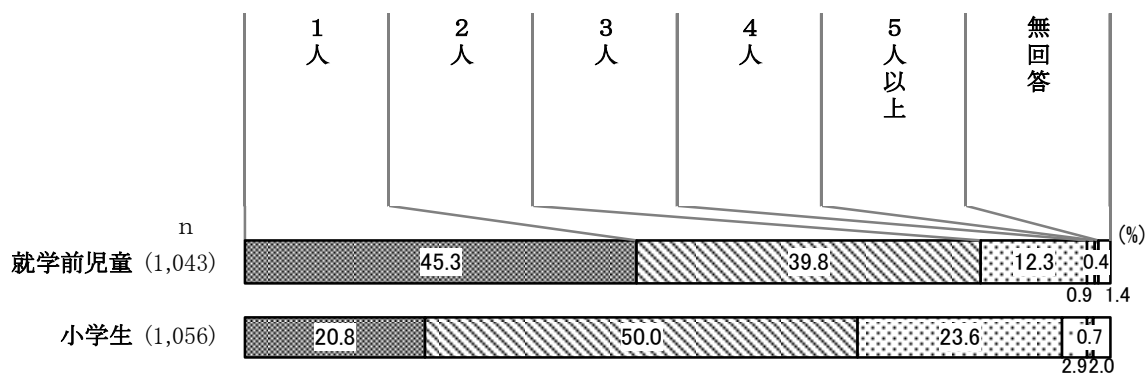


【小学生】



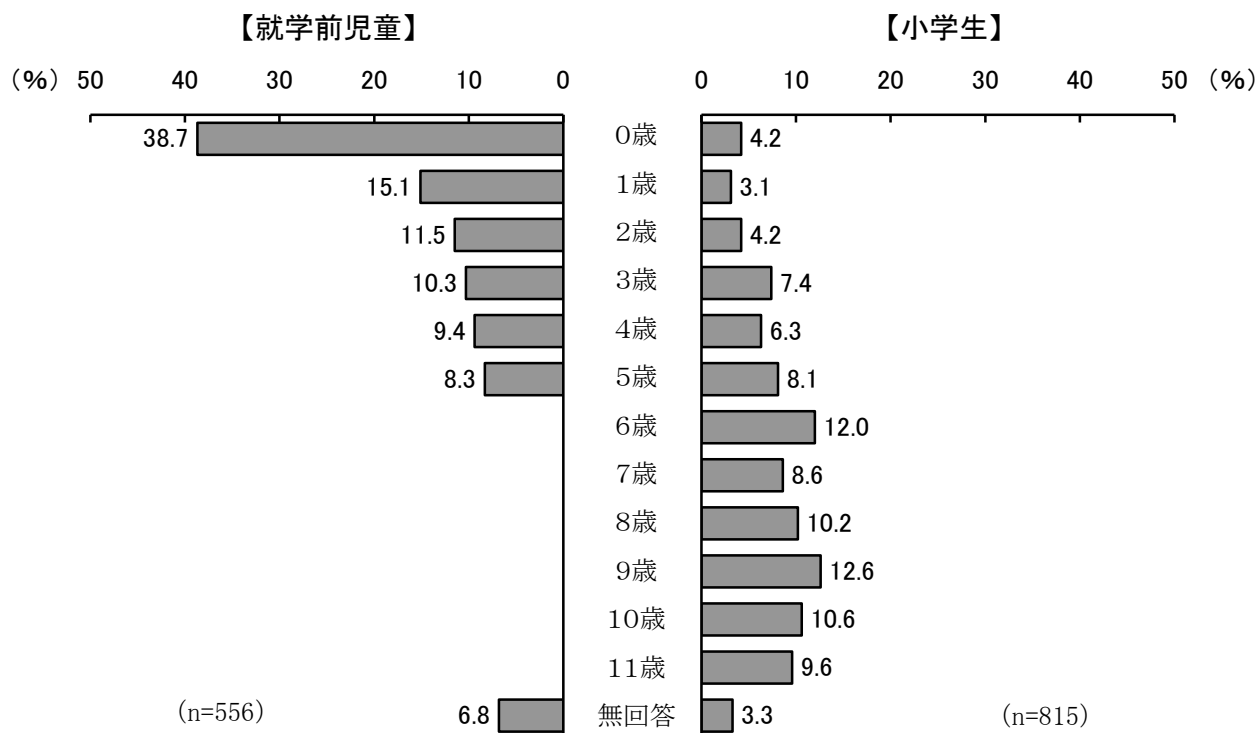
9. きょうだいの人数

図表 3 きょうだいの人数



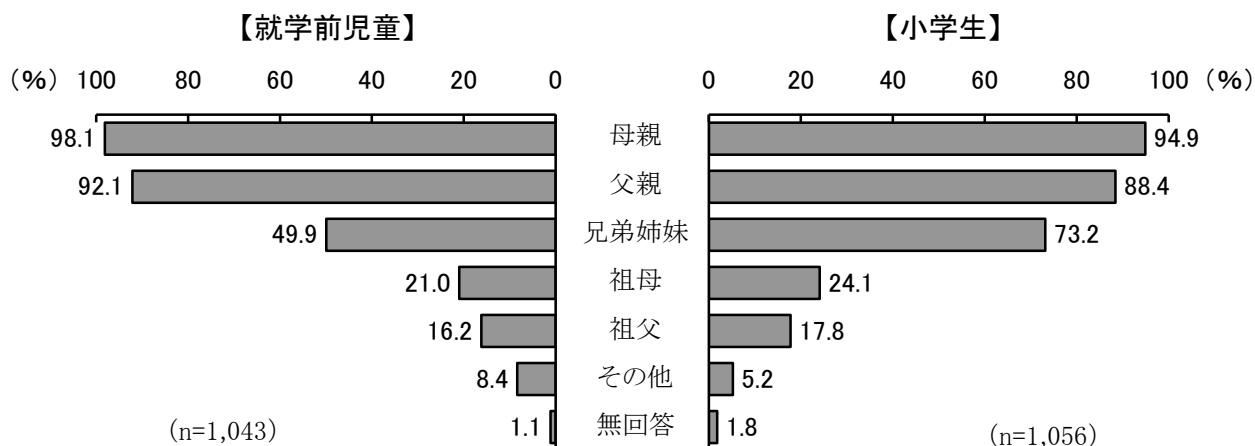
10.末子の年齢

図表 4 末子の年齢



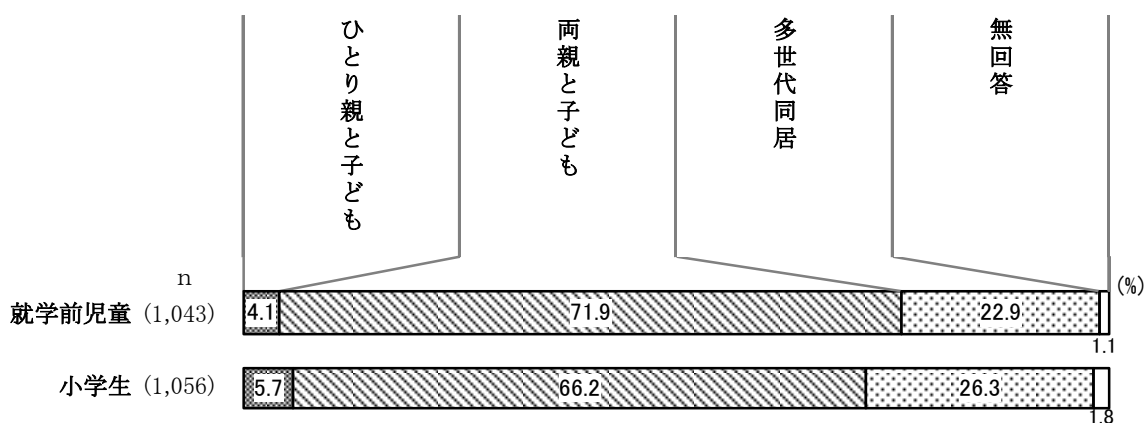
11.同居家族

図表 5 同居家族



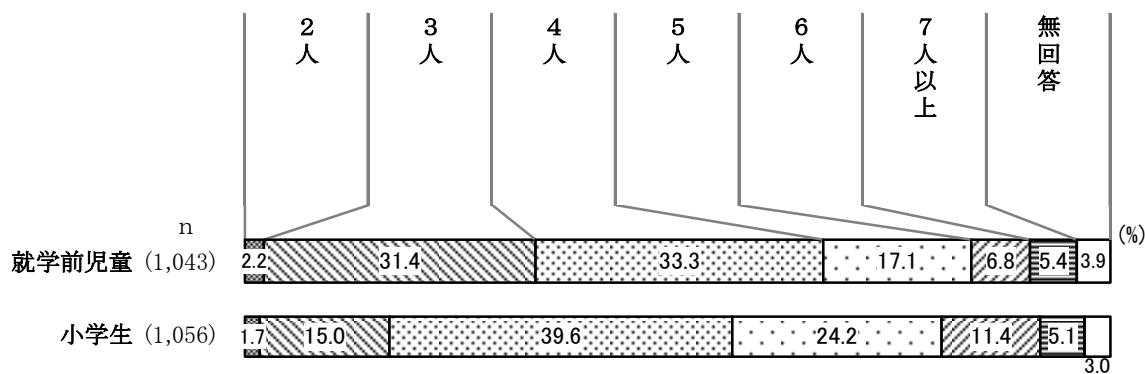
12.家族構成

図表 6 家族構成



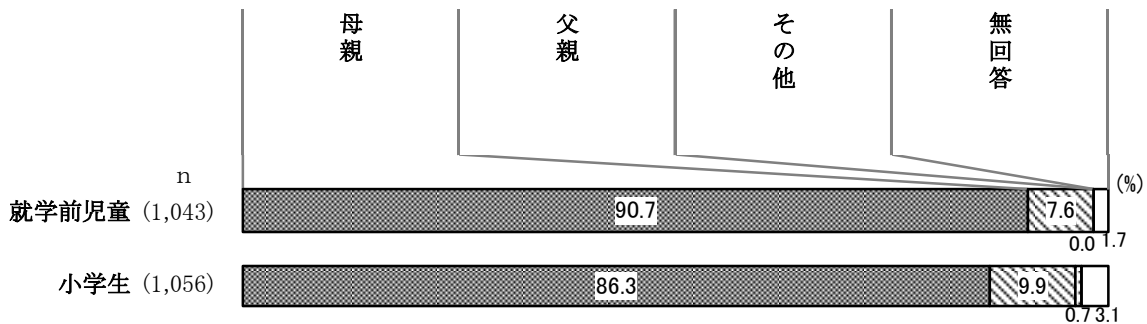
13.家族人数

図表 7 家族人数



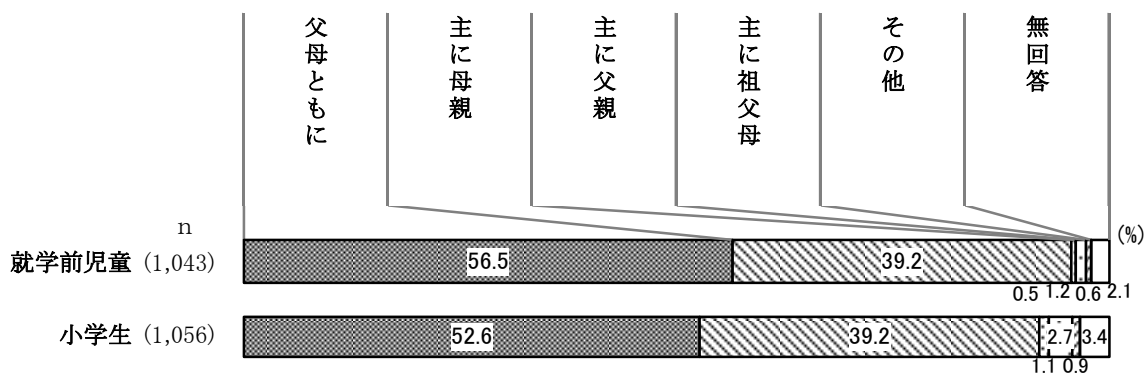
14.調査票の回答者

図表 8 調査票の回答者



15.主に子育てを行っている人

図表 9 主に子育てを行っている人



2. 子どもの育ちをめぐる環境について

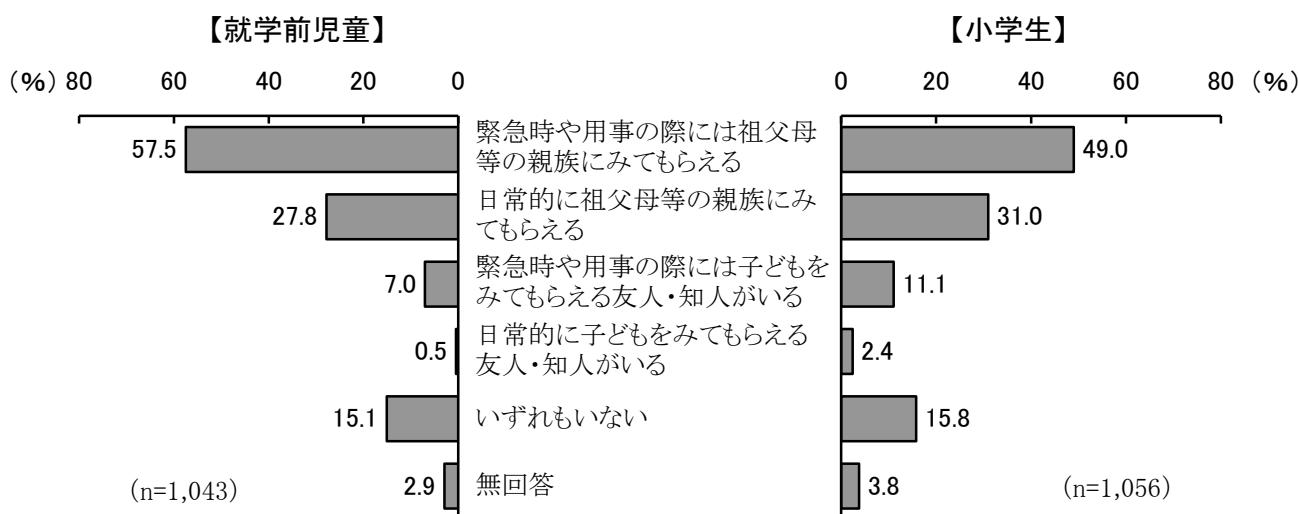
1. 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【〇は当てはまるものすべて】
【就学前：問7、小学生：問7】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、就学前児童・小学生ともに「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高い。以下、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の順となっている。

なお、「いずれもない」は就学前児童・小学生のいずれも1割半ばとなっている。(図表 10)

図表 10 子どもをみてもらえる親族・知人の有無/全体



2. 親族、友人、知人に子どもをみてもらっている状況

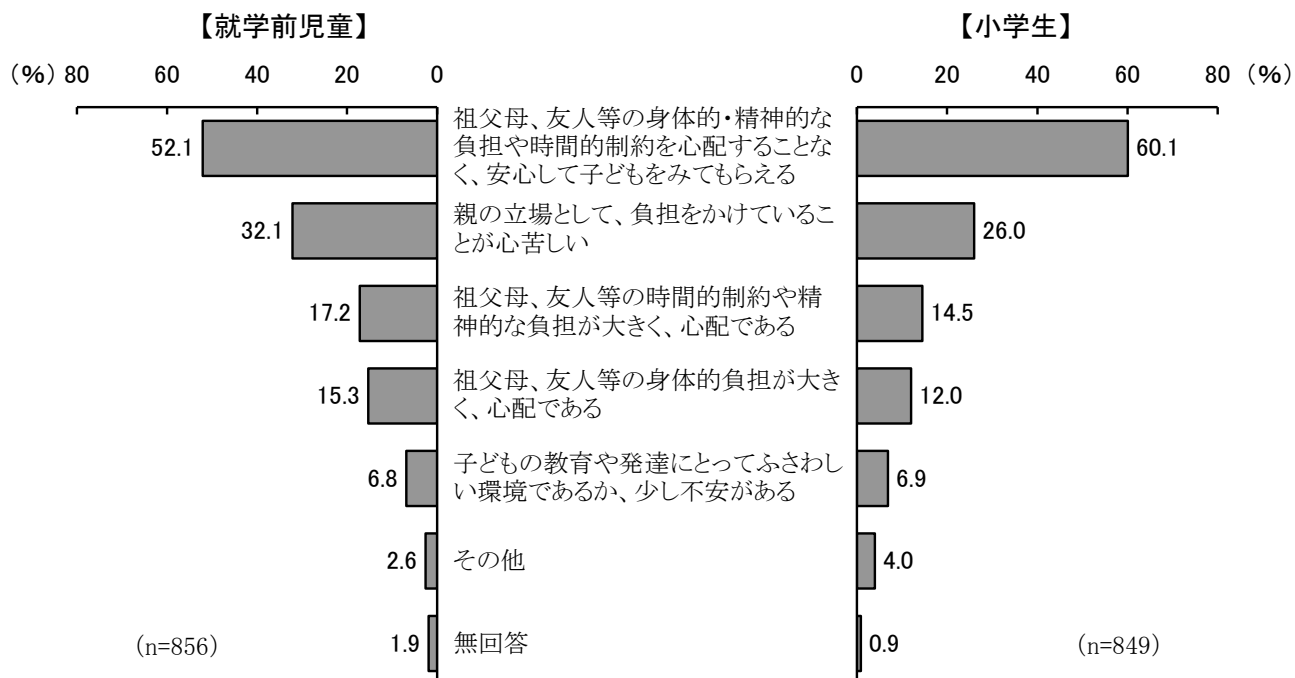
問 祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【〇は当てはまるものすべて】

【就学前：問 7-1、小学生：問 7-1】

※ 『1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で「みてもらえる親族・知人がいる」と回答した方のみ

親族、友人、知人に子どもを見てもらっている状況については、就学前児童・小学生ともに「祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が5割を超えて最も高い。以下、「親の立場として負担をかけていることが心苦しい」、「祖父母、友人等の時間的制約や精神的負担が大きく、心配である」、「祖父母、友人等の身体的負担が大きく、心配である」の順となっている。(図表 11)

図表 11 親族、友人、知人に子どもをみてもらっている状況／全体



3. 保護者の就労状況について

1. 保護者の就労状況

問 ご両親の就労状況についてうかがいます。

【就学前：問 8・8-1・8-2・9・9-1・9-2、小学生：問 8・8-1・8-2・9・9-1・9-2】

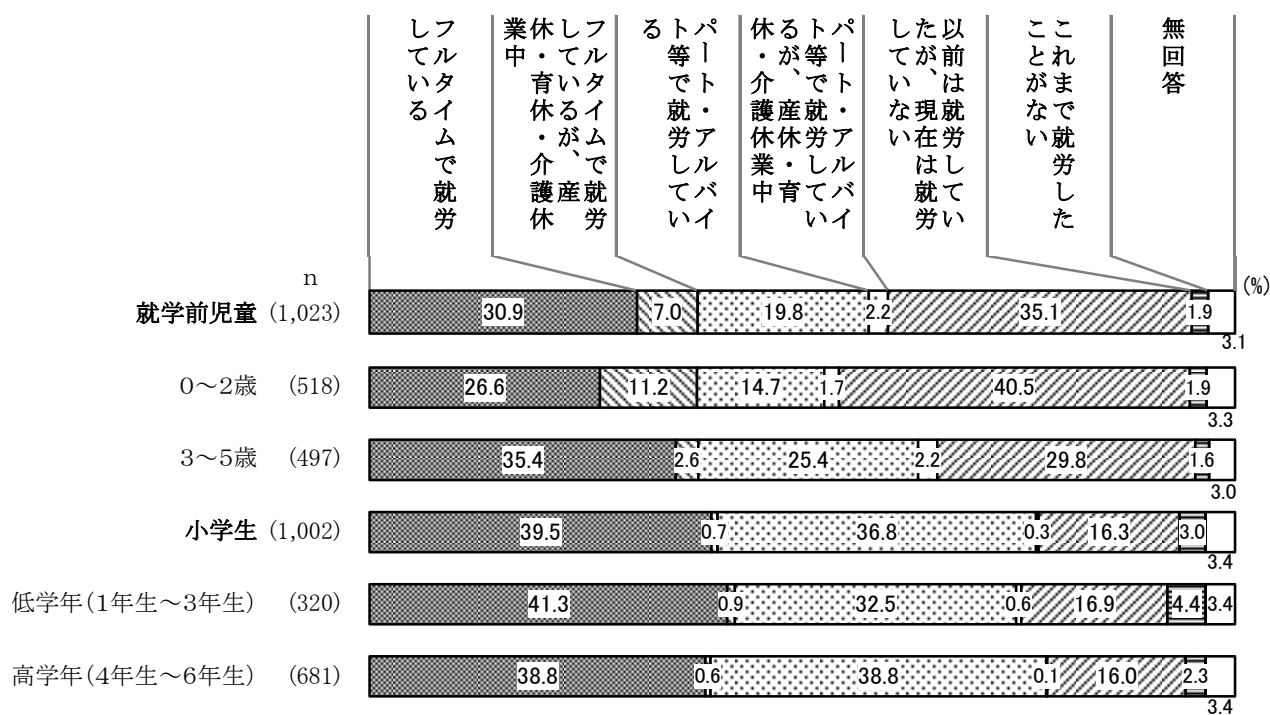
保護者の就労状況について尋ねた。

母親では、0～2歳の就学前児童で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が40.5%と最も高くなっているが、その他の年齢・学年では「フルタイムで就労している」が最も高い。(図表 12)

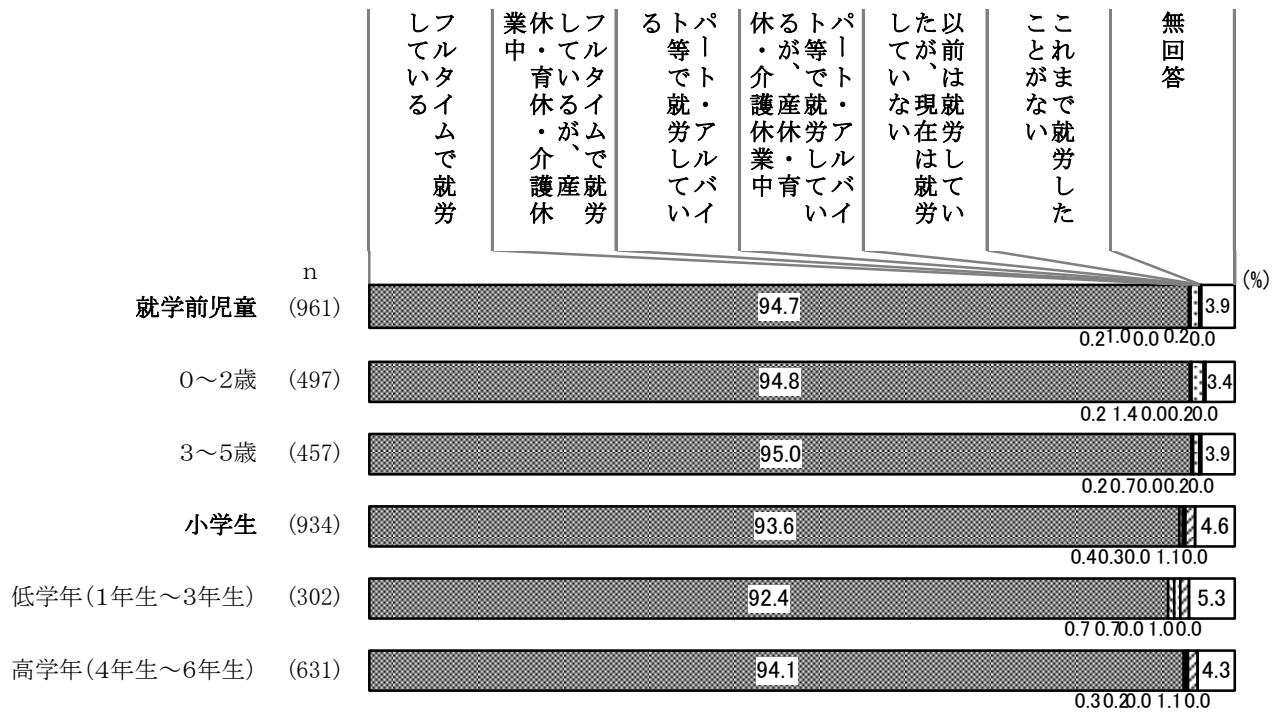
父親では、「フルタイムで就労している」が全ての年齢・学年において9割を超えている。(図表 13)

母親・父親の回答をもとに両親の就労状況を算出したところ、「共働き」がほぼ全ての年齢・学年で半数を超え、小学生では6割以上を占めている。(図表 14)

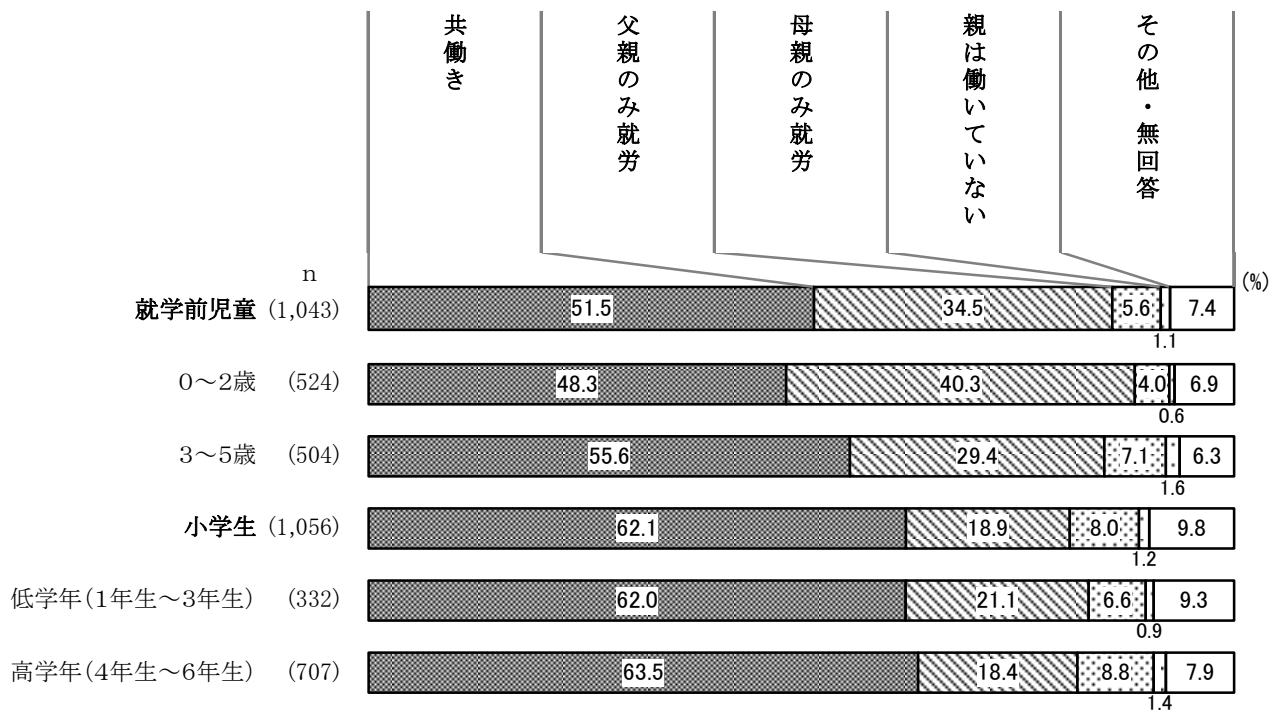
図表 12 就労状況（母親）／年齢・学年別



図表 13 就労状況（父親）／年齢・学年別



図表 14 両親の就労状況／年齢・学年別



< 1 週当たりの平均就労時間・出発時間・帰宅時間 >

※『1 保護者の就労状況』で「就労している（産休・育休・介護休業中を含む）」と回答した方のみ

1 週当たりの平均就労時間については、母親・父親ともに小学生より就学前児童で値が高い。

母親は、就学前児童の方が出発時間は早く、帰宅時間は遅くなっている。一方父親は就学前児童の方が出発・帰宅ともに遅くなっている。（図表 15）

図表 15 1 週当たりの就労時間・家を出る時間・帰宅時間／全体

【母親】

	週あたりの 平均合計就労時間	平均出発時間	平均帰宅時間
就学前児童 (n=613)	37.18 時間	8.19 時	17.91 時
小学生 (n=775)	35.70 時間	8.24 時	17.50 時

【父親】

	週あたりの 平均合計就労時間	平均出発時間	平均帰宅時間
就学前児童 (n=922)	53.72 時間	7.59 時	20.00 時
小学生 (n=881)	52.53 時間	7.44 時	19.92 時

2. フルタイムへの転換希望

問 フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

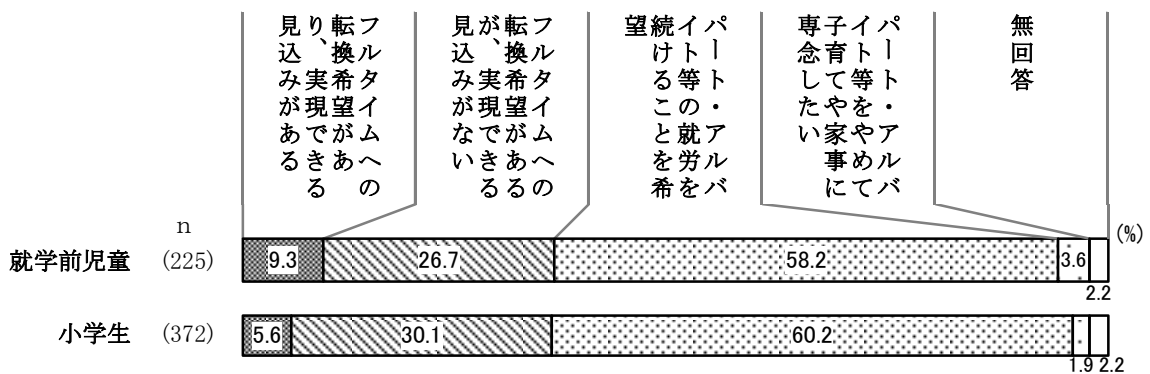
【就学前：問 8-3・9-3、小学生：問 8-3・9-3】

※『1 保護者の就労状況』で「パート・アルバイト等で就労している（産休・育休・介護休業中を含む）」と回答した方のみ

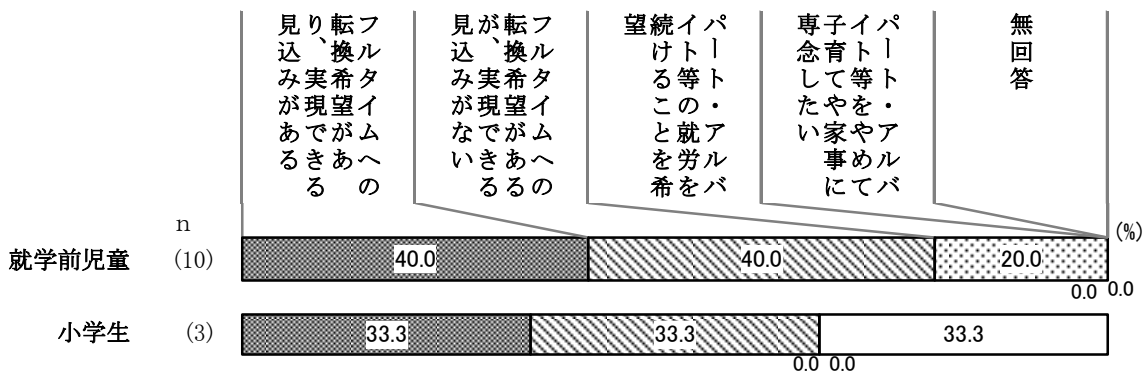
フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童・小学生ともに約6割と高い比率を示している。（図表 16）

父親においてはパート・アルバイト等での就労より、フルタイムへの転換を希望する傾向がある。（図表 17）

図表 16 フルタイムの転換希望（母親）／全体



図表 17 フルタイムの転換希望（父親）／全体



3. 就労希望の有無

問 就労したいという希望はありますか。また、希望する就労形態はなんですか。

【就学前：問 8-4・9-4、小学生：問 8-4・9-4】

※ 『1 保護者の就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」・「これまで就労したことがない」と回答した方のみ

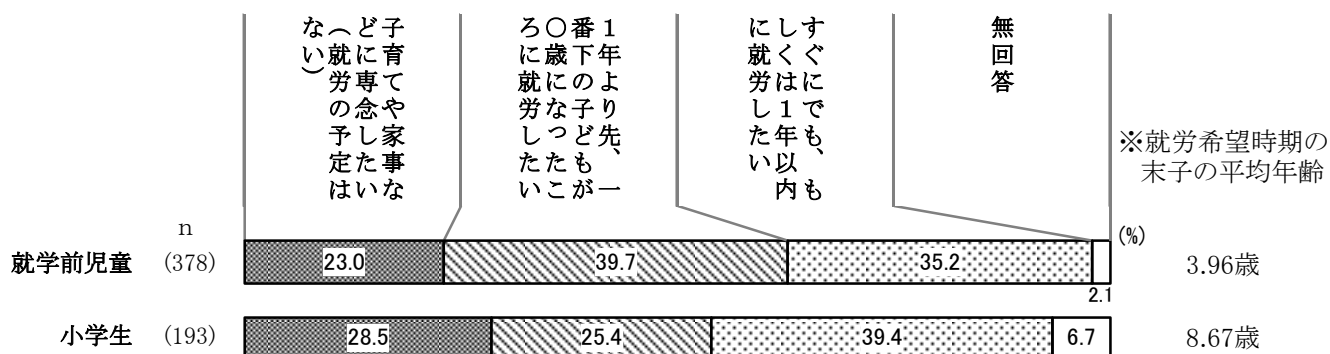
<就労希望>

就労希望の有無については、母親の就学前児童で「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」、小学生で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も高い。(図表 18)

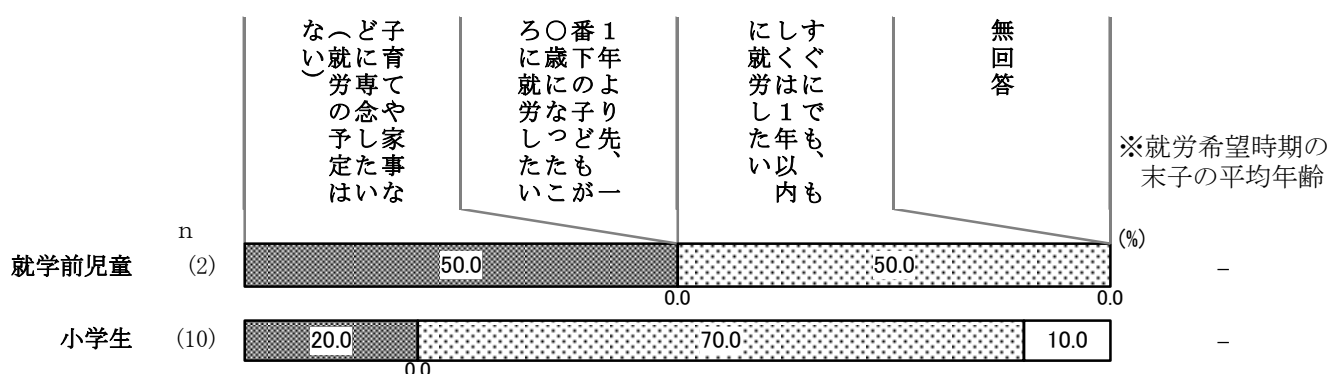
父親では、小学生で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が7割を占めている。(図表 19)

なお、1年より先に就労したい場合の、末子の平均年齢は、就学前児童の母親で3.96歳、小学生の母親で8.67歳となっている。父親については、回答対象者がなかった。(図表 18、図表 19)

図表 18 就労希望の有無（母親）／全体



図表 19 就労希望の有無（父親）／全体



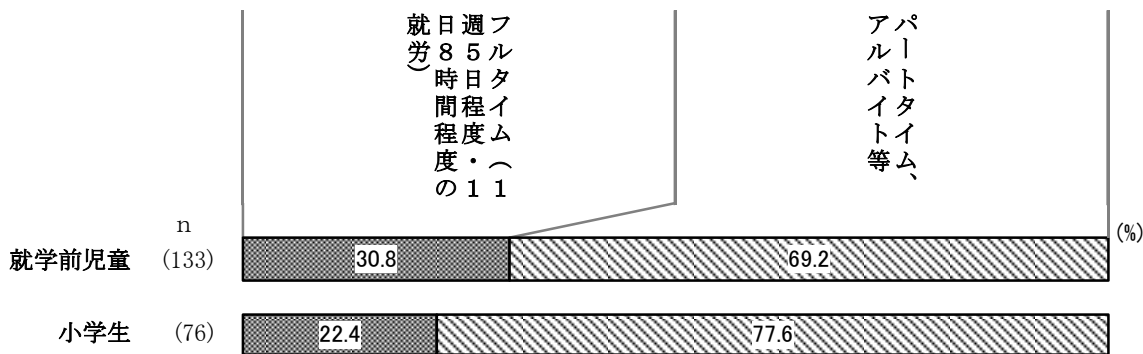
<希望する就労形態>

※「3 就労希望の有無」で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ

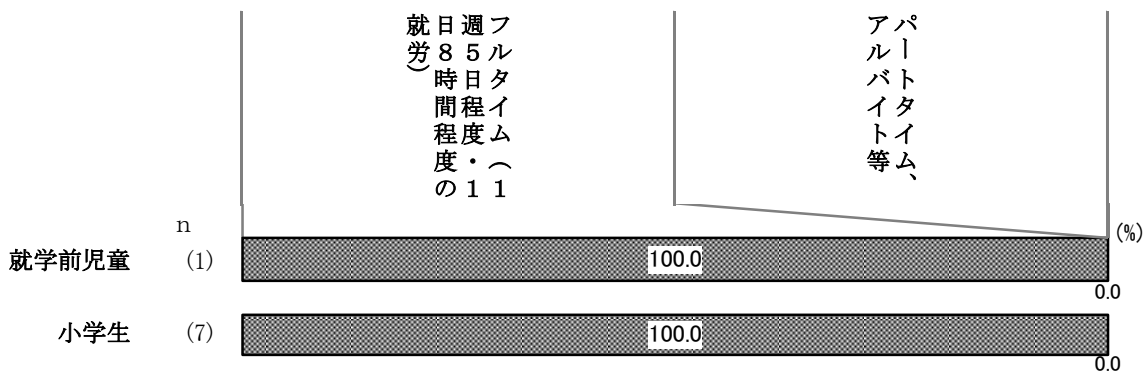
希望する就労形態について、母親では「パートタイム・アルバイト等」が就学前児童 69.2%、小学生 77.6%と最も高い。(図表 20)

父親では全ての回答が「フルタイム」となっている。(図表 21)

図表 20 希望する就労形態（母親）／全体



図表 21 希望する就労形態（父親）／全体



<1 週当たりの就労希望時間>

※「3 就労希望の有無」で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ

母親の平均就労希望時間は、就学前児童では23.18時間、小学生では22.59時間と、就学前児童が小学生を上回っている。

なお、父親については回答対象者がなかった。(図表 22)

図表 22 1 週当たりの就労希望時間／全体

【母親】

	週あたりの 平均合計就労希望時間
就学前児童 (n=92)	23.18 時間
小学生 (n=59)	22.59 時間

【父親】

	週あたりの 平均合計就労希望時間
就学前児童 (n=0)	—
小学生 (n=0)	—

4. 平日の定期的な幼児教育・保育事業の利用状況について

1. 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無

問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「幼児教育・保育事業」を定期的にご利用されていますか。【〇は1つ】

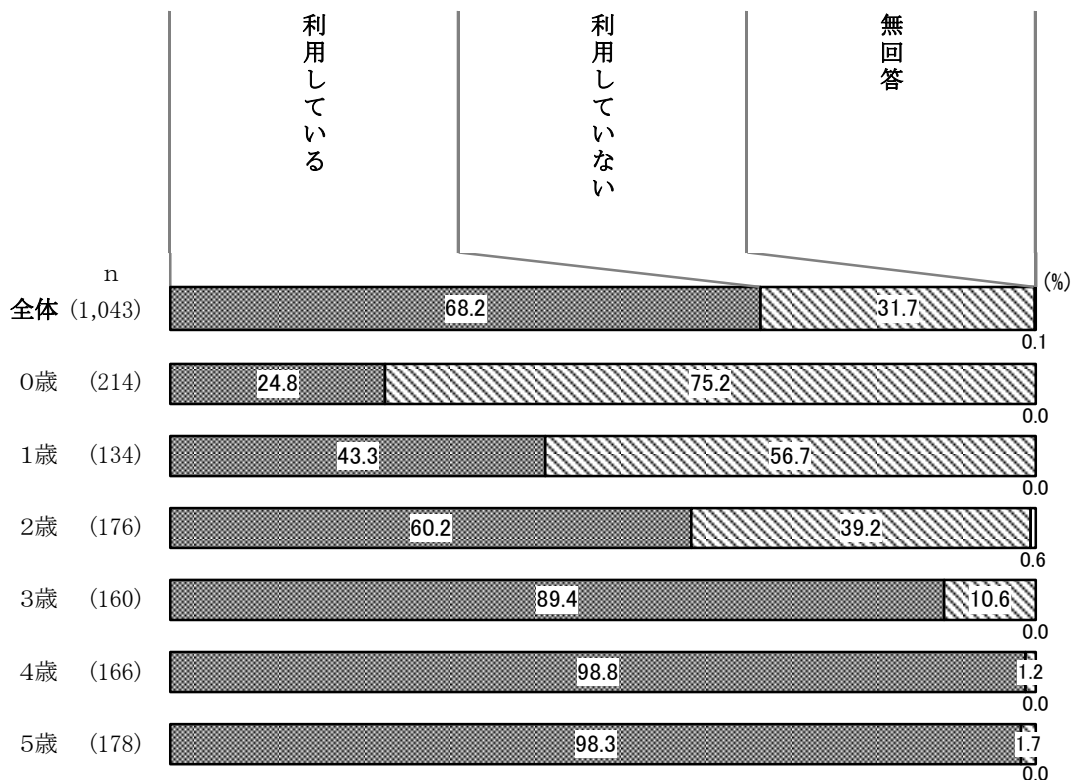
【就学前：問 10】

定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無について、年齢別にみると 0～1 歳では「利用していない」の比率が高いが、2 歳以上で「利用している」が高くなり、4～5 歳では 9 割を超える。(図表 23)

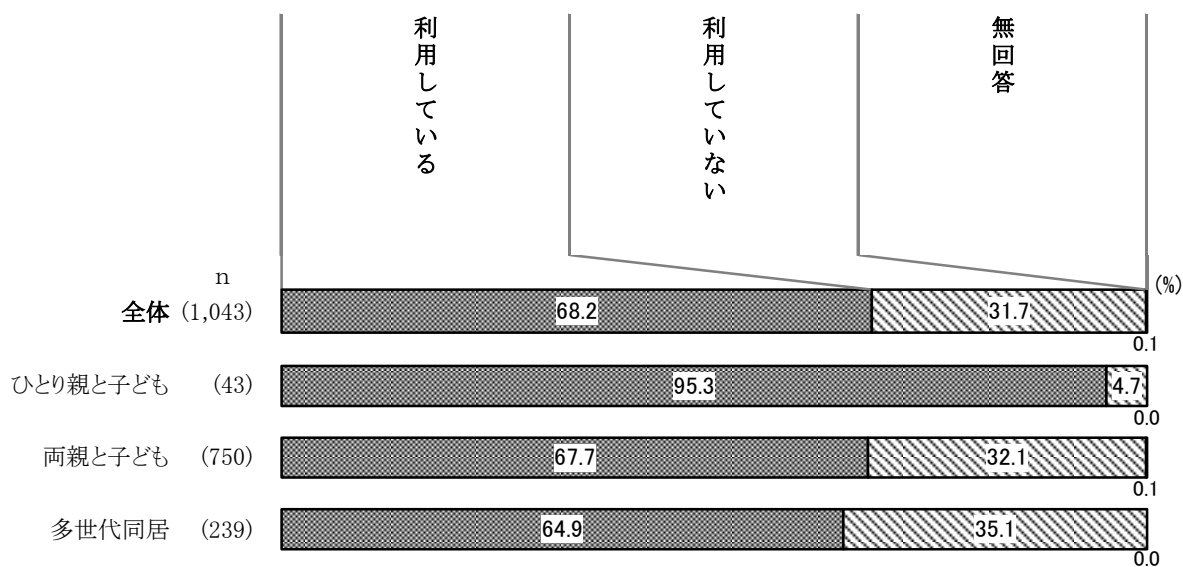
家族構成別にみると、「利用している」がひとり親と子どもの家庭で 95.3%と目立って高い。(図表 24)

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の家庭を除く全てで「利用している」が高く、特に共働きの家庭・母親のみ就労の家庭では 8 割を超えて高い。(図表 25)

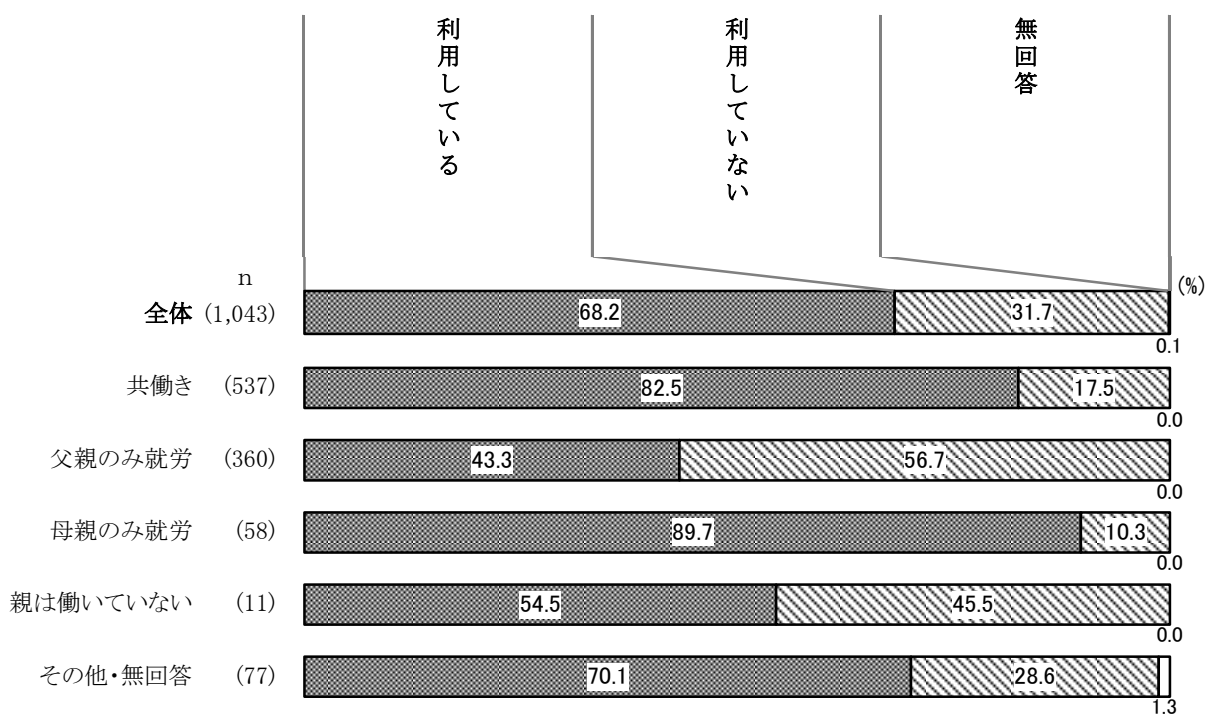
図表 23 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無／年齢別



図表 24 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無／家族構成別



図表 25 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無／両親の就労状況別



2. 利用している幼児教育・保育事業

問 あて名のお子さんは、平日どのような幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

【〇は当てはまるものすべて】

【就学前：問 10-1】

※ 『1 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

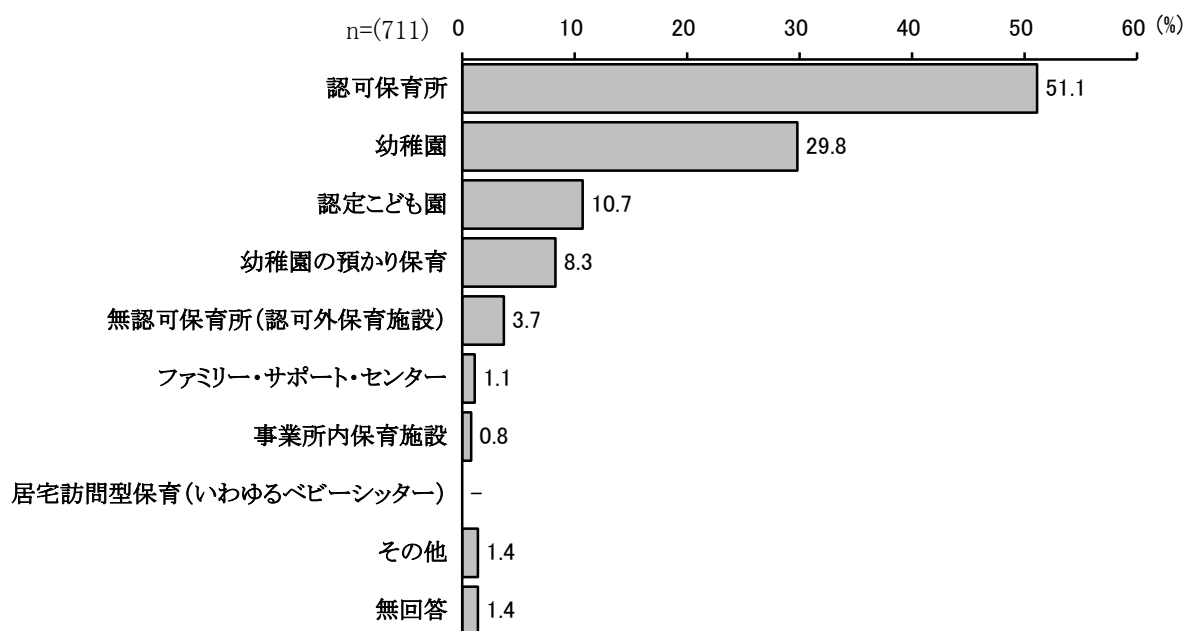
利用している幼児教育・保育事業について、全体では、「認可保育所」の利用が半数を超え最も高く、次いで「幼稚園」、「認定こども園」「幼稚園の預かり保育」となっている。（図表 26）

年齢別にみると、0～4歳では「認可保育所」が、5歳では「幼稚園」がそれぞれ最も高い。

家族構成別にみると、いずれも「認可保育所」の利用率が高く、「幼稚園」が低い傾向だが、特にひとり親と子どもの家庭で顕著である。

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の家庭で「幼稚園」の利用率が特に高い。（図表 27）

図表 26 利用している教育・保育事業／全体



図表 27 利用している教育・保育事業／年齢別、家族構成別、両親の就労状況別

(上段：件、下段：%)

		調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	無認可保育所（認可外保育施設）	ファミリー・サポート	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（いわゆるベビシッター）	その他	無回答
全体		711 100.0	363 51.1	212 29.8	76 10.7	59 8.3	26 3.7	8 1.1	6 0.8	-	10 1.4	10 1.4
年齢別	0歳	53 100.0	35 66.0	-	2 3.8	1 1.9	11 20.8	1 1.9	1 1.9	-	2 3.8	-
	1歳	58 100.0	42 72.4	1 1.7	5 8.6	-	6 10.3	2 3.4	2 3.4	-	-	1 1.7
	2歳	106 100.0	70 66.0	16 15.1	12 11.3	3 2.8	4 3.8	1 0.9	-	-	4 3.8	-
	3歳	143 100.0	68 47.6	49 34.3	16 11.2	16 11.2	3 2.1	2 1.4	2 1.4	-	1 0.7	-
	4歳	164 100.0	70 42.7	63 38.4	20 12.2	16 9.8	2 1.2	1 0.6	1 0.6	-	2 1.2	7 4.3
	5歳	175 100.0	71 40.6	79 45.1	20 11.4	23 13.1	-	1 0.6	-	-	1 0.6	2 1.1
	家族構成別	ひとり親と子ども	41 100.0	27 65.9	6 14.6	2 4.9	3 7.3	2 4.9	1 2.4	2 4.9	-	-
両親と子ども		508 100.0	255 50.2	150 29.5	57 11.2	45 8.9	18 3.5	7 1.4	3 0.6	-	7 1.4	7 1.4
多世代同居		155 100.0	76 49.0	54 34.8	17 11.0	11 7.1	6 3.9	-	1 0.6	-	3 1.9	1 0.6
両親の就労状況別	共働き	443 100.0	286 64.6	74 16.7	45 10.2	44 9.9	20 4.5	3 0.7	4 0.9	-	3 0.7	2 0.5
	父親のみ就労	156 100.0	10 6.4	112 71.8	25 16.0	4 2.6	2 1.3	3 1.9	-	-	6 3.8	3 1.9
	母親のみ就労	52 100.0	35 67.3	9 17.3	2 3.8	8 15.4	2 3.8	1 1.9	1 1.9	-	1 1.9	2 3.8
	親は働いていない	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	-	-
	その他・無回答	54 100.0	30 55.6	14 25.9	3 5.6	3 5.6	1 1.9	1 1.9	1 1.9	-	-	3 5.6

3. 幼児教育・保育事業の利用の現状と希望

問 平日に定期的に利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

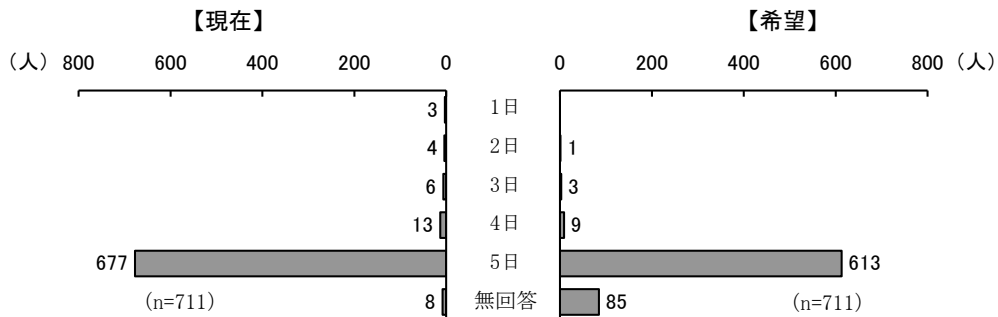
【就学前：問 10-2 (1)・(2)】

※ 『1 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

<利用日数>

幼児教育・保育事業の利用の現状としては、平日に「5日」の利用が目立って多い。希望をみても、「5日」に回答が集中している点は同様である。(図表 28)

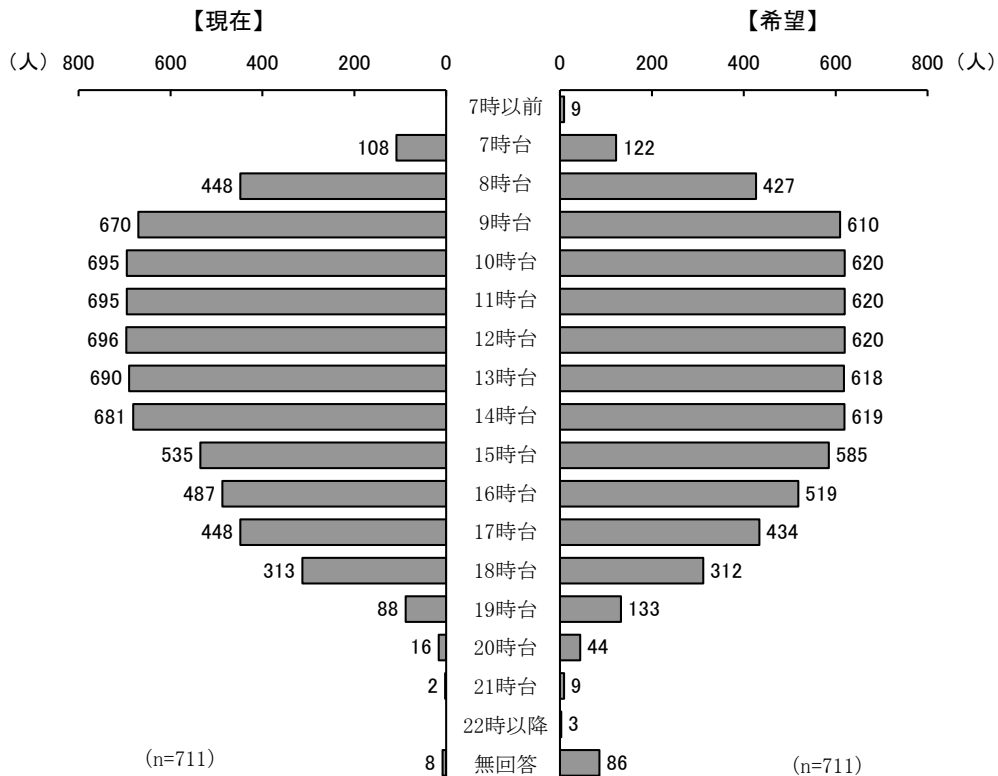
図表 28 幼児教育・保育事業の利用日数の現在と希望/全体



<利用時間帯>

利用時間帯の現状については、8時台から18時台までが300人を超えて多い。希望をみても同様である。(図表 29)

図表 29 幼児教育・保育事業の利用時間の現在と希望/全体



4. 幼児教育・保育事業の実施場所

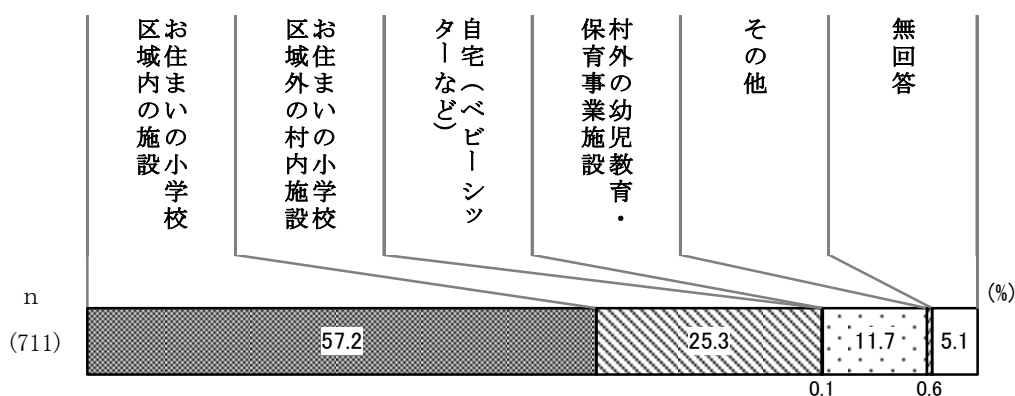
問 現在、利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）の実施場所をお答えください。
【〇は1つ】

【就学前：問 10-3】

※ 『1 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

幼児教育・保育事業の実施場所については、「お住まいの小学校区内の施設」が 57.2%を占め、次いで「お住まいの小学校区外の村内施設」（25.3%）となっている。「村外の幼児教育・保育事業施設」の利用が 11.7%に上っている。（図表 30）

図表 30 幼児教育・保育事業の実施場所／全体



5. 幼児教育・保育事業を利用している理由

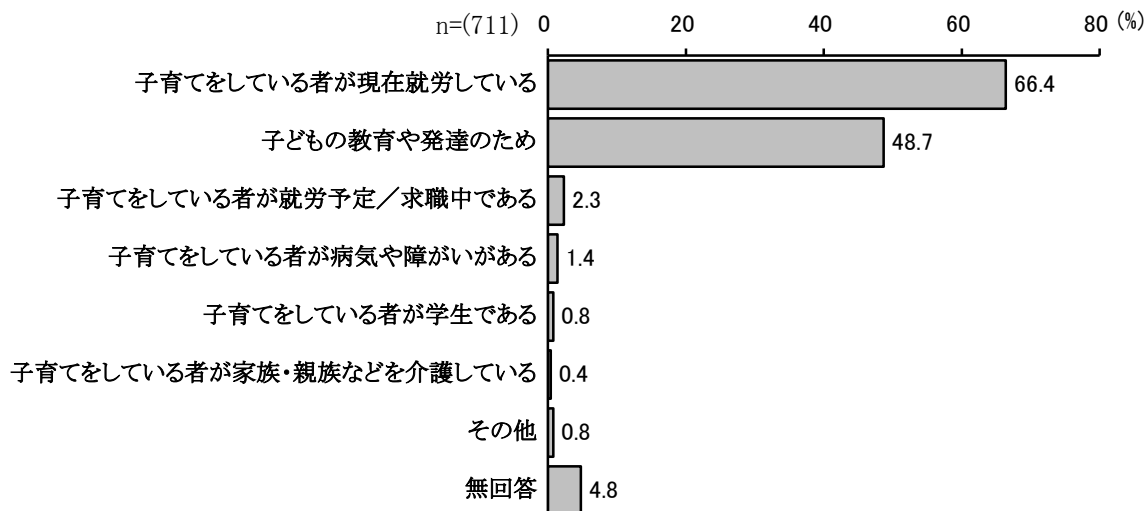
問 平日に定期的に幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用されている主な理由として当てはまるものをお答えください。【〇は当てはまるものすべて】

【就学前：問 10-4】

※ 『1 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

幼児教育・保育事業を利用している理由については、「子育てをしている者が現在就労している」が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」となっている。（図表 31）

図表 31 幼児教育・保育事業を利用している理由／全体



6. 幼児教育・保育事業を利用していない理由

問 幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用していない主な理由として当てはまるものをお答えください。

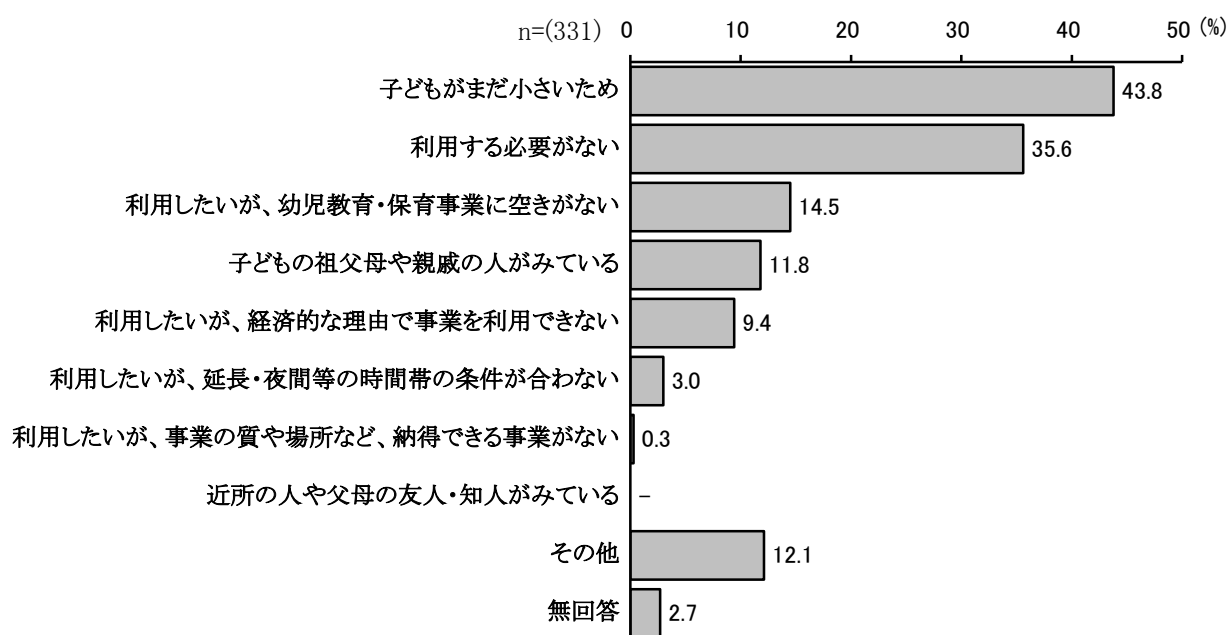
【○は当てはまるものすべて・「子どもがまだ小さいため」の場合は年齢を記入】

【就学前：問 10-5】

※ 『1 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無』で「利用していない」と回答した方のみ

幼児教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が最も高く、次いで「利用する必要がない」となっている。利用意向はあるものの、できていない場合の理由としては、「利用したいが、幼児教育・保育事業に空きがない」が14.5%と最も高い。（図表 32）

図表 32 幼児教育・保育事業を利用していない理由／全体



7. 定期的な幼児教育・保育事業の利用希望

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

【〇は当てはまるものすべて】

【就学前：問 11】

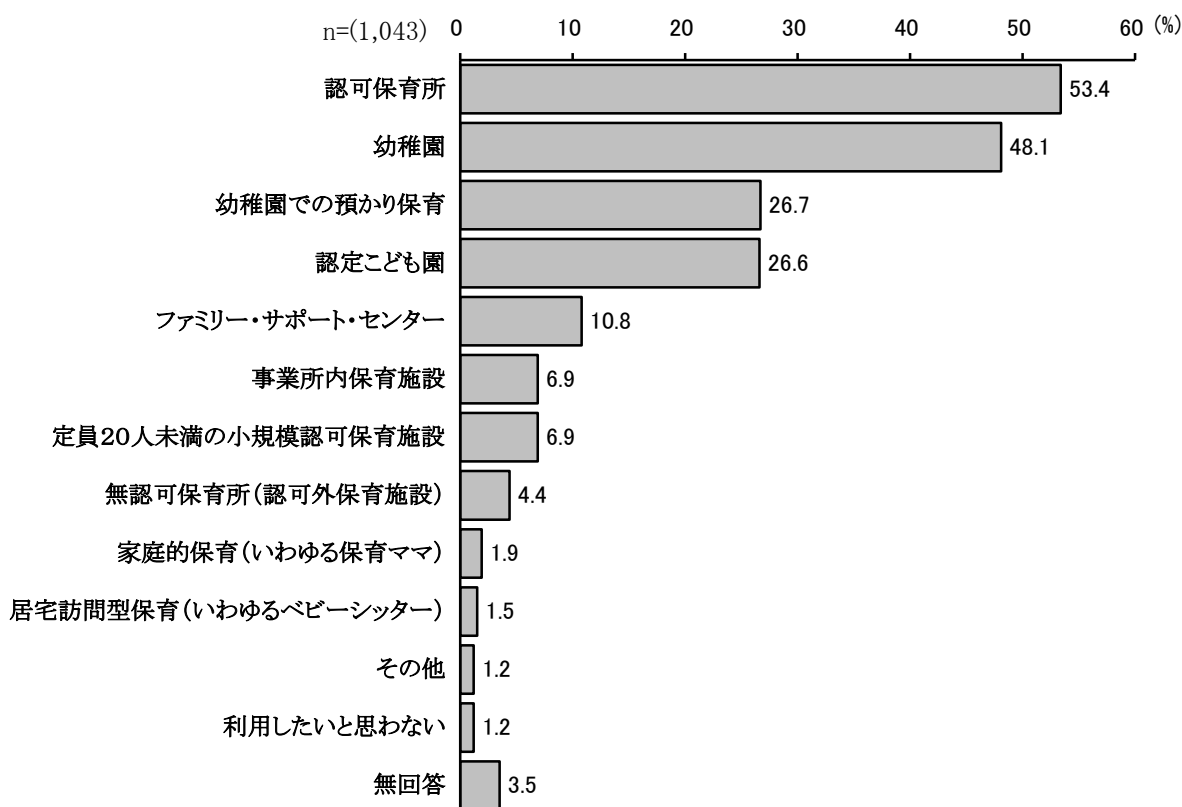
定期的な幼児教育・保育事業の利用希望については、「認可保育所」、次いで「幼稚園」が目立って高い。（図表 33）

年齢別にみると、0歳、1歳、3歳では「認可保育所」、2歳、4歳、5歳では「幼稚園」がそれぞれ最も高い。

家族構成別にみると、ひとり親と子どもの家庭で「幼稚園での預かり保育」が他の家族構成に比べてやや低く、「ファミリー・サポート・センター」で高い。

両親の就労状況別にみると、共働きの家庭・母親のみ就労の家庭では「認可保育所」、父親のみ就労の家庭では「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」がそれぞれ他の就労状況に比べて高い。（図表 34）

図表 33 定期的な幼児教育・保育事業の利用希望／全体



図表 34 定期的な幼児教育・保育事業の利用希望／年齢別、家族構成別、両親の就労状況別

(上段：件、下段：%)

	調査数	認可保育所	幼稚園	幼稚園での預かり保育	認定こども園	ファミリー・サポート	事業所内保育施設	模範認可保育施設	定員20人未満の小規模認可保育施設	無認可保育所（認可外保育施設）	家庭的保育（いわゆる保育ママ）	居宅訪問型保育（いわゆるベビーシッター）	その他	利用したいと思わない	無回答
全体	1,043 100.0	557 53.4	502 48.1	278 26.7	277 26.6	113 10.8	72 6.9	72 6.9	46 4.4	20 1.9	16 1.5	13 1.2	12 1.2	37 3.5	
年齢別	0歳	214 100.0	152 71.0	87 40.7	53 24.8	65 30.4	20 9.3	16 7.5	33 15.4	17 7.9	4 1.9	3 1.4	4 1.9	2 0.9	4 1.9
	1歳	134 100.0	77 57.5	70 52.2	37 27.6	43 32.1	19 14.2	12 9.0	9 6.7	9 6.7	3 2.2	2 1.5	1 0.7	-	7 5.2
	2歳	176 100.0	83 47.2	88 50.0	40 22.7	46 26.1	26 14.8	12 6.8	7 4.0	7 4.0	4 2.3	2 1.1	4 2.3	6 3.4	5 2.8
	3歳	160 100.0	84 52.5	81 50.6	45 28.1	35 21.9	15 9.4	10 6.3	10 6.3	2 1.3	2 1.3	4 2.5	-	-	6 3.8
	4歳	166 100.0	75 45.2	82 49.4	49 29.5	42 25.3	16 9.6	10 6.0	5 3.0	5 3.0	4 2.4	4 2.4	3 1.8	1 0.6	7 4.2
	5歳	178 100.0	77 43.3	88 49.4	50 28.1	43 24.2	16 9.0	11 6.2	6 3.4	5 2.8	3 1.7	1 0.6	1 0.6	3 1.7	8 4.5
家族構成別	ひとり親と子ども	43 100.0	23 53.5	14 32.6	9 20.9	8 18.6	8 18.6	4 9.3	1 2.3	2 4.7	-	-	-	2 4.7	1 2.3
	両親と子ども	750 100.0	407 54.3	359 47.9	195 26.0	202 26.9	79 10.5	52 6.9	56 7.5	36 4.8	14 1.9	11 1.5	10 1.3	8 1.1	25 3.3
	多世代同居	239 100.0	120 50.2	124 51.9	72 30.1	63 26.4	26 10.9	15 6.3	13 5.4	8 3.3	6 2.5	5 2.1	3 1.3	2 0.8	11 4.6
両親の就労状況別	共働き	537 100.0	353 65.7	169 31.5	123 22.9	147 27.4	51 9.5	39 7.3	41 7.6	27 5.0	13 2.4	10 1.9	7 1.3	8 1.5	18 3.4
	父親のみ就労	360 100.0	127 35.3	270 75.0	116 32.2	96 26.7	43 11.9	24 6.7	17 4.7	15 4.2	5 1.4	2 0.6	6 1.7	2 0.6	11 3.1
	母親のみ就労	58 100.0	35 60.3	21 36.2	13 22.4	11 19.0	8 13.8	5 8.6	5 8.6	1 1.7	1 1.7	2 3.4	-	2 3.4	3 5.2
	親は働いていない	11 100.0	4 36.4	6 54.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	2 18.2	-	1 9.1	1 9.1	-	-	-	-
	その他・無回答	77 100.0	38 49.4	36 46.8	24 31.2	21 27.3	10 13.0	2 2.6	9 11.7	2 2.6	-	2 2.6	-	-	5 6.5

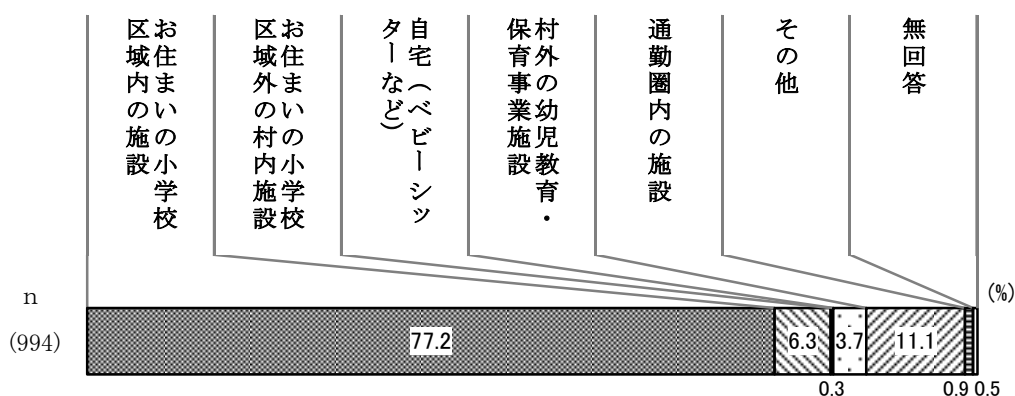
8. 幼児教育・保育事業を利用したい場所

問 幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用したい場所をお答えください。【〇は1つ】
【就学前：問 11-1】

※『7 定期的な幼児教育・保育事業の利用希望』で「何らかの事業を利用している」と回答した方のみ

幼児教育・保育事業を利用したい場所については、「お住まいの小学校区域内の施設」が 77.2% を占め、次いで「通勤圏内の施設」が 11.1% となっている。（図表 35）

図表 35 幼児教育・保育事業を利用したい場所／全体



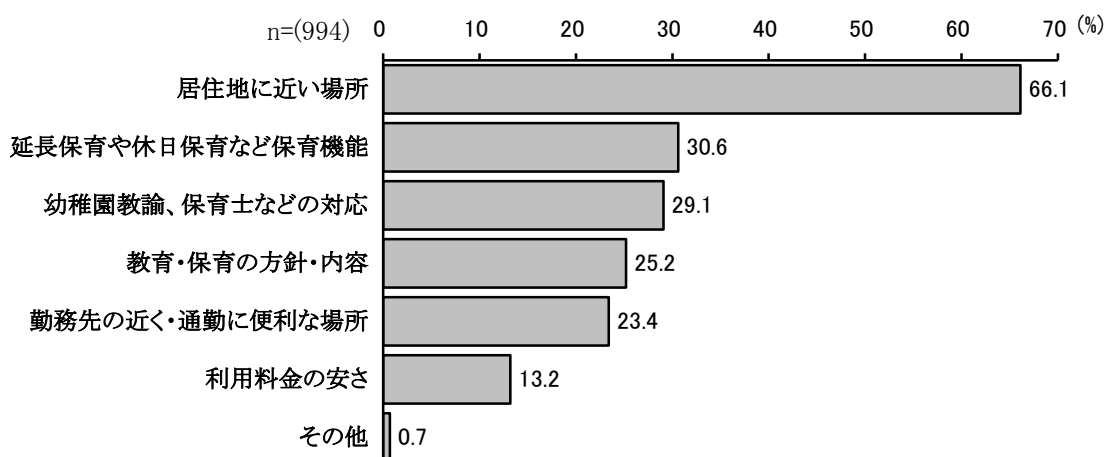
9. 幼児教育・保育事業を選択する際に特に重視すること

問 幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を選択される際に特に重視することをお答えください。【〇は2つまで】
【就学前：問 11-2】

※『7 定期的な幼児教育・保育事業の利用希望』で「何らかの事業を利用している」と回答した方のみ

幼児教育・保育事業を選択する際に特に重視する点としては、「居住地に近い場所」が 66.1% と突出している。（図表 36）

図表 36 幼児教育・保育事業を選択する際に特に重視すること／全体



5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼児教育・保育事業の利用希望

1. 土曜日の利用希望

問 あて名のお子さんについて、土曜日に、定期的な幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

【就学前：問 12（1）】

<利用希望>

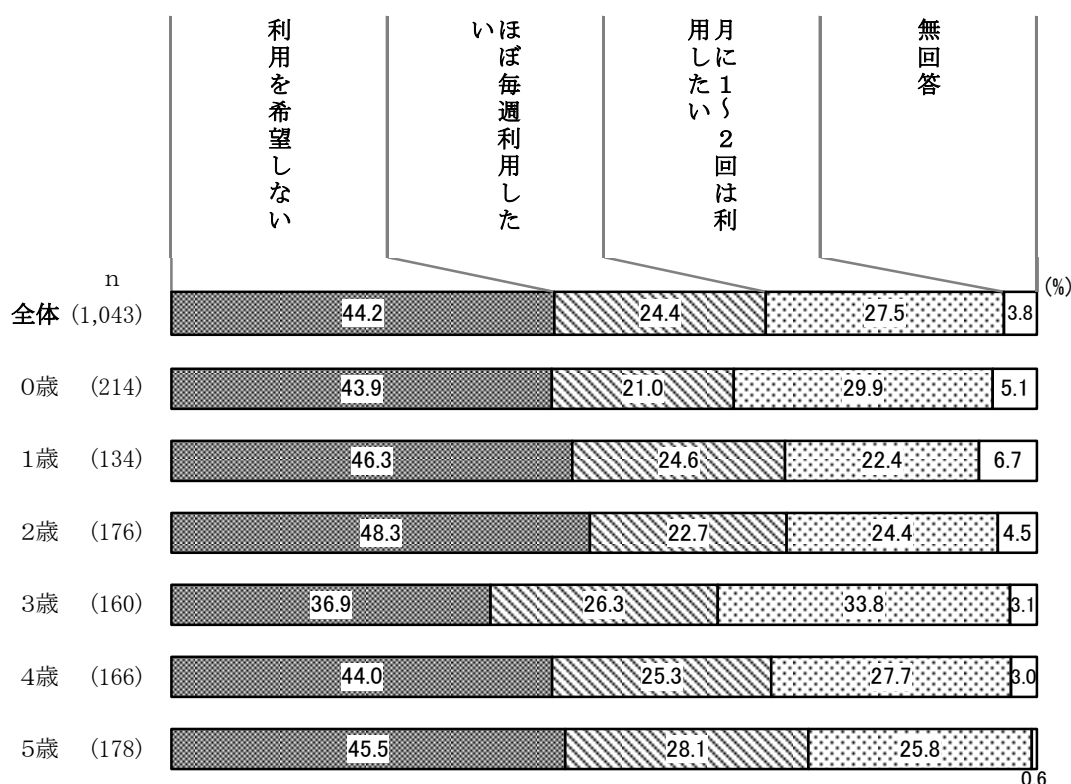
土曜日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》は51.9%となっている。

年齢別にみると、全ての年齢で「利用を希望しない」が高くなっている。《利用したい》は3歳で他と比べやや高い。（図表 37）

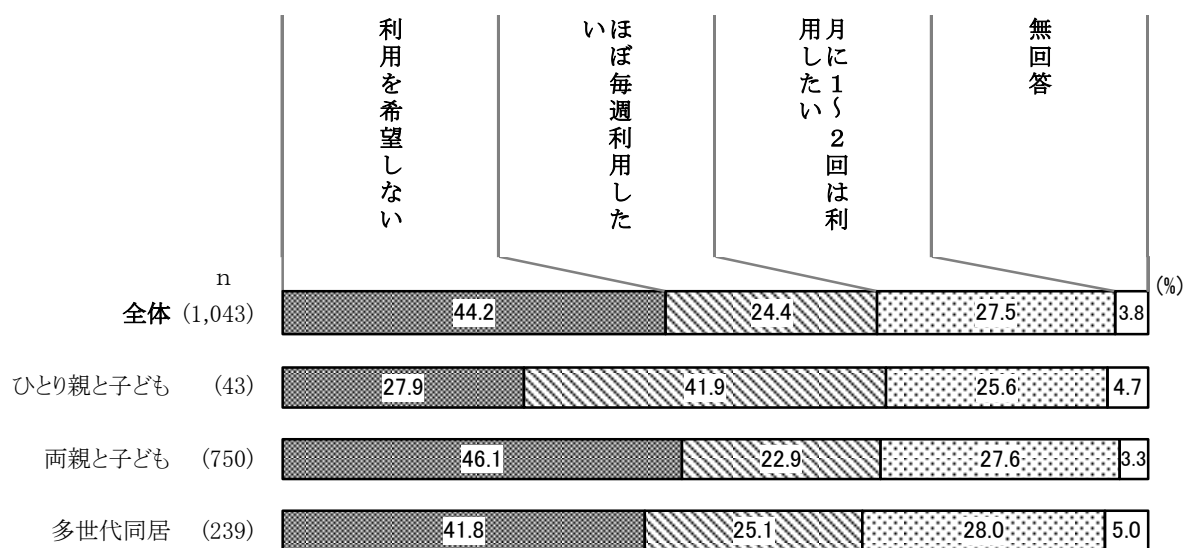
家族構成別にみると、ひとり親と子どもの家庭では「ほぼ毎週利用したい」が最も高い。（図表 38）

両親の就労状況別にみると、共働きの家庭・母親のみ就労の家庭で《利用したい》は6割を超えている。（図表 39）

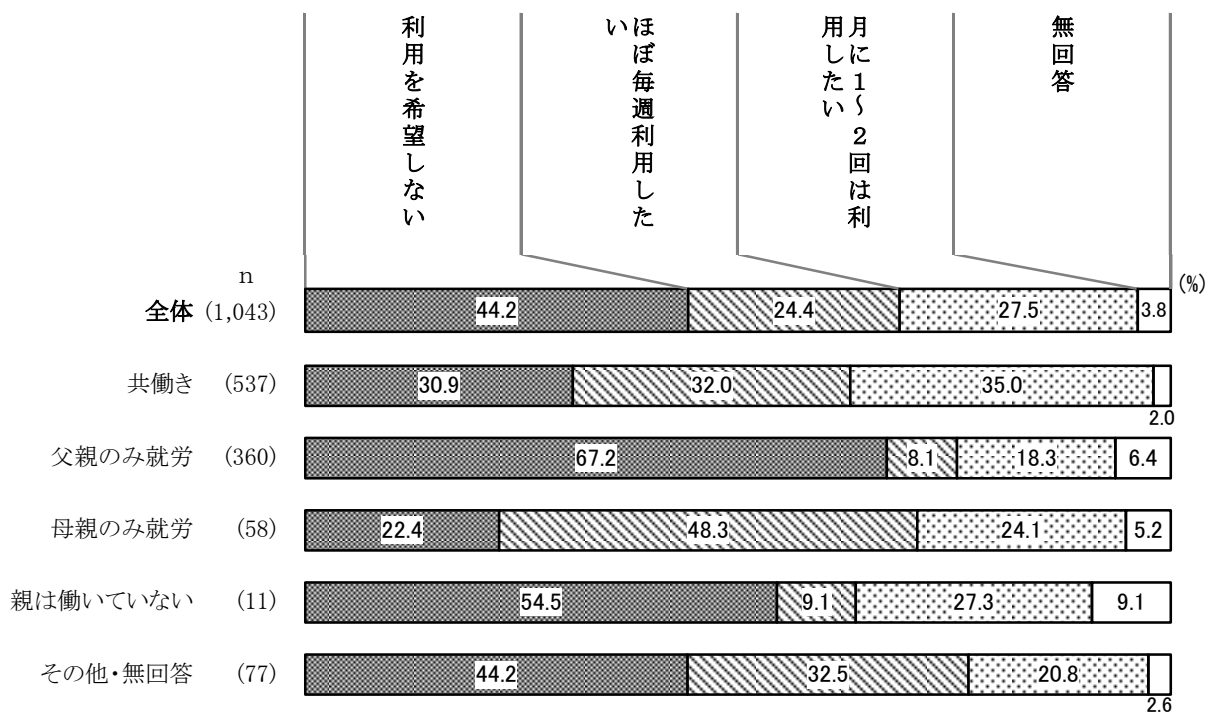
図表 37 利用希望の有無（土曜日）／年齢別



図表 38 利用希望の有無（土曜日）／家族構成別



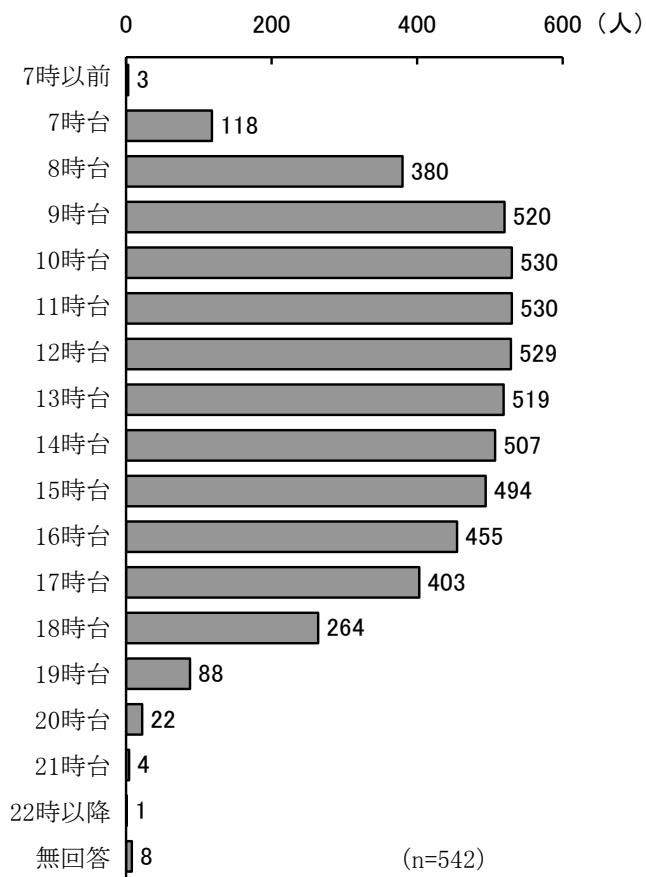
図表 39 利用希望の有無（土曜日）／両親の就労状況別



< 利用希望時間帯 >

土曜日の利用希望時間帯については、「9時台」から「14時台」の間は、それぞれに希望者が500人を超えて特に多い。(図表 40)

図表 40 利用希望時間帯（土曜日）／全体



2. 日曜日・祝日の利用希望

問 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的な幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

【就学前：問 12（2）】

<利用希望>

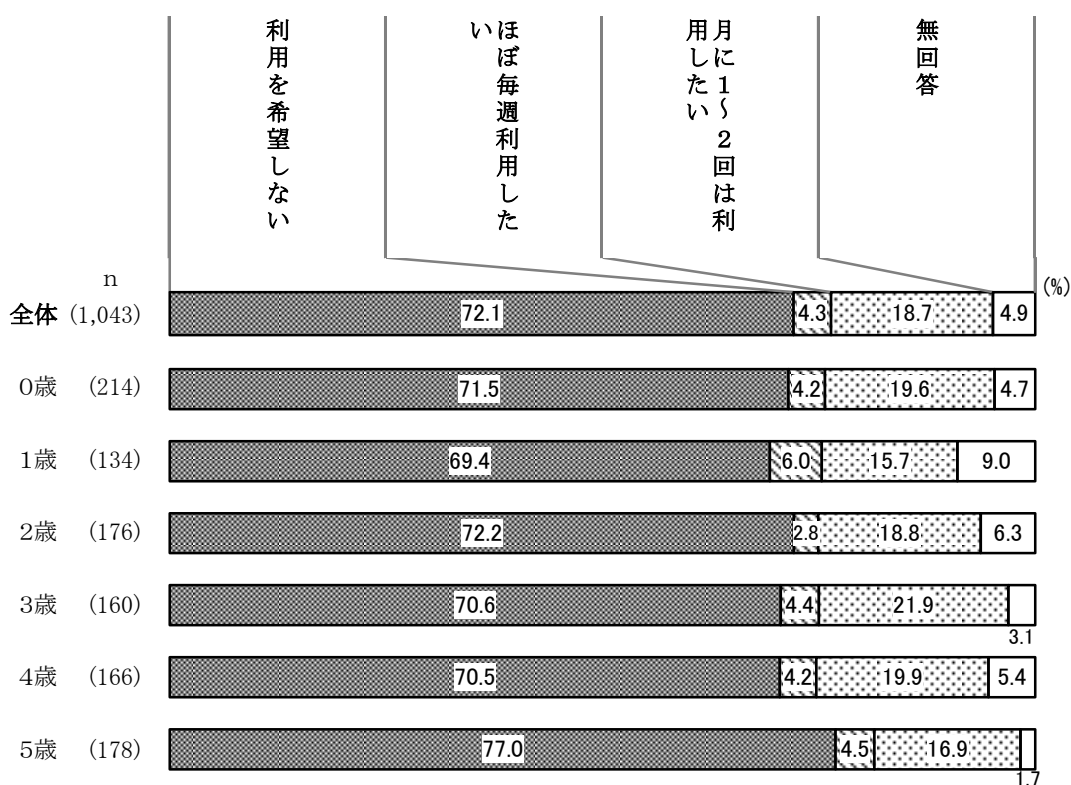
日曜日・祝日の利用希望については、「利用を希望しない」が72.1%を占めている。

年齢別にみると、全ての年齢で「利用を希望しない」が最も高く、ほぼ全てで7割を超えている。（図表 41）

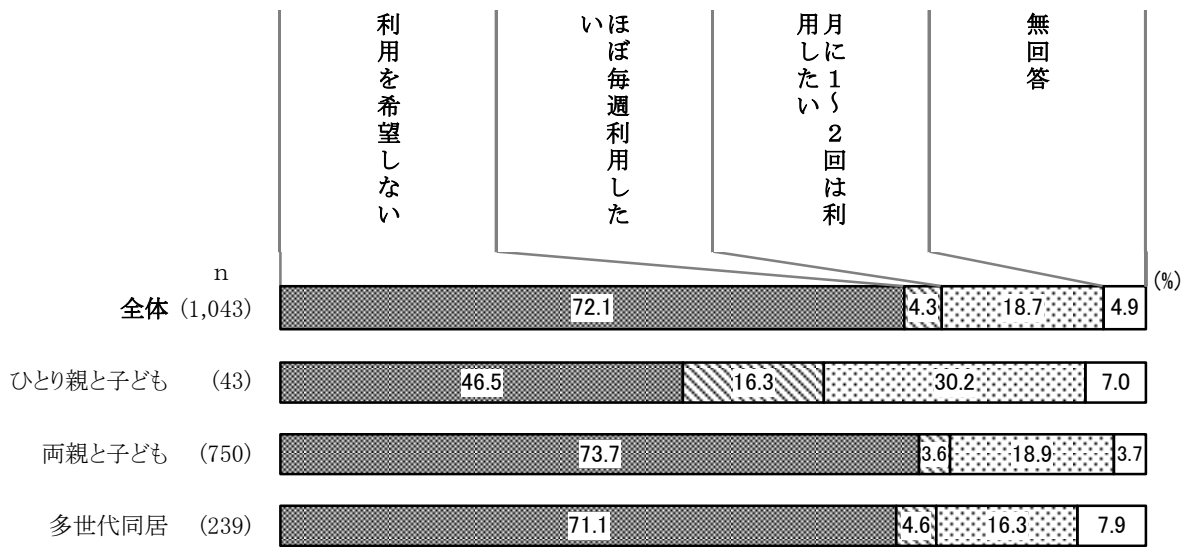
家族構成別にみると、ひとり親と子どもの家庭で「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》が他と比べ高い。（図表 42）

両親の就労状況別にみると、母親のみ就労の家庭で《利用したい》が特に高い。（図表 43）

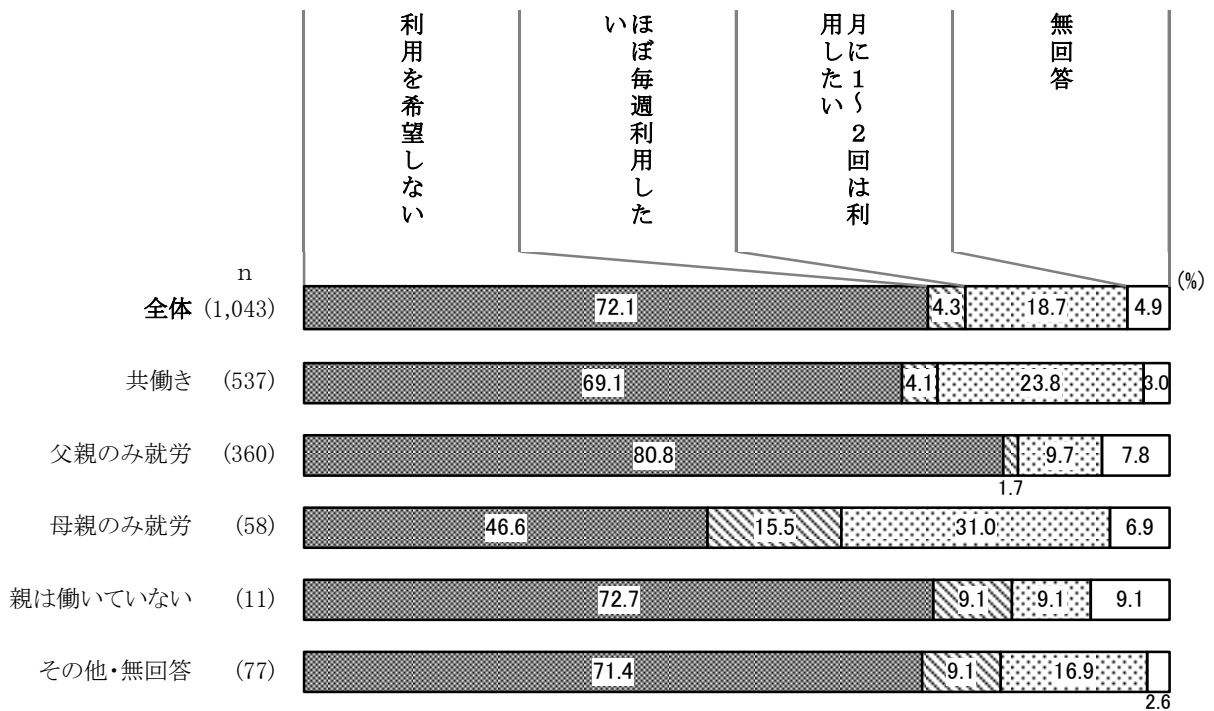
図表 41 利用希望の有無（日曜日・祝日）／年齢別



図表 42 利用希望の有無（日曜日・祝日）／家族構成別



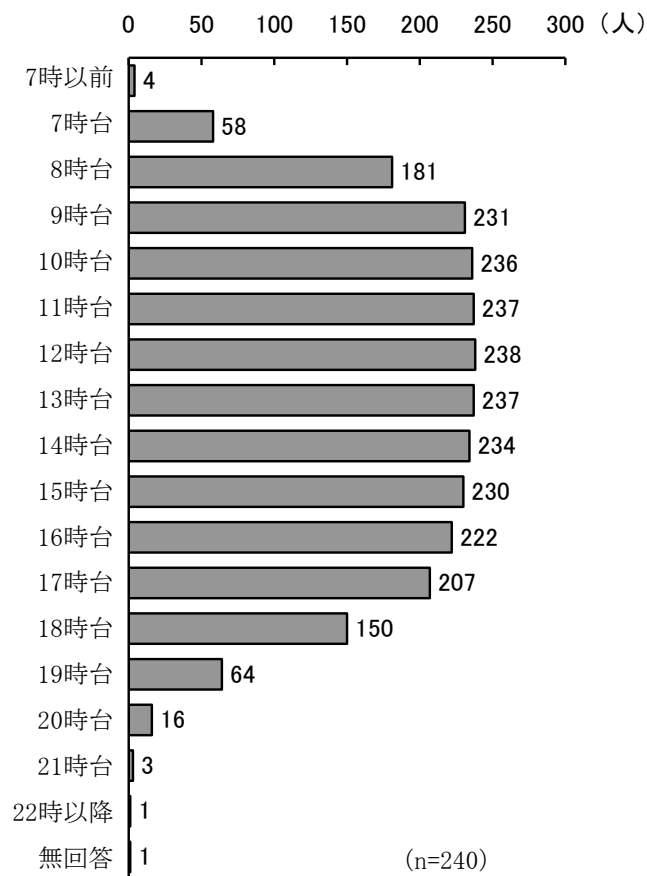
図表 43 利用希望の有無（日曜日・祝日）／両親の就労状況別



＜利用希望時間帯＞

日曜日・祝日の利用希望時間帯について、特に多いのは「9時台」から「17時台」の間で、それぞれ希望者が200人を超えている。(図表 44)

図表 44 利用希望時間帯（日曜日・祝日）／全体



3. 長期休暇中の利用希望

問 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）の利用を希望しますか。【〇は1つ・「2」、「3」の場合は利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

【就学前：問13】

※ 『幼稚園』を利用している方のみ

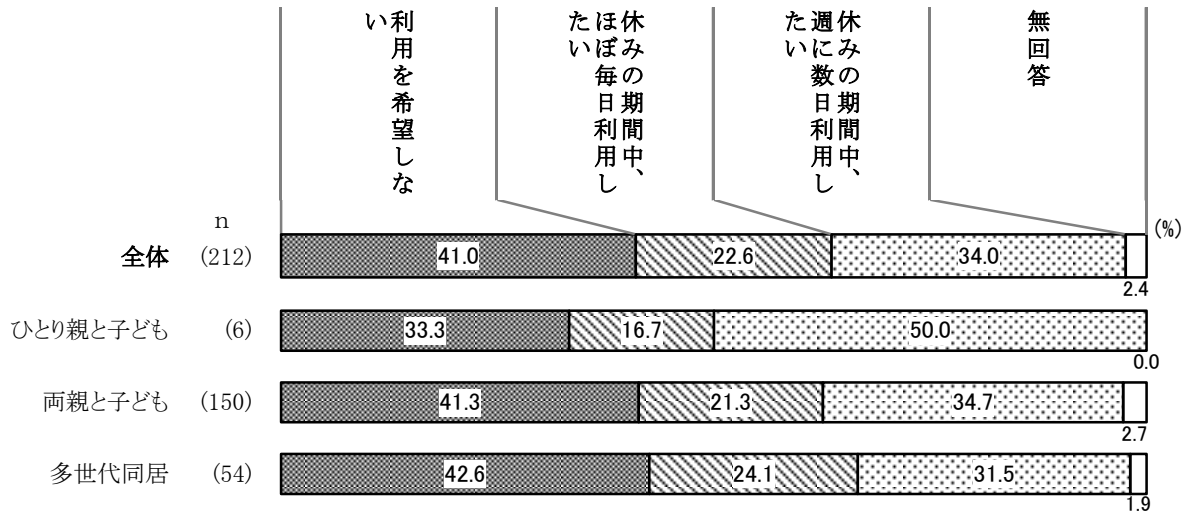
<利用希望>

長期休暇中の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせた《利用したい》は、56.6%となっている。

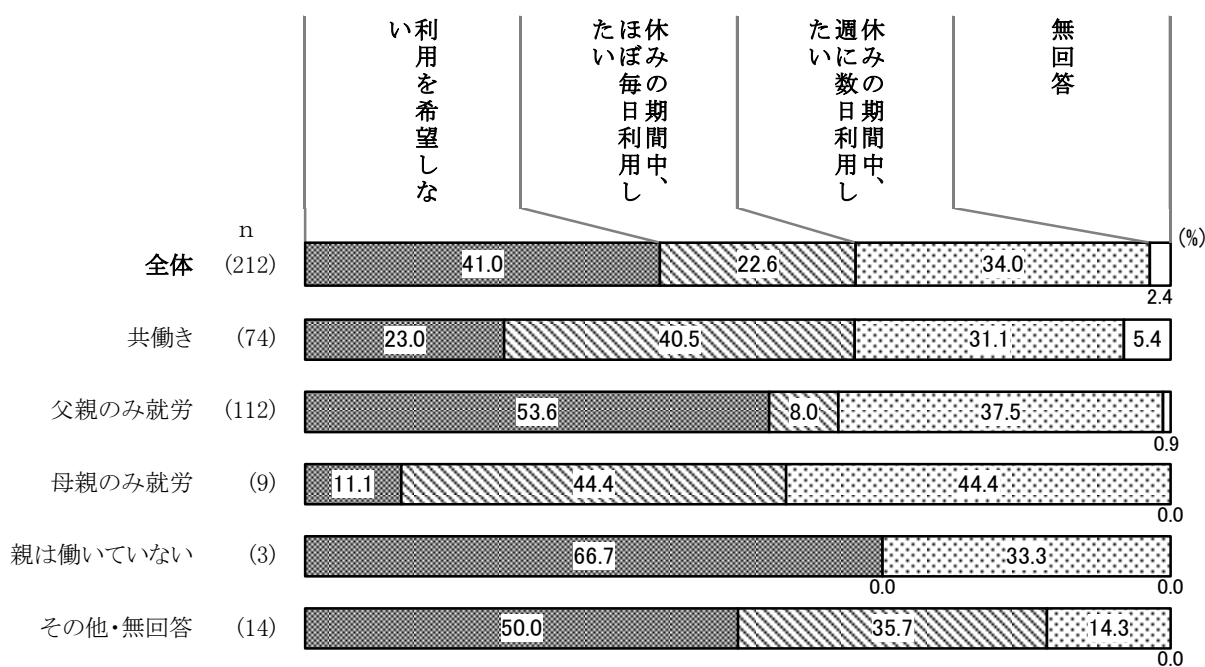
家族構成別にみると、《利用したい》は、いずれも半数を超える。（図表 45）

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の家庭で「利用を希望しない」が高く、共働きの家庭・母親のみ就労の家庭では《利用したい》が特に高い。（図表 46）

図表 45 長期休暇中の利用希望／家族構成別



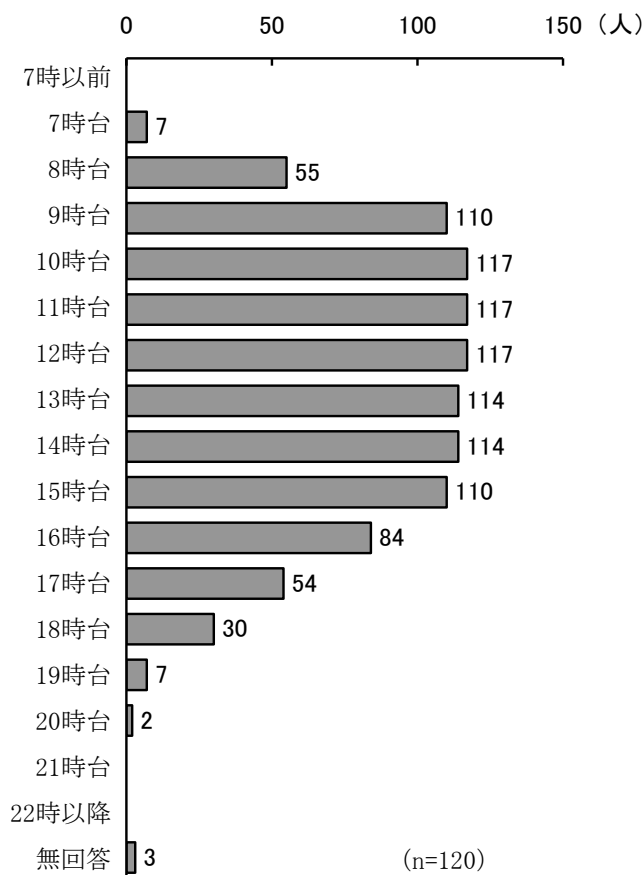
図表 46 長期休暇中の利用希望／両親の就労状況別



< 利用希望時間帯 >

長期休暇中の利用希望時間帯について、特に多いのは「9時台」から「15時台」の間で、それぞれ希望者は100人を超えている。(図表 47)

図表 47 長期休暇中の利用希望時間帯／全体



6. 放課後児童クラブの利用状況について

1. 放課後児童クラブの利用の有無

問 あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。【○は1つ】

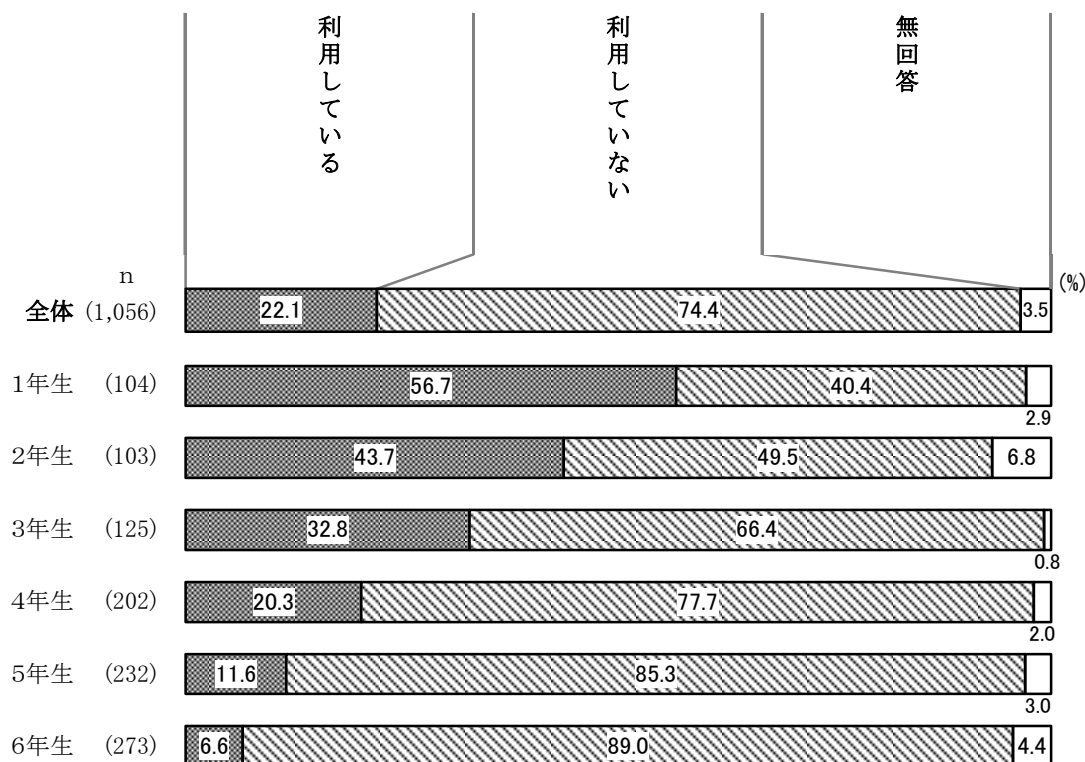
【小学生：問 12】

放課後児童クラブの利用の有無について学年別にみると、1年生では「利用している」が56.7%と最も高いが、2年生以上では「利用していない」が上回り、学年が上がるにつれて利用率は低下していく傾向がある。(図表 48)

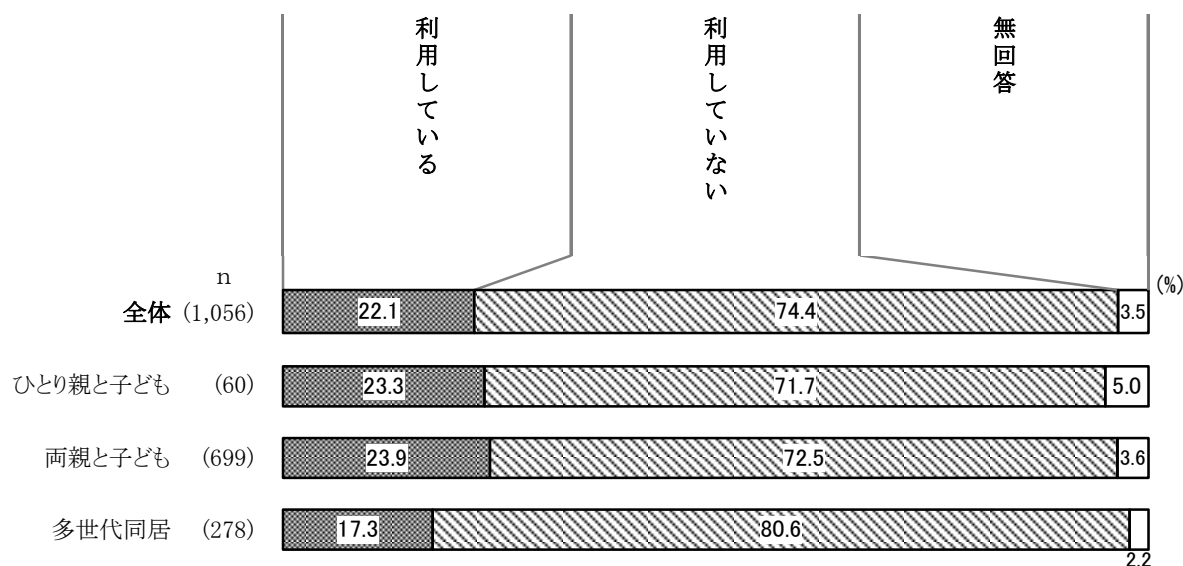
家族構成別にみると、多世代同居の家庭で「利用していない」が80.6%と特に高い。(図表 49)

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の家庭で「利用していない」が9割を超えている。(図表 50)

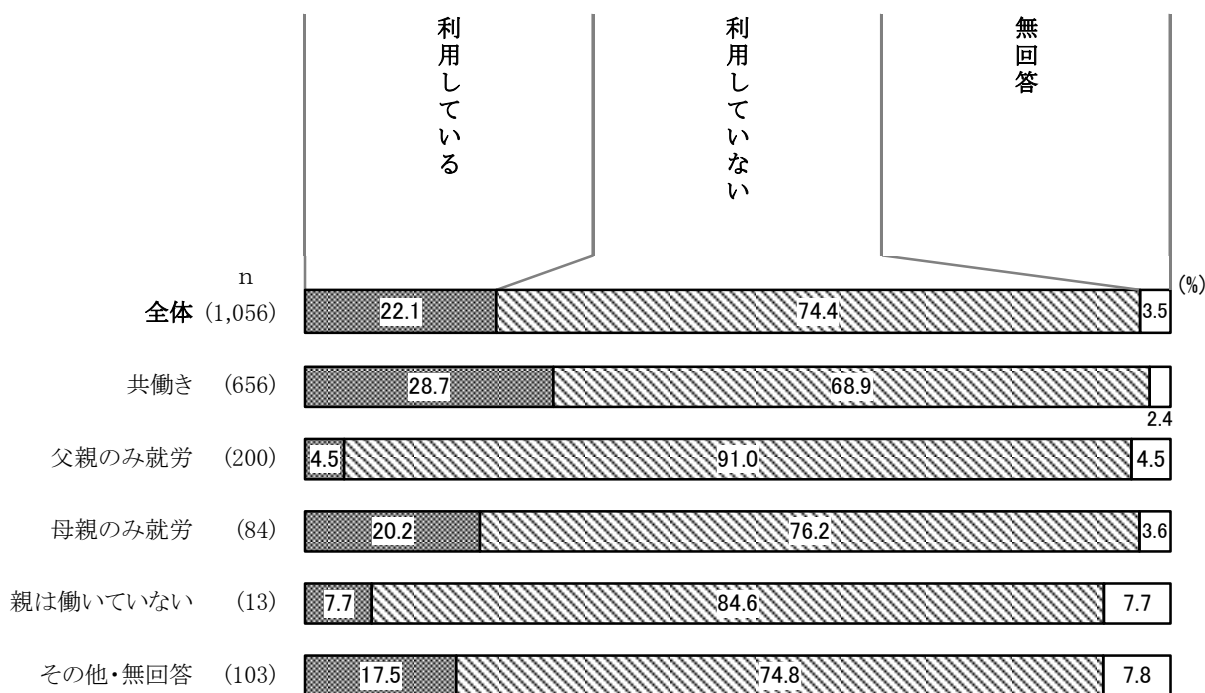
図表 48 放課後児童クラブの利用の有無／学年別



図表 49 放課後児童クラブの利用の有無／家族構成別



図表 50 放課後児童クラブの利用の有無／両親の就労状況別



2. 放課後児童クラブの利用状況

問 利用の状況をお答えください。【時間は 24 時間制（例：午後 6 時→18 時）】

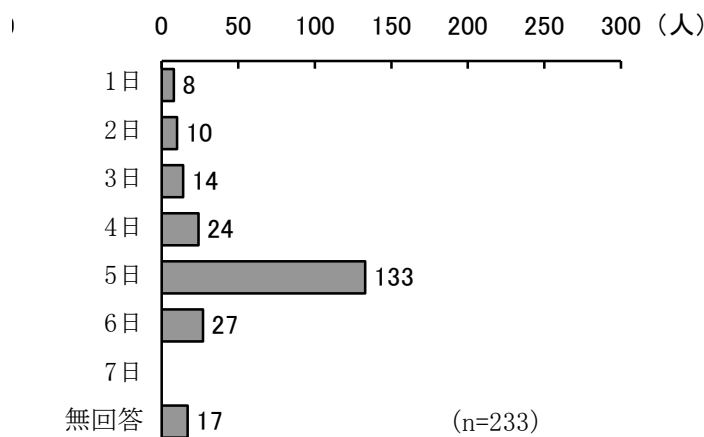
【小学生：問 12-1】

※ 『1 放課後児童クラブの利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

<利用日数>

放課後児童クラブの利用日数については、「5日」が133人と、他の日数に比べ特に多い。(図表 51)

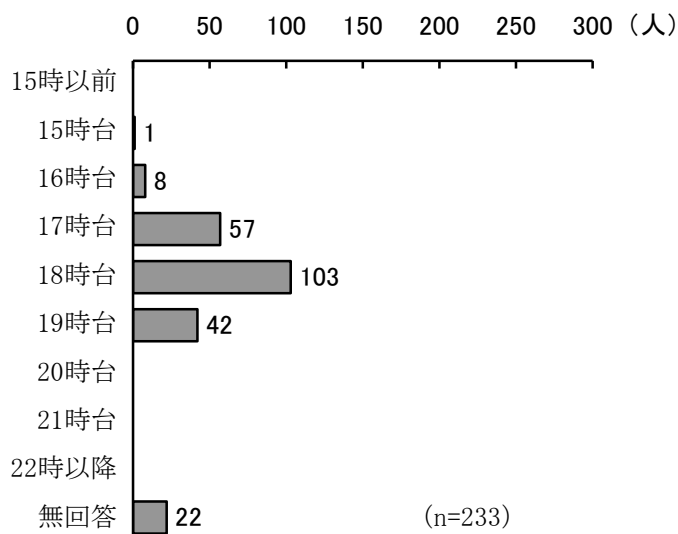
図表 51 放課後児童クラブの利用日数／全体



<利用終了時間（平日）>

平日の利用終了時間については、「18時台」が100人を超え最も多い。次いで「17時台」、「19時台」となっている。(図表 52)

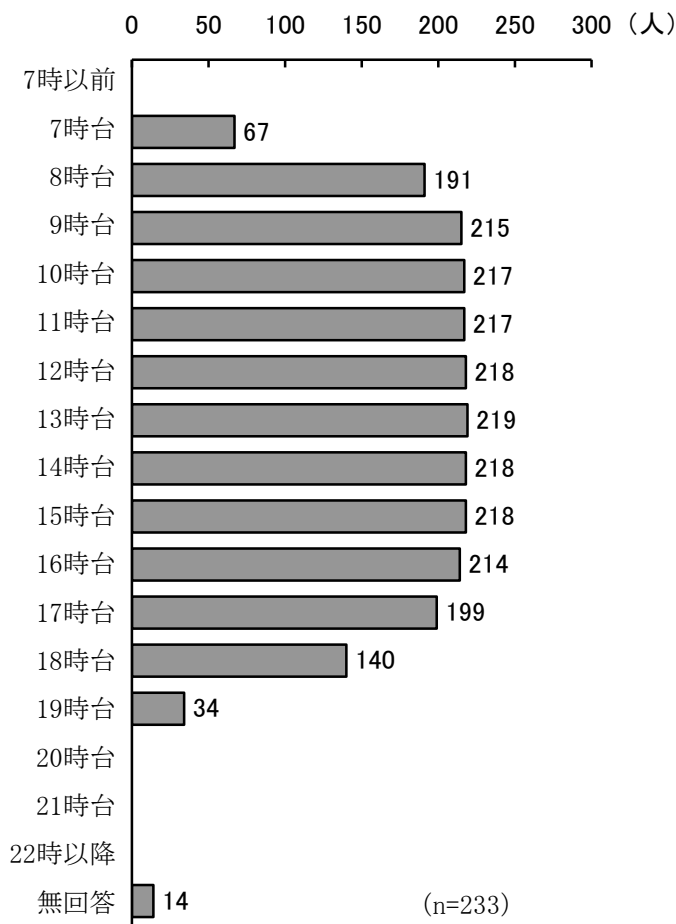
図表 52 放課後児童クラブの利用終了時間（平日）／全体



< 利用時間帯（長期休暇中） >

長期休暇中の利用時間帯については、「9 時台」から「16 時台」の間でそれぞれ 200 人を超えており、この時間帯での利用率が高いことがわかる。（図表 53）

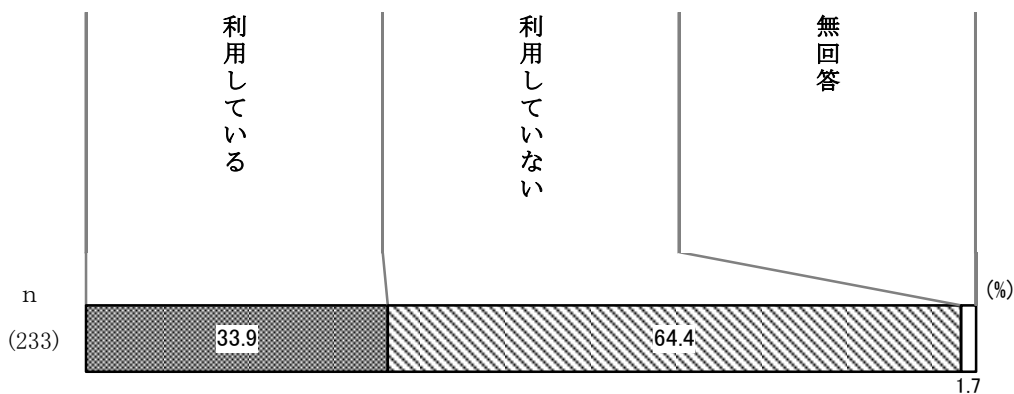
図表 53 放課後児童クラブの利用時間帯（長期休暇中）／全体



< 土曜日の利用状況 >

土曜日の利用状況については、「利用していない」が 64.4%を占めている。
 なお、「利用している」は 33.9%となっている。（図表 54）

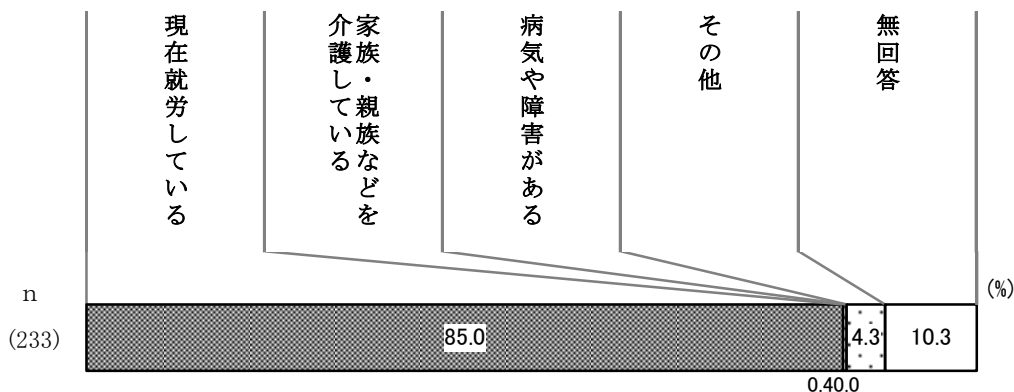
図表 54 放課後児童クラブの土曜日の利用状況／全体



<利用している理由>

放課後児童クラブを利用している理由としては、「現在就労している」が 85.0%を占めている。
(図表 55)

図表 55 放課後児童クラブを利用している理由／全体



3. 放課後児童クラブへの要望

問 現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。【○は当てはまるものすべて】

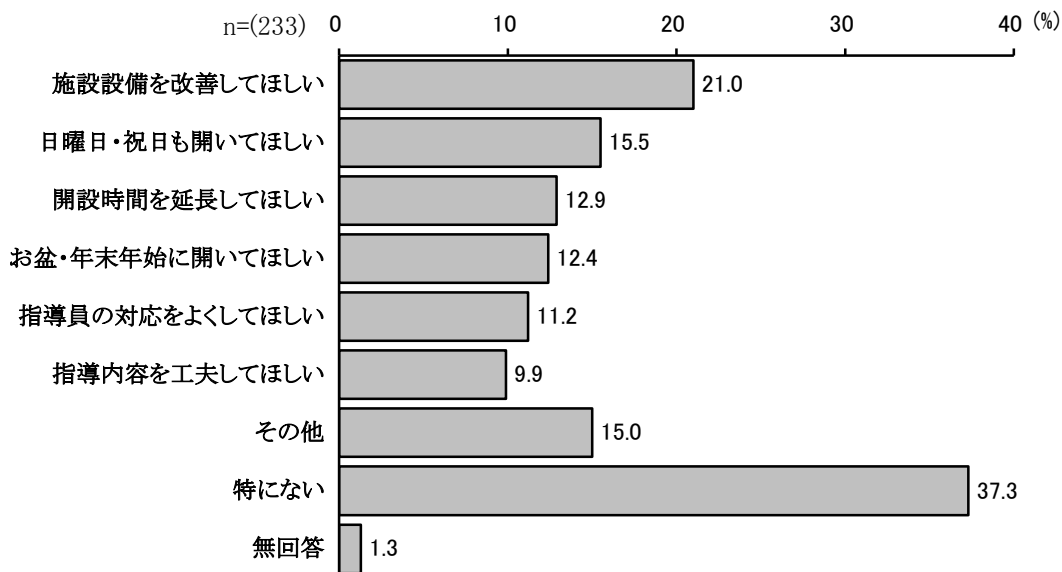
【小学生：問 12-2】

※ 『1 放課後児童クラブの利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

放課後児童クラブへの要望については、「施設設備を改善してほしい」(21.0%)が最も高く、次いで「日曜日・祝日も開いてほしい」(15.5%)、「開設時間を延長してほしい」(12.9%)となっている。

なお、「特にない」は 37.3%となっている。(図表 56)

図表 56 放課後児童クラブへの要望／全体



4. 放課後児童クラブを利用していない理由

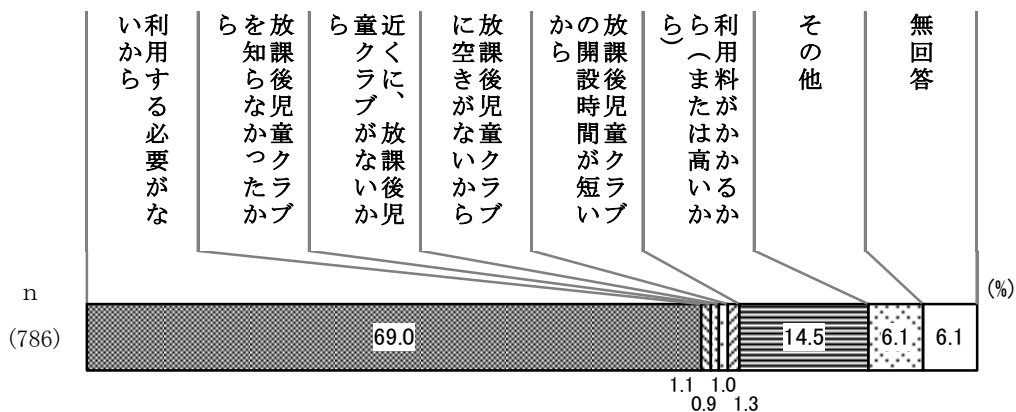
問 放課後児童クラブを利用していないのはなぜですか。【〇は主な理由1つ】

【小学生：問 12-3】

※ 『1 放課後児童クラブの利用の有無』で「利用していない」と回答した方のみ

放課後児童クラブを利用していない理由については、「利用する必要があるから」が 69.0%を占めている。次いで「利用料がかかるから（または高いから）」は 14.5%となっている。（図表 57）

図表 57 放課後児童クラブを利用していない理由／全体



7. 放課後児童クラブの利用希望について

1. 放課後児童クラブの利用希望

問 あて名のお子さんは、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【〇は1つ】

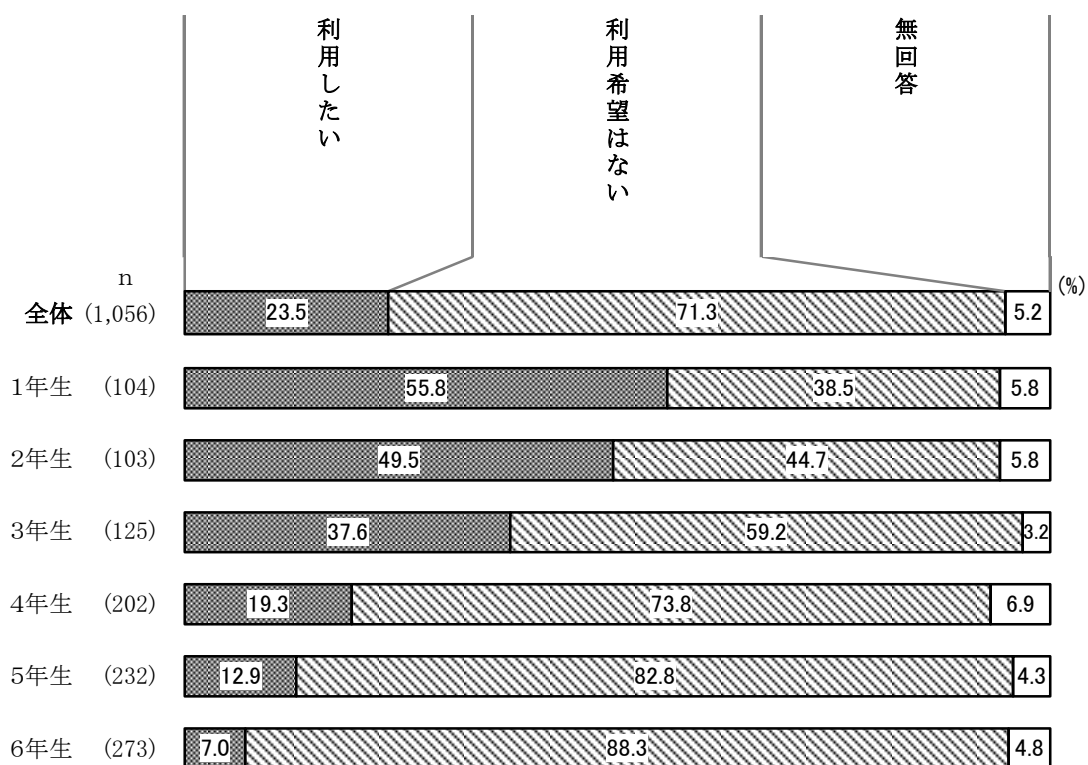
【小学生：問13】

放課後児童クラブの利用希望について学年別にみると、「利用したい」が1年生で55.8%、2年生で49.5%と高いが、3年生以上では「利用希望はない」が上回り、利用希望は低下する傾向にある。(図表58)

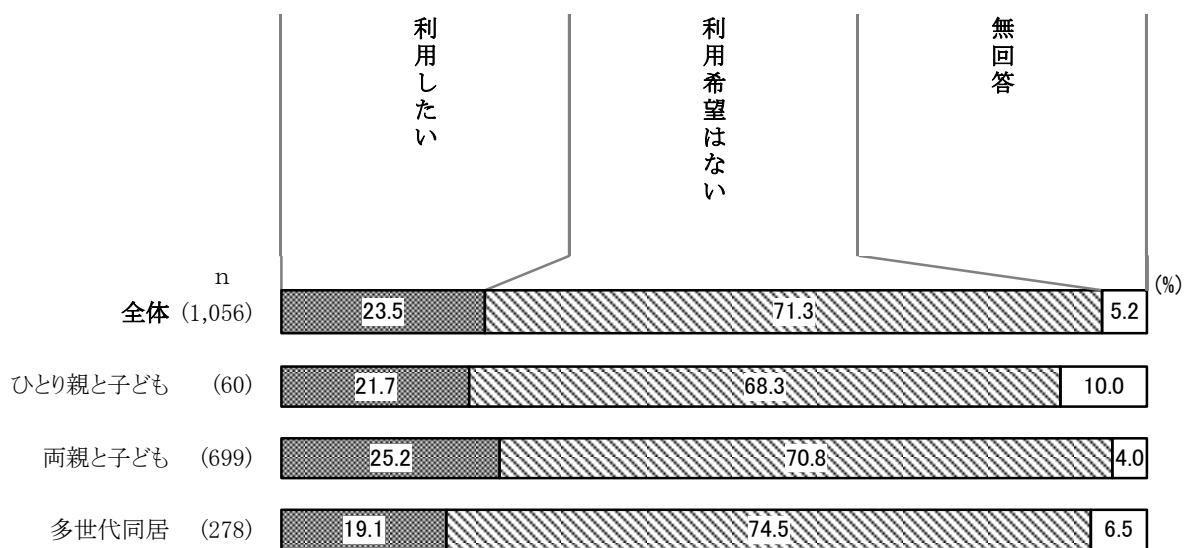
家族構成別にみると、全てで「利用希望はない」が6割半ばを超えている。(図表59)

両親の就労状況別にみると、いずれも「利用希望はない」が6割半ばを超え最も高いが、特に父親のみ就労の家庭で比率が高い。(図表60)

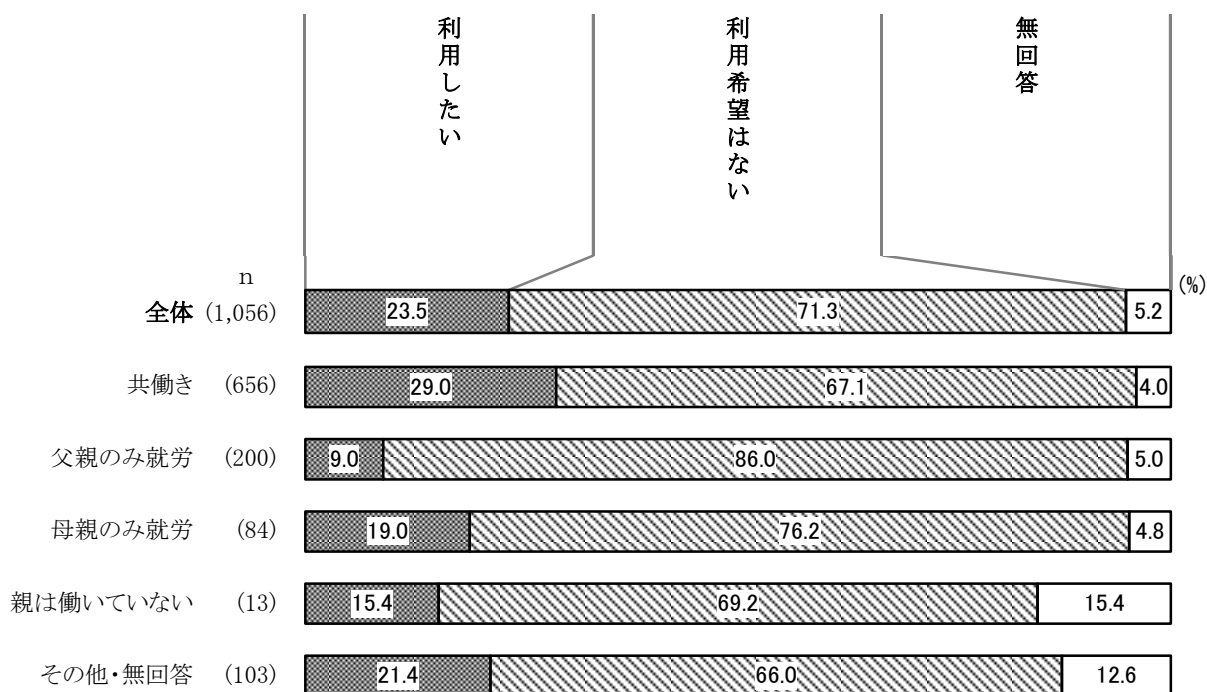
図表58 放課後児童クラブの利用希望／学年別



図表 59 放課後児童クラブの利用希望／家族構成別



図表 60 放課後児童クラブの利用希望／両親の就労状況別



2. 放課後児童クラブの利用希望条件

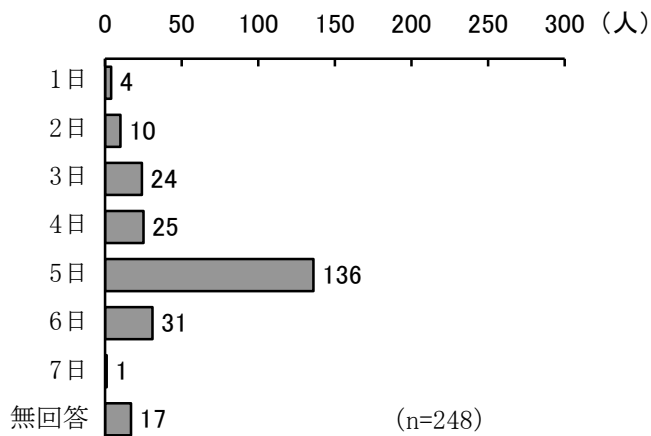
問 利用したい日数、時間などをお答えください。【時間は 24 時間制（例：午後 6 時→18 時）】
【小学生：問 13-1】

※ 『1 放課後児童クラブの利用希望』で「利用したい」と回答した方のみ

<利用希望日数>

放課後児童クラブの利用希望日数については、「5 日」が 100 人を超え最も多い。（図表 61）

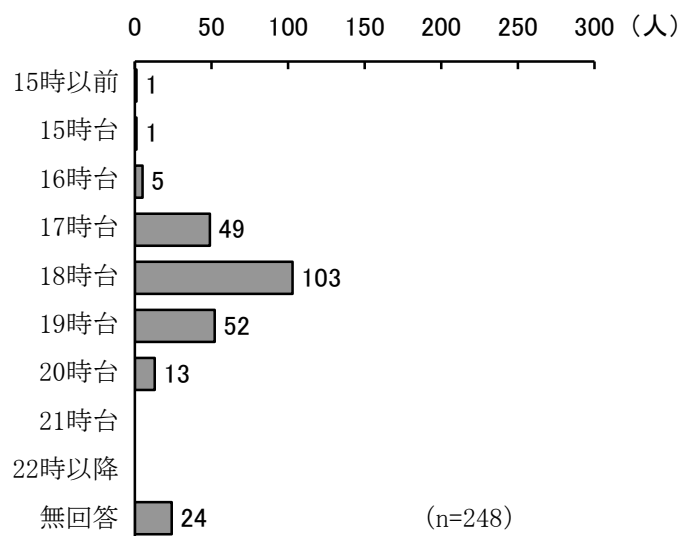
図表 61 放課後児童クラブの利用希望日数／全体



<利用希望終了時間（平日）>

放課後児童クラブの平日の利用希望終了時間については、「18 時台」の希望者が 100 人を超え最も多い。次いで「19 時台」、「17 時台」となっている。（図表 62）

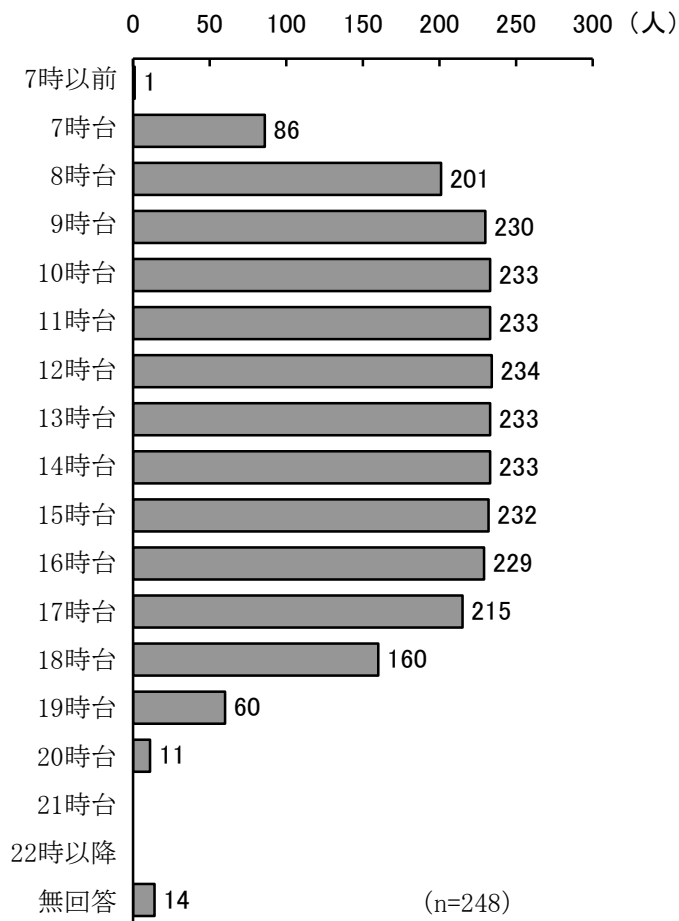
図表 62 放課後児童クラブの利用希望終了時間（平日）／全体



<利用希望時間帯（長期休暇中）>

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望時間帯については、「8 時台」から「17 時台」の間でそれぞれ希望者が 200 人を超えており、この時間帯での利用希望が特に高いことがわかる。(図表 63)

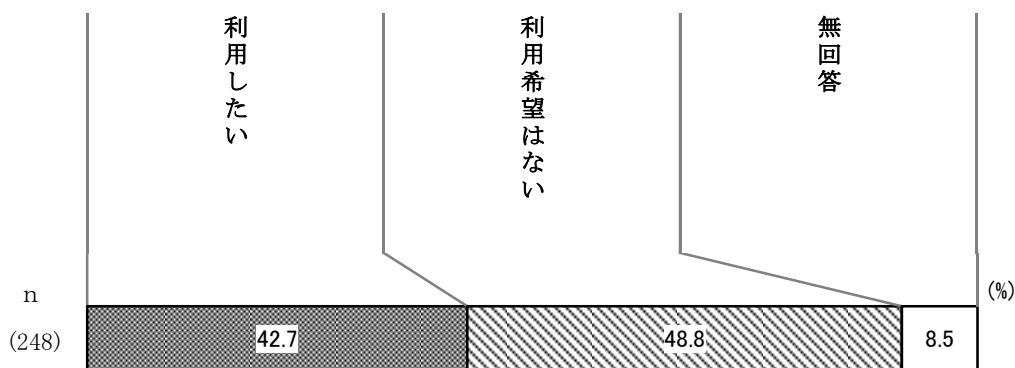
図表 63 放課後児童クラブの利用希望時間帯（長期休暇中）／全体



<土曜日の利用希望>

土曜日の利用希望については、「利用したい」(42.7%) に比べ、「利用希望はない」が 48.8% とやや高い。(図表 64)

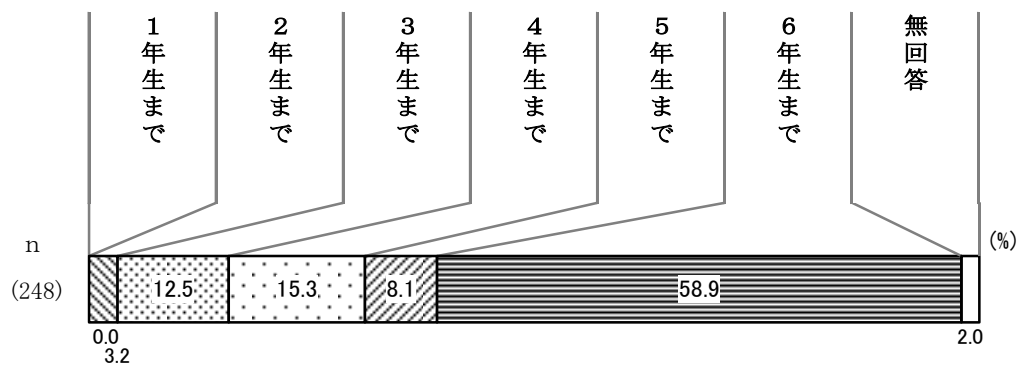
図表 64 放課後児童クラブの土曜日の利用希望



<利用希望時期>

放課後児童クラブの利用希望時期については、「6年生まで」が58.9%と特に高くなっている。(図表 65)

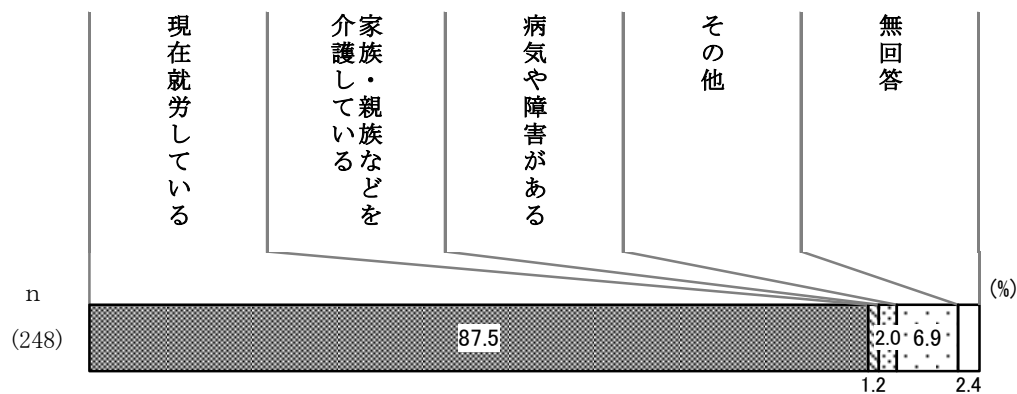
図表 65 放課後児童クラブの利用希望時期



<利用希望理由>

放課後児童クラブの利用を希望する理由については、「現在就労している」が8割半ばを超える高い比率となっている。(図表 66)

図表 66 放課後児童クラブの利用を希望する理由/全体



8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

1. 低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

【就学前：問20】

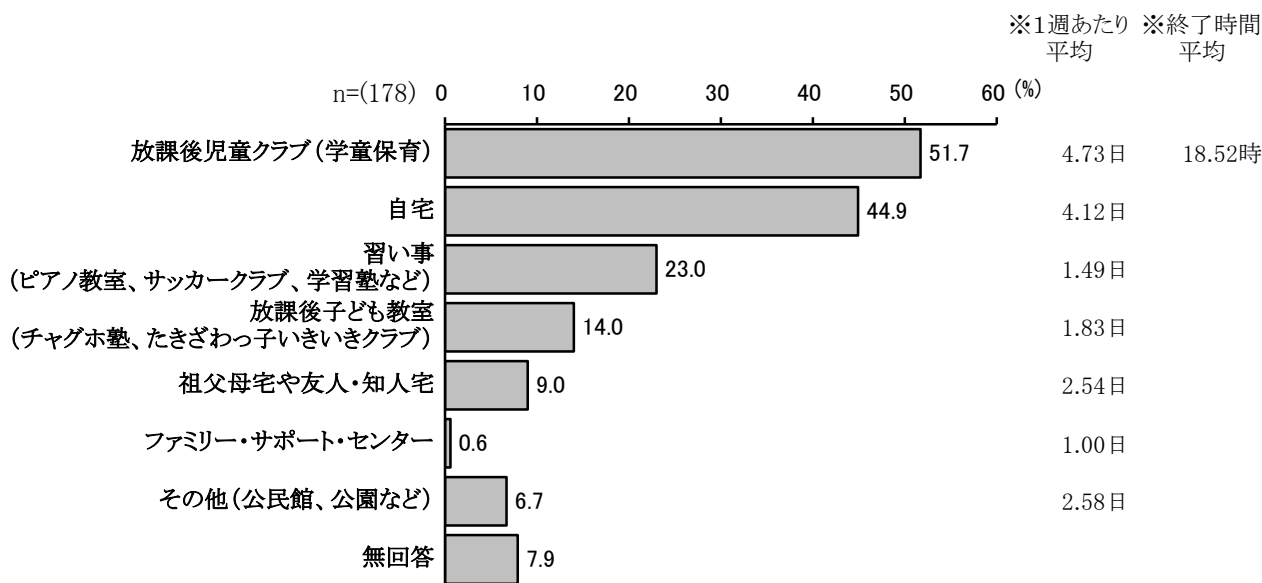
※ お子さんの年齢が5歳以上の方のみ

低学年のうちの放課後の過ごし方の希望については、「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も高く、次いで「自宅」となっている。（図表 67）

家族構成別にみると、多世代同居の家庭で「自宅」が53.8%と他に比べ高い。

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の家庭で「自宅」が84.5%、「習い事」が44.8%と他に比べて高い。（図表 68）

図表 67 低学年のうちの放課後の過ごし方の希望／全体



図表 68 低学年のうちの放課後の過ごし方の希望／家族構成別、両親の就労状況別

(上段：件、下段：%)

		調査数	放課後児童クラブ（学童保育）	自宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後子ども教室（チャグホ塾、たきざわっ子いきクラブ）	祖父母宅や友人・知人宅	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全体		178	92	80	41	25	16	1	12	14
		100.0	51.7	44.9	23.0	14.0	9.0	0.6	6.7	7.9
家族構成別	ひとり親と子ども	13	9	3	3	1	1	-	-	2
		100.0	69.2	23.1	23.1	7.7	7.7	-	-	15.4
	両親と子ども	126	64	56	29	18	13	1	9	11
	100.0	50.8	44.4	23.0	14.3	10.3	0.8	7.1	8.7	
	多世代同居	39	19	21	9	6	2	-	3	1
		100.0	48.7	53.8	23.1	15.4	5.1	-	7.7	2.6
両親の就労状況別	共働き	97	60	25	13	13	8	1	3	10
		100.0	61.9	25.8	13.4	13.4	8.2	1.0	3.1	10.3
	父親のみ就労	58	14	49	26	11	7	-	9	3
		100.0	24.1	84.5	44.8	19.0	12.1	-	15.5	5.2
	母親のみ就労	13	11	3	-	-	1	-	-	1
	100.0	84.6	23.1	-	-	7.7	-	-	7.7	
	親は働いていない	1	-	1	1	-	-	-	-	-
		100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	その他・無回答	9	7	2	1	1	-	-	-	-
		100.0	77.8	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-

2. 高学年になった際の放課後の過ごし方の希望

問 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は 24 時間制、30 分未満は切り捨て、30 分以上は切り上げ】

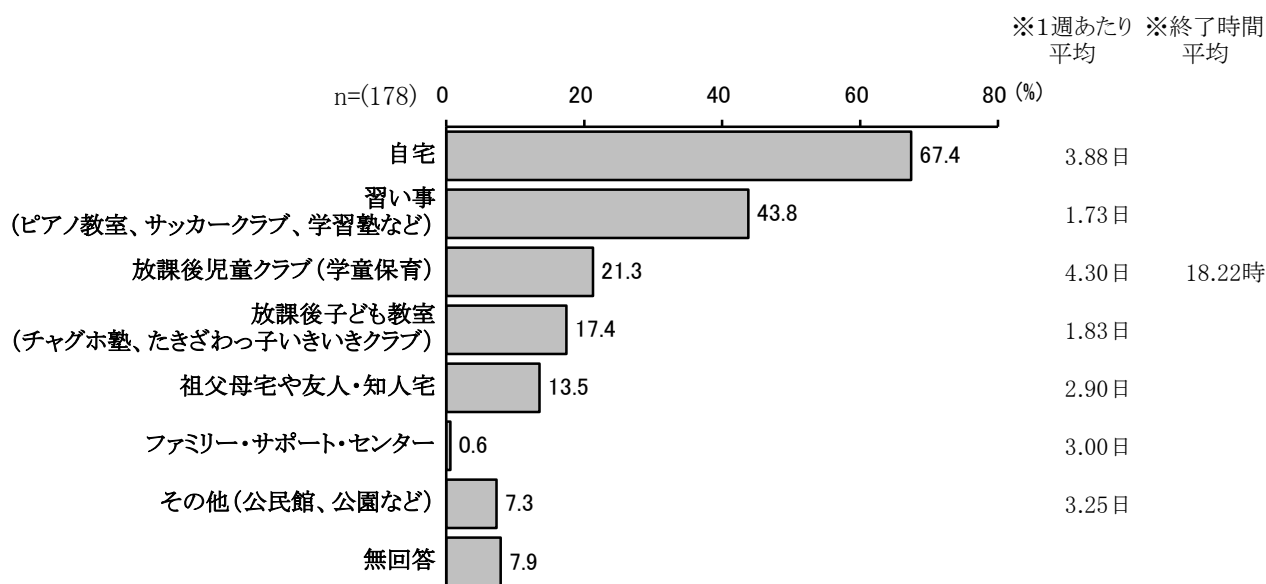
【就学前：問 21】

※ お子さんの年齢が 5 歳以上の方のみ

高学年になった際の放課後の過ごし方の希望については、「自宅」が 67.4% と特に高い。(図表 69) 家族構成別にみると、ひとり親と子どもの家庭で他と比べて「自宅」「習い事」が低く、「放課後児童クラブ」が高い。

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の家庭で「自宅」、「習い事」が特に高く、「放課後児童クラブ」は母親のみ就労の家庭で特に高くなっている。(図表 70)

図表 69 高学年になった際の放課後の過ごし方の希望/全体



図表 70 高学年になった際の放課後の過ごし方の希望／家族構成別、両親の就労状況別

(上段：件、下段：%)

		調査数	自宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ（学童保育）	放課後子ども教室（チャグホ塾、たきざわっ子いききクラブ）	祖父母宅や友人・知人宅	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全体		178 100.0	120 67.4	78 43.8	38 21.3	31 17.4	24 13.5	1 0.6	13 7.3	14 7.9
家族構成別	ひとり親と子ども	13 100.0	7 53.8	5 38.5	4 30.8	1 7.7	2 15.4	-	-	2 15.4
	両親と子ども	126 100.0	85 67.5	54 42.9	27 21.4	25 19.8	16 12.7	1 0.8	10 7.9	11 8.7
	多世代同居	39 100.0	28 71.8	19 48.7	7 17.9	5 12.8	6 15.4	-	3 7.7	1 2.6
両親の就労状況別	共働き	97 100.0	61 62.9	31 32.0	21 21.6	15 15.5	11 11.3	1 1.0	6 6.2	10 10.3
	父親のみ就労	58 100.0	47 81.0	41 70.7	7 12.1	12 20.7	10 17.2	-	7 12.1	3 5.2
	母親のみ就労	13 100.0	7 53.8	2 15.4	6 46.2	-	2 15.4	-	-	1 7.7
	親は働いていない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
	その他・無回答	9 100.0	4 44.4	3 33.3	4 44.4	4 44.4	-	-	-	-

9. 小学校卒業までの放課後の過ごし方について

1. 現在の平日の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は 24 時間制、30 分未満は切り捨て、30 分以上は切り上げ】

【小学生：問 10】

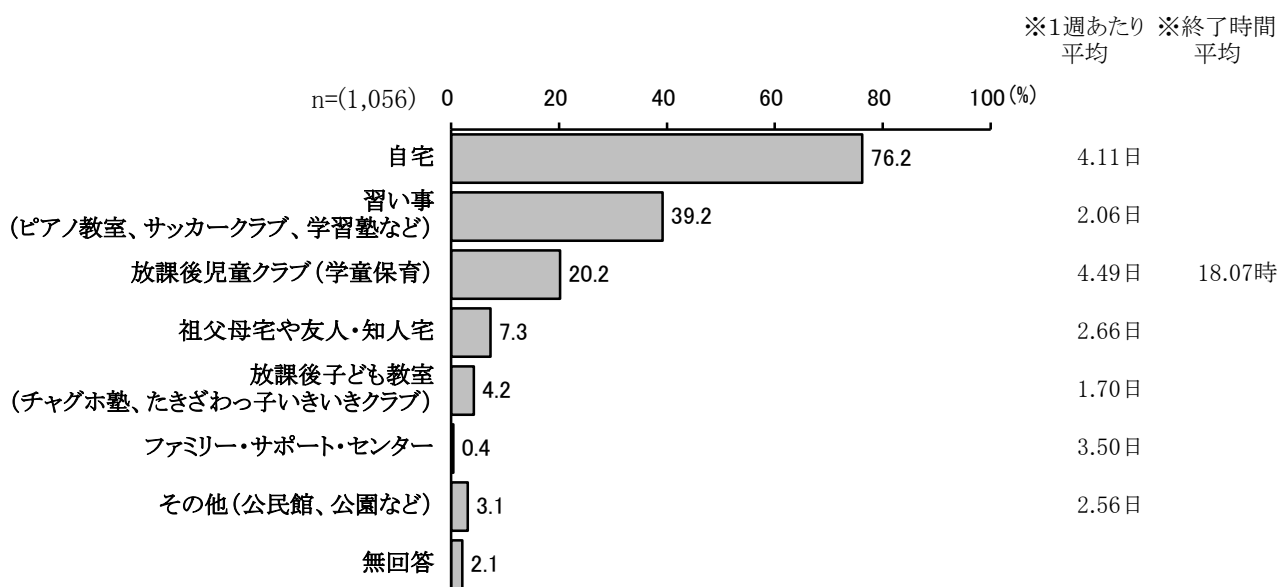
現在の平日の放課後の過ごし方については、「自宅」が 76.2%と最も高い。(図表 71)

学年別にみると、1～2年生では「放課後児童クラブ」の比率が高くなっているが、3年生以上からは「習い事」が高くなっている。

家族構成別にみると、他と比べて多世代同居の家庭で「自宅」が高く、「放課後児童クラブ」が低い。

両親の就労状況別にみると、「放課後児童クラブ」は共働きの家庭・母親のみ就労の家庭で特に高い。(図表 72)

図表 71 現在の平日の放課後の過ごし方／全体



図表 72 現在の平日の放課後の過ごし方／学年別、家族構成別、両親の就労状況別

(上段：件、下段：%)

		調査数	自宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ（学童保育）	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子ども教室（チャイロ塾、たきざわつ子いきくらぶ）	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全体		1,056 100.0	805 76.2	414 39.2	213 20.2	77 7.3	44 4.2	4 0.4	33 3.1	22 2.1
学年別	1年生	104 100.0	49 47.1	23 22.1	57 54.8	6 5.8	5 4.8	-	1 1.0	1 1.0
	2年生	103 100.0	52 50.5	33 32.0	46 44.7	10 9.7	7 6.8	2 1.9	5 4.9	3 2.9
	3年生	125 100.0	84 67.2	43 34.4	36 28.8	7 5.6	13 10.4	-	8 6.4	4 3.2
	4年生	202 100.0	159 78.7	92 45.5	39 19.3	10 5.0	8 4.0	1 0.5	3 1.5	1 0.5
	5年生	232 100.0	203 87.5	104 44.8	21 9.1	23 9.9	2 0.9	-	8 3.4	5 2.2
	6年生	273 100.0	245 89.7	112 41.0	12 4.4	19 7.0	8 2.9	1 0.4	7 2.6	8 2.9
家族構成別	ひとり親と子ども	60 100.0	45 75.0	23 38.3	13 21.7	8 13.3	2 3.3	1 1.7	1 1.7	1 1.7
	両親と子ども	699 100.0	512 73.2	277 39.6	157 22.5	58 8.3	33 4.7	3 0.4	19 2.7	16 2.3
	多世代同居	278 100.0	235 84.5	107 38.5	39 14.0	9 3.2	8 2.9	-	12 4.3	5 1.8
両親の就労状況別	共働き	656 100.0	471 71.8	261 39.8	173 26.4	55 8.4	24 3.7	2 0.3	16 2.4	3 0.5
	父親のみ就労	200 100.0	186 93.0	82 41.0	9 4.5	9 4.5	13 6.5	1 0.5	12 6.0	-
	母親のみ就労	84 100.0	67 79.8	31 36.9	15 17.9	6 7.1	3 3.6	1 1.2	1 1.2	2 2.4
	親は働いていない	13 100.0	12 92.3	6 46.2	1 7.7	2 15.4	-	-	-	-
	その他・無回答	103 100.0	69 67.0	34 33.0	15 14.6	5 4.9	4 3.9	-	4 3.9	17 16.5

2. 小学校卒業までの放課後の過ごし方の希望

問 あて名のお子さんについて、これから小学校卒業まで、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は 24 時間制、30 分未満は切り捨て、30 分以上は切り上げ】

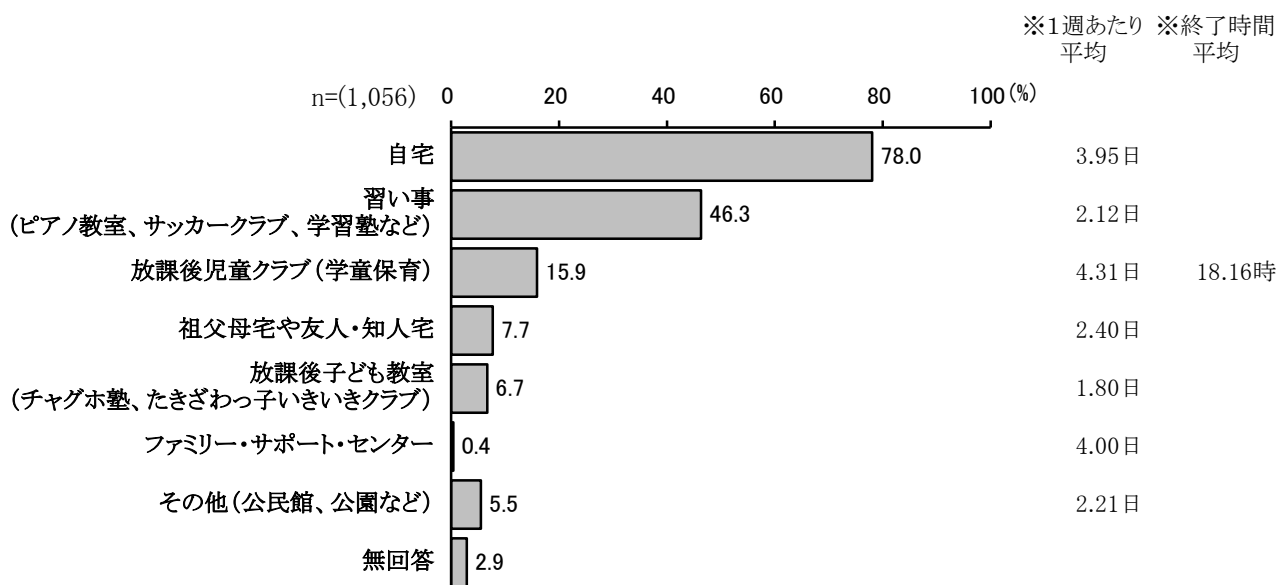
【小学生：問 11】

小学校卒業までの放課後の過ごし方の希望については、「自宅」が 78.0%と最も高い。(図表 73) 学年別にみると、「放課後児童クラブ」は学年が上がるにつれて低下する傾向がある。

家族構成別にみると、「放課後児童クラブ」は多世代同居の家庭で特に低く、「祖父母宅や友人・知人宅」はひとり親と子どもの家庭でやや高い。

両親の就労状況別にみると、共働きの家庭・母親のみ就労の家庭で「放課後児童クラブ」が高くなっている。(図表 74)

図表 73 小学校卒業までの放課後の過ごし方の希望／全体



図表 74 小学校卒業までの放課後の過ごし方の希望／学年別、家族構成別、両親の就労状況別

(上段：件、下段：%)

		調査数	自宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ（学童保育）	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子ども教室（チャイロ塾、たきざわつ子いきくらぶ）	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
全体		1,056 100.0	824 78.0	489 46.3	168 15.9	81 7.7	71 6.7	4 0.4	58 5.5	31 2.9
学年別	1年生	104 100.0	65 62.5	46 44.2	42 40.4	7 6.7	15 14.4	-	7 6.7	3 2.9
	2年生	103 100.0	63 61.2	43 41.7	35 34.0	12 11.7	9 8.7	1 1.0	8 7.8	5 4.9
	3年生	125 100.0	89 71.2	56 44.8	27 21.6	9 7.2	10 8.0	-	10 8.0	2 1.6
	4年生	202 100.0	162 80.2	111 55.0	31 15.3	12 5.9	16 7.9	1 0.5	7 3.5	3 1.5
	5年生	232 100.0	204 87.9	120 51.7	16 6.9	20 8.6	6 2.6	1 0.4	14 6.0	6 2.6
	6年生	273 100.0	232 85.0	108 39.6	14 5.1	19 7.0	15 5.5	1 0.4	10 3.7	9 3.3
家族構成別	ひとり親と子ども	60 100.0	45 75.0	28 46.7	13 21.7	7 11.7	2 3.3	-	1 1.7	2 3.3
	両親と子ども	699 100.0	530 75.8	320 45.8	124 17.7	62 8.9	51 7.3	4 0.6	34 4.9	22 3.1
	多世代同居	278 100.0	238 85.6	137 49.3	27 9.7	10 3.6	18 6.5	-	21 7.6	4 1.4
両親の就労状況別	共働き	656 100.0	498 75.9	311 47.4	124 18.9	54 8.2	39 5.9	2 0.3	30 4.6	13 2.0
	父親のみ就労	200 100.0	172 86.0	96 48.0	16 8.0	14 7.0	21 10.5	2 1.0	18 9.0	6 3.0
	母親のみ就労	84 100.0	70 83.3	36 42.9	13 15.5	6 7.1	3 3.6	-	1 1.2	2 2.4
	親は働いていない	13 100.0	10 76.9	5 38.5	1 7.7	1 7.7	-	-	1 7.7	1 7.7
	その他・無回答	103 100.0	74 71.8	41 39.8	14 13.6	6 5.8	8 7.8	-	8 7.8	9 8.7

10. 地域の子育て支援事業の利用状況について

1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況

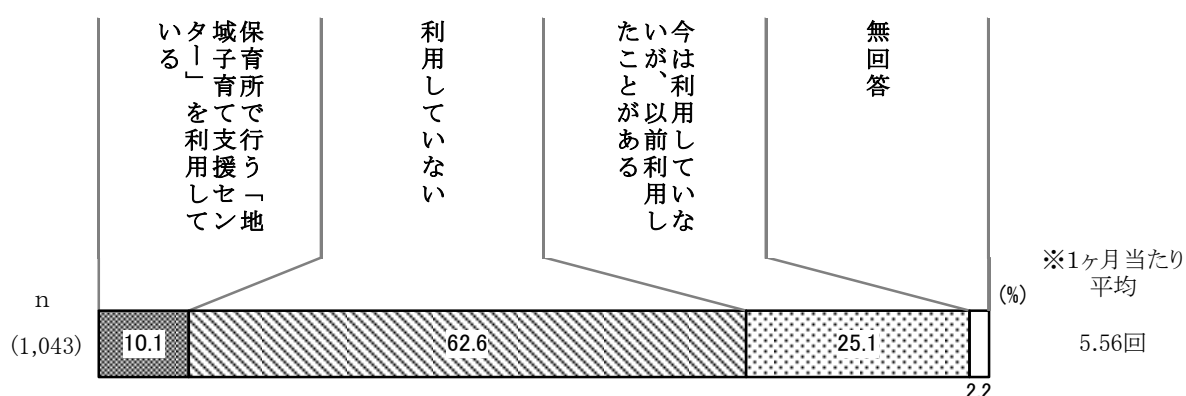
問 あて名のお子さんが、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

【○は1つ・利用している事業は利用回数を記入】

【就学前：問 14】

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が62.6%を占めている。なお、「今は利用していない」は25.1%、「保育所で行う「地域子育て支援センター」を利用している」は10.1%となっている。（図表 75）

図表 75 地域子育て支援拠点事業の利用状況／全体



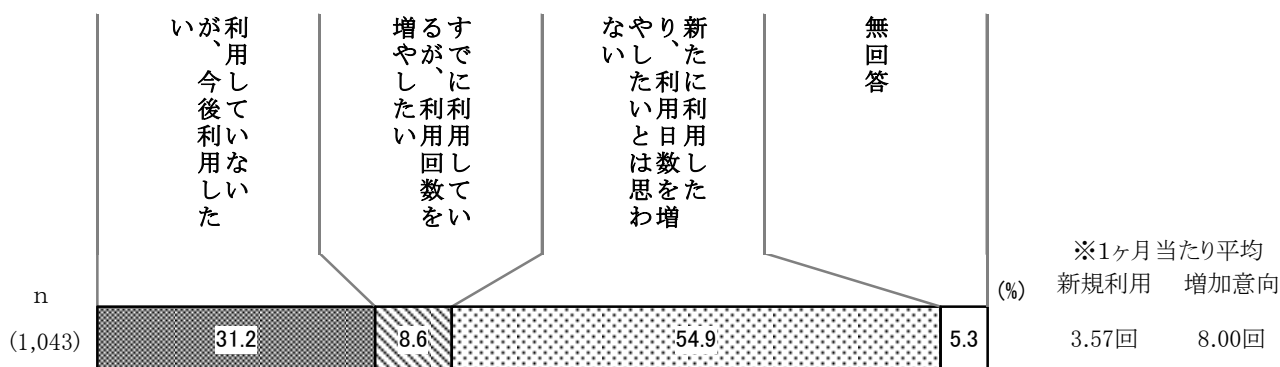
2. 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 問14のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いませんか。【○は1つ・利用を希望する場合は希望利用回数を記入】

【就学前：問 15】

地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が54.9%と最も高い。新規の利用希望（「利用していないが、今後利用したい」）は31.2%、増加意向（「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」）は8.6%となっている。（図表 76）

図表 76 地域子育て支援拠点事業の利用希望／全体



1.1. 病気の際の対応について

1. 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無

問 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）が利用できなかったことはありますか。【〇は1つ】

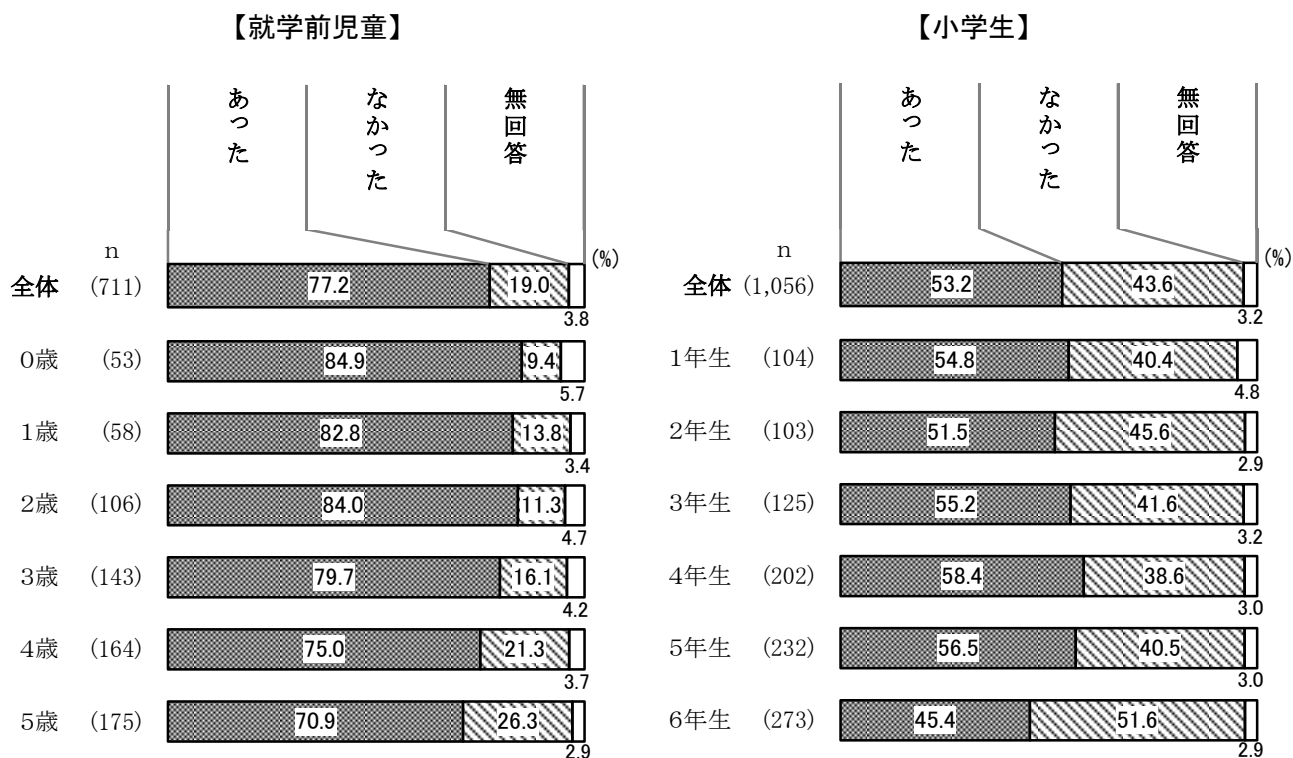
【就学前：問 16、小学生：問 14】

※ 『4-1 定期的な幼児教育・保育事業の利用の有無』で「利用している」と回答した方のみ

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無については、就学前児童・小学生ともに「あった」が「なかった」に比べ高くなっている点は同様である。

年齢・学年別にみると、就学前児童では全ての年齢で「あった」が7割を超えている一方、小学生では5割程度にとどまり「なかった」の割合が高くなっている。（図表 77）

図表 77 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無／年齢・学年別



2. 病気やケガで教育・保育事業ができなかった場合の対処法

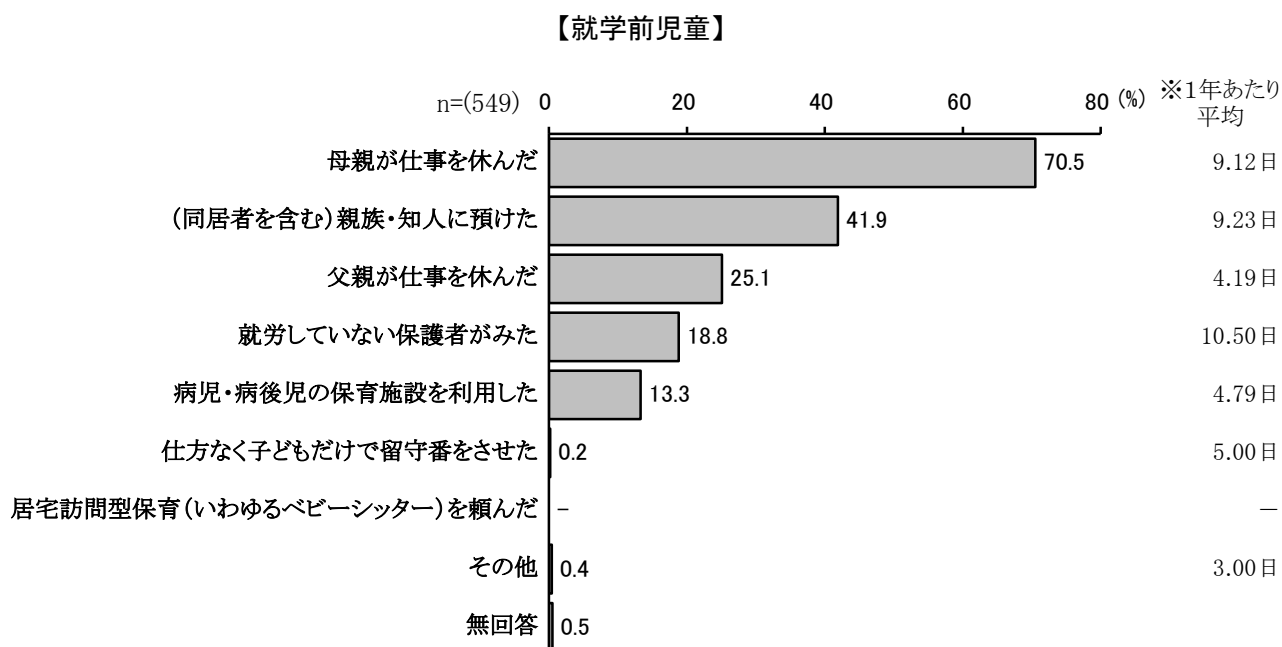
問 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）が利用できなかった場合にどのように対応しましたか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの日数を記入（半日程度対応の場合も1日とカウント）】

【就学前：問 16-1、小学生：問 14-1】

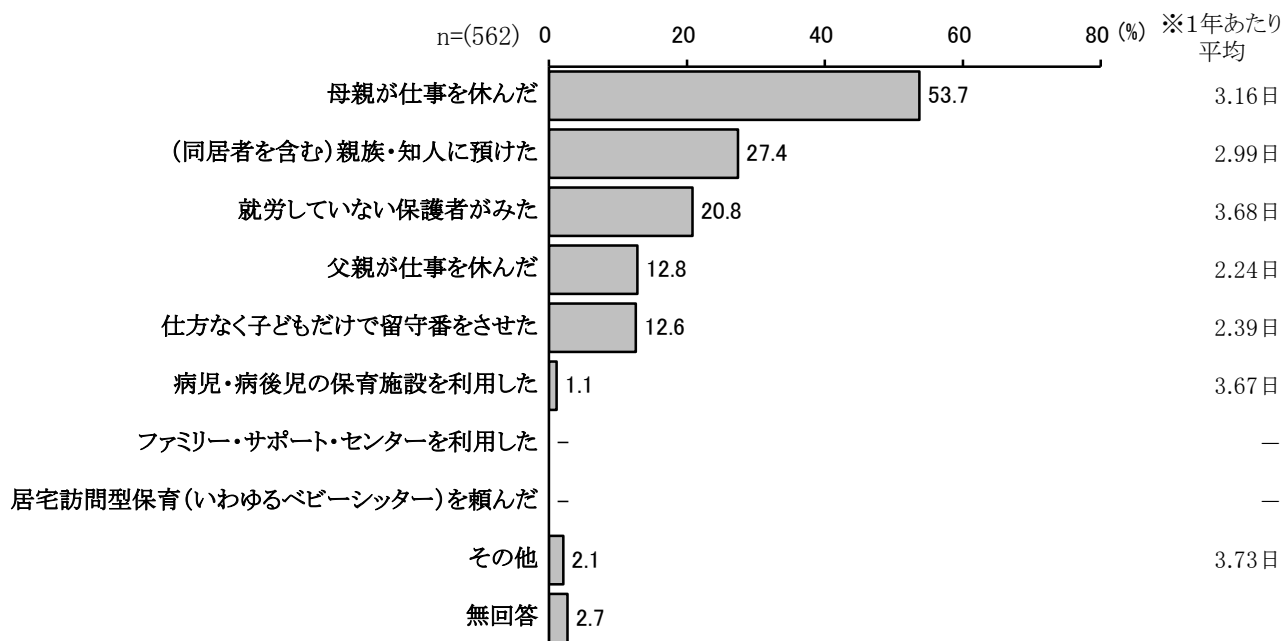
※ 『1 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無』で「あった」と回答した方のみ

病気やケガで教育・保育事業ができなかった場合の対処法については、就学前児童・小学生ともに「母親が仕事を休んだ」が最も高く、就学前児童では70.5%にも上る。次いで就学前児童は「親族・知人に預けた」、「父親が仕事を休んだ」、「就労していない保護者がみた」の順となっているが、小学生では順位が入れ替わり「親族・知人に預けた」、「就労していない保護者がみた」、「父親が仕事を休んだ」となっている。（図表 78）

図表 78 病気やケガで教育・保育事業ができなかった場合の対処法／全体



【小学生】



3. 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【○は1つ・利用したい場合は日数を記入】

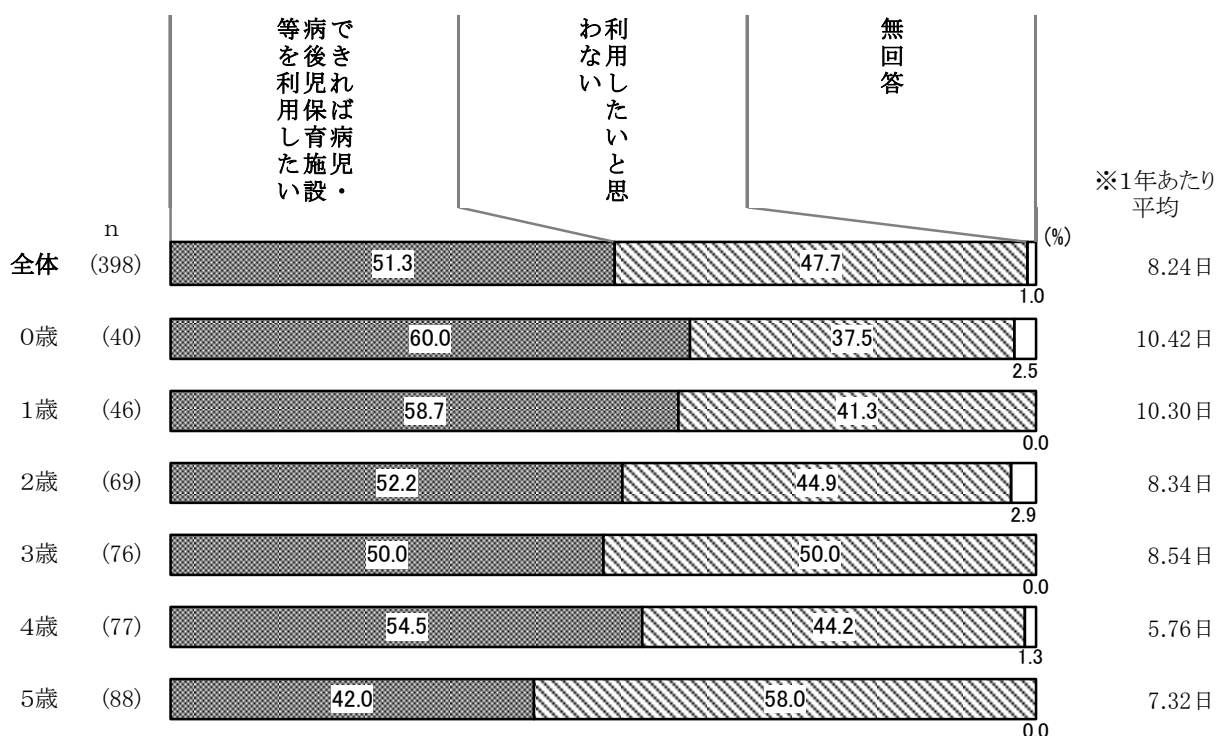
【就学前：問 16-2、小学生：問 14-2】

※ 『2 病気やケガで教育・保育事業ができなかった場合の対処法』で、「父親が仕事を休んだ」・「母親が仕事を休んだ」と回答した方のみ

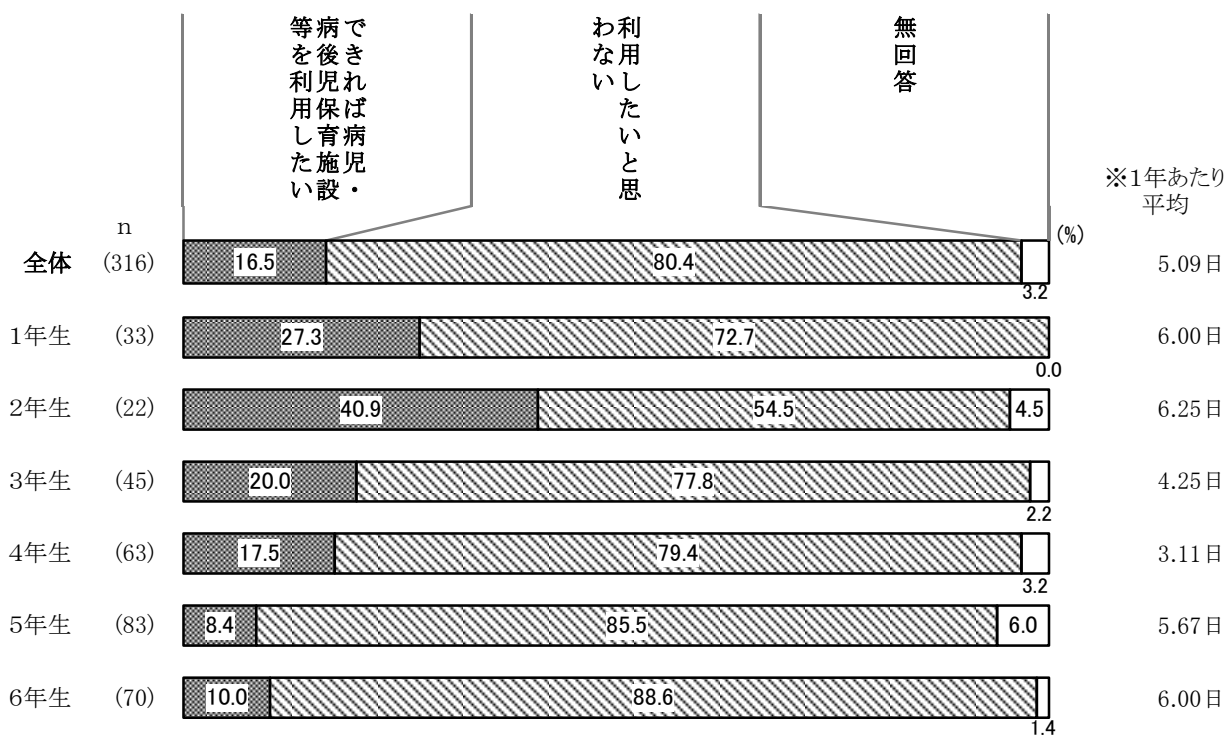
病児・病後児保育施設等の利用希望について、就学前児童では5歳でのみ「利用したいと思わない」が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を上回っているが、小学生では全ての学年で「利用したいと思わない」が最も高い。(図表 79)

図表 79 病児・病後児保育施設等の利用希望／年齢・学年別

【就学前児童】



【小学生】



1 2. 不定期の保育サービスの利用について

1. 不定期の保育サービスの利用状況

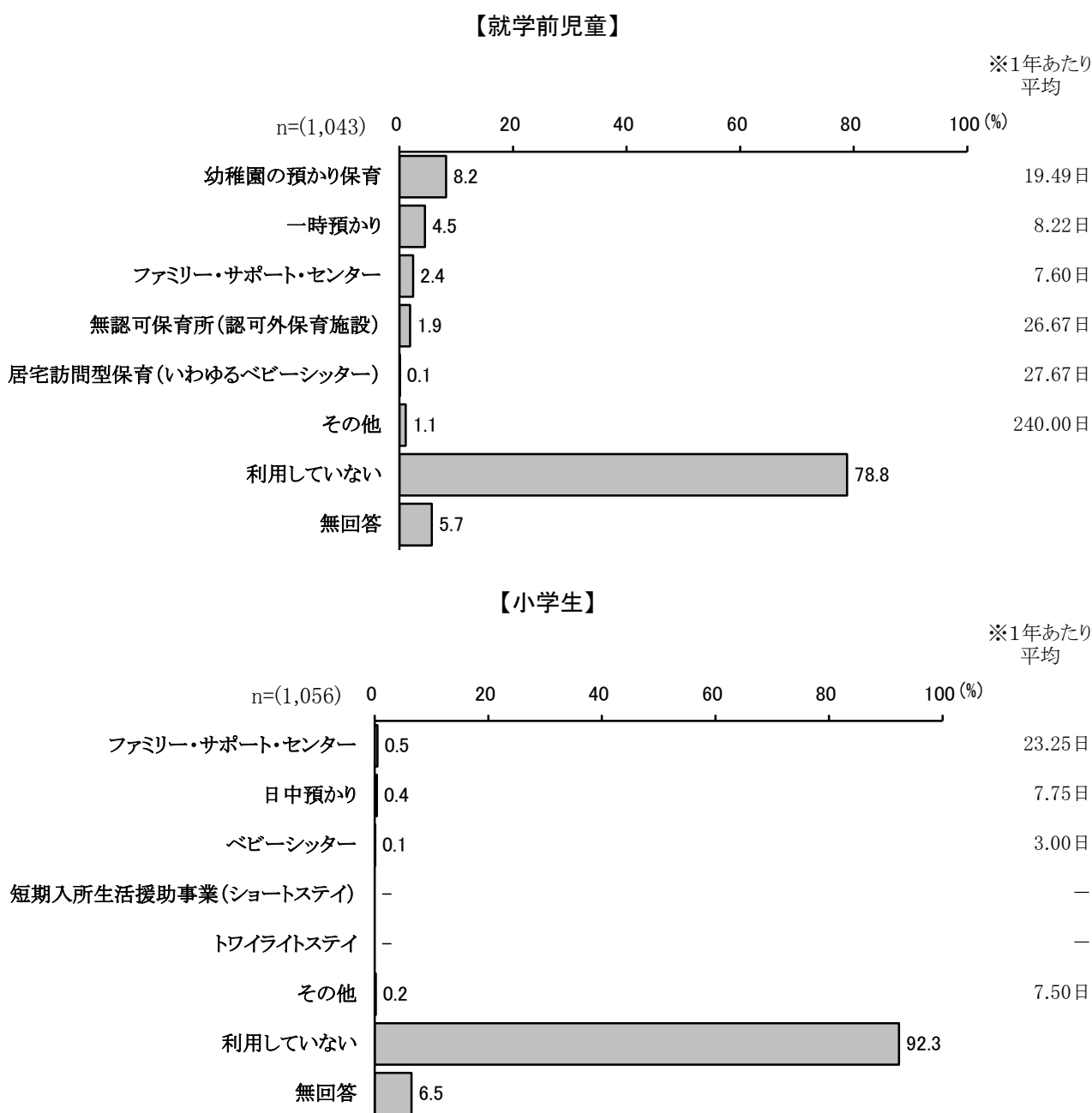
問 あて名のお子さんについて、この1年間に、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用したサービスはありますか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用日数を記入】

【就学前：問 17、小学生：問 15】

不定期の保育サービスの利用状況については、「利用していない」が就学前児童で 78.8%、小学生で 92.3%といずれも最も高い。就学前児童の利用率では、「幼稚園の預かり保育」(8.2%)、「一時預かり」(4.5%)がやや高めである。小学生の利用率はいずれも 1%未満となっている。(図表 80)

図表 80 不定期の保育サービスの利用状況／全体



2. 不定期の保育サービスの利用希望

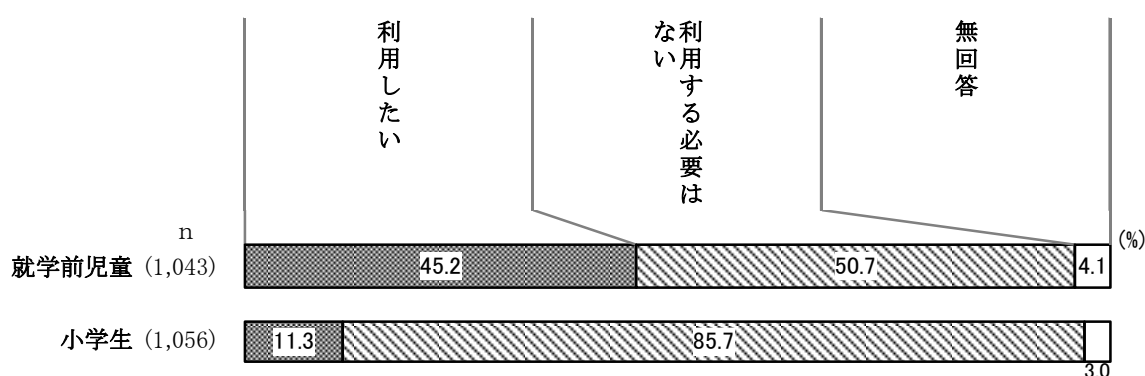
問 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。【〇は1つ】
どのような目的で、どのくらいの日数を利用したいですか。【〇はあてはまるものすべて・〇をつけたものの1年間の日数を記入】

【就学前：問 18・18-1、小学生：問 16・16-1】

<利用希望の有無>

不定期の保育サービスの利用希望については、就学前児童・小学生ともに「利用する必要はない」が過半数を占めているが、特に小学生では85.7%と高い。(図表 81)

図表 81 不定期の保育サービスの利用希望／全体

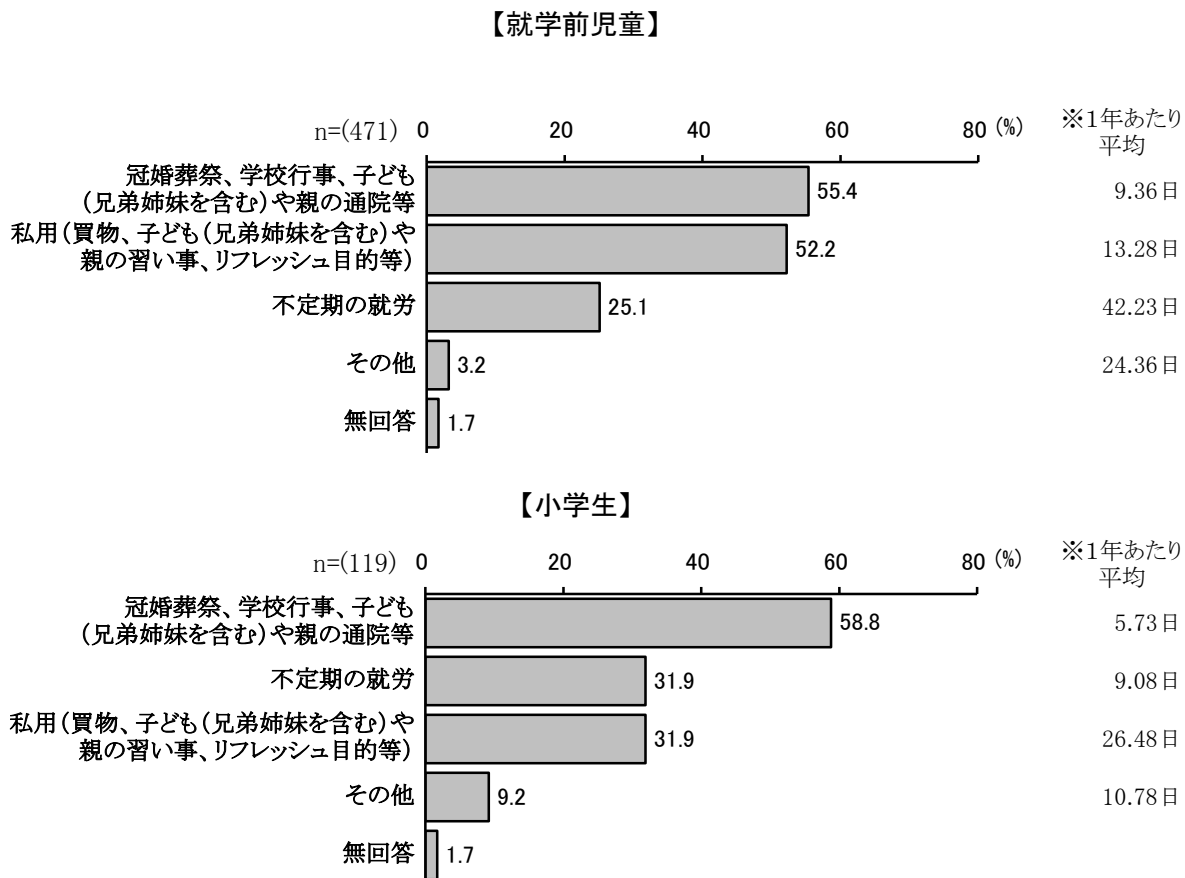


<利用目的>

※ 『2 不定期の保育サービスの利用希望』で「利用したい」と回答した方のみ

不定期の保育サービスの利用目的については、就学前児童・小学生ともに「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が最も高い。次いで「私用」、「不定期の就労」となっているが、小学生では就学前児童に比べて「私用」の比率は低くなっている。(図表 82)

図表 82 不定期の保育サービスの利用目的／全体



3. 泊りがけで子どもをみてもらう必要性の有無

問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）によりあて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【〇は1つ】

《問19で「1. あった」に〇をつけた方にかがいます。》

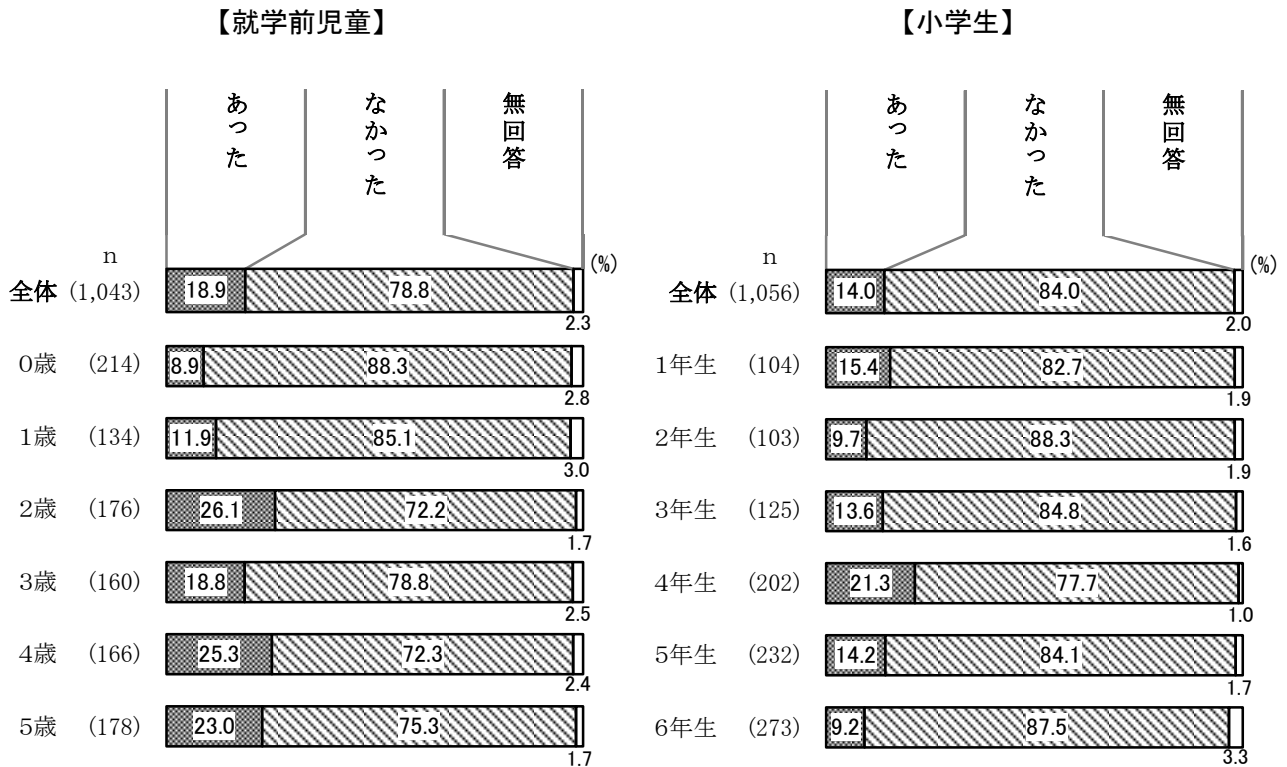
問19-1 この1年間にどのように対応しましたか。【〇はあてはまるものすべて・〇をつけたものの1年間の泊数を記入】

【就学前：問19・19-1、小学生：問17・17-1】

<泊りがけで預ける必要性の有無>

泊りがけで子どもをみてもらう必要性の有無については、就学前児童・小学生ともに「なかった」が7割を超え、「あった」は1割弱から2割半ばにとどまっている。（図表 83）

図表 83 泊りがけで子どもをみてもらう必要性の有無／年齢・学年別

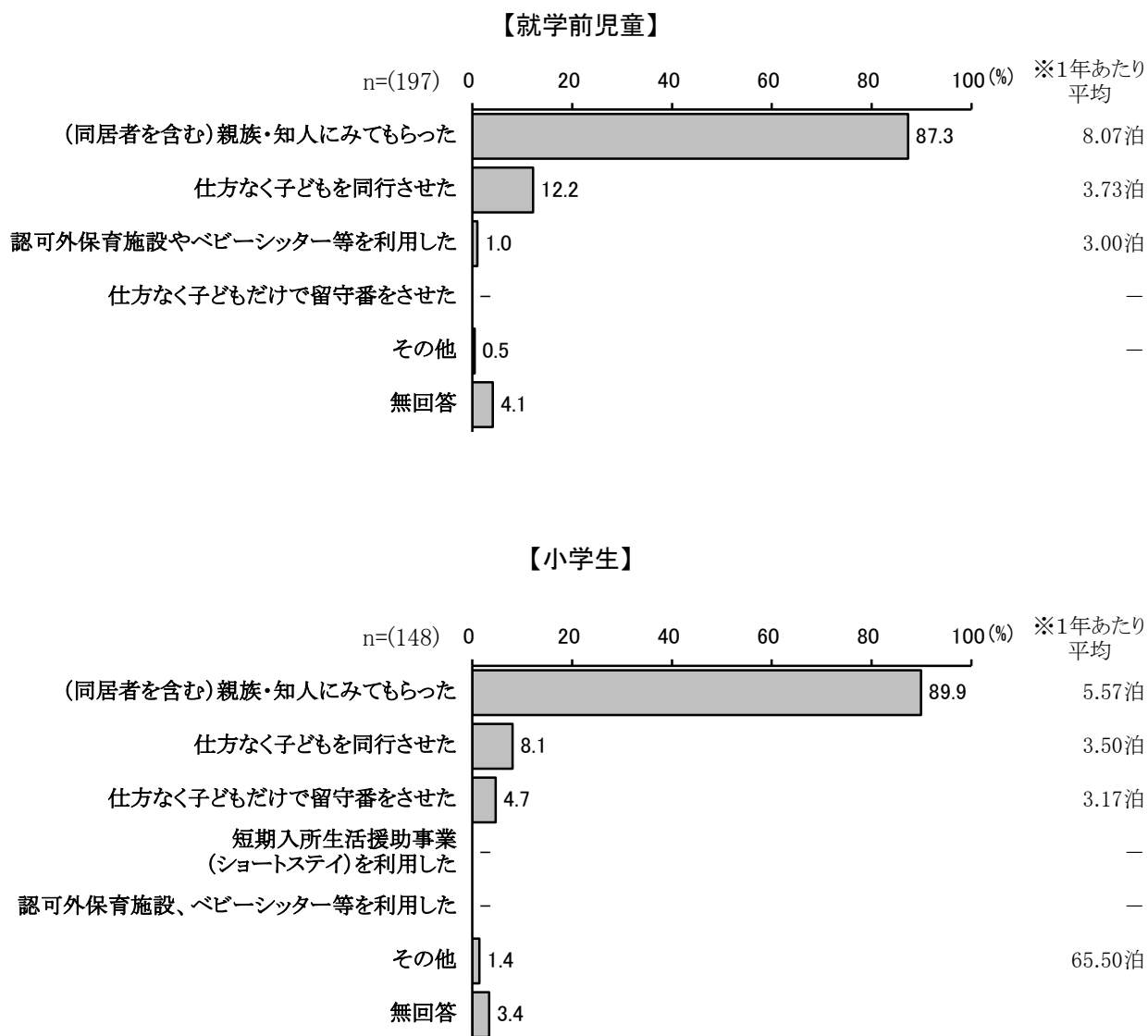


＜泊りがけで預ける必要性があった場合の対処方法＞

※ 『3 泊りがけで子どもをみてもらう必要性の有無』で「あった」と回答した方のみ

泊りがけで子どもをみてもらう必要性があった場合の対処方法については、就学前児童・小学生ともに「親族・友人にみてもらった」が9割弱となっている。「仕方なく子どもを同行させた」は就学前児童で12.2%と小学生の8.1%と比べてやや高い。(図表 84)

図表 84 泊りがけで子どもをみてもらう必要性があった場合の対処方法／全体



4. 親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度

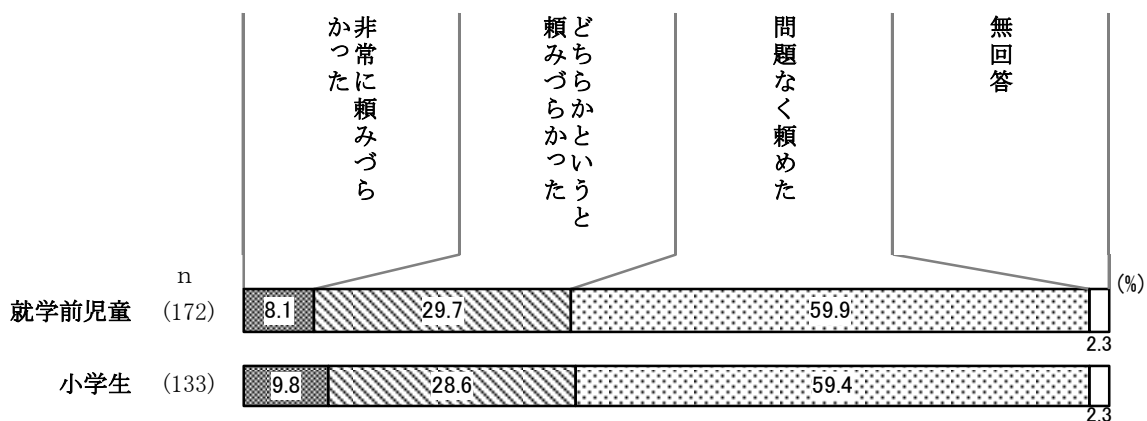
問 親族や知人にみてもらうのは困難でしたか。【〇は1つ】

【就学前：問 19-2、小学生：問 17-2】

※ 『3 泊りがけで子どもをみてもらう必要性の有無』で「親族・知人にみてもらった」と回答した方のみ

親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度については、就学前児童・小学生ともに「問題なく頼めた」が約6割を占めている。一方、「非常に頼みづらかった」と「どちらかというと頼みづらかった」を合わせた《頼みづらかった》は就学前児童で37.8%、小学生で38.4%となっている。(図表85)

図表 85 親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度／全体



1 3. 育児休業など職場の両立支援制度について

1. 育児休業の取得状況

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。
【〇は1つ・「2」は月数を記入】

【就学前：問 22、小学生：問 18】

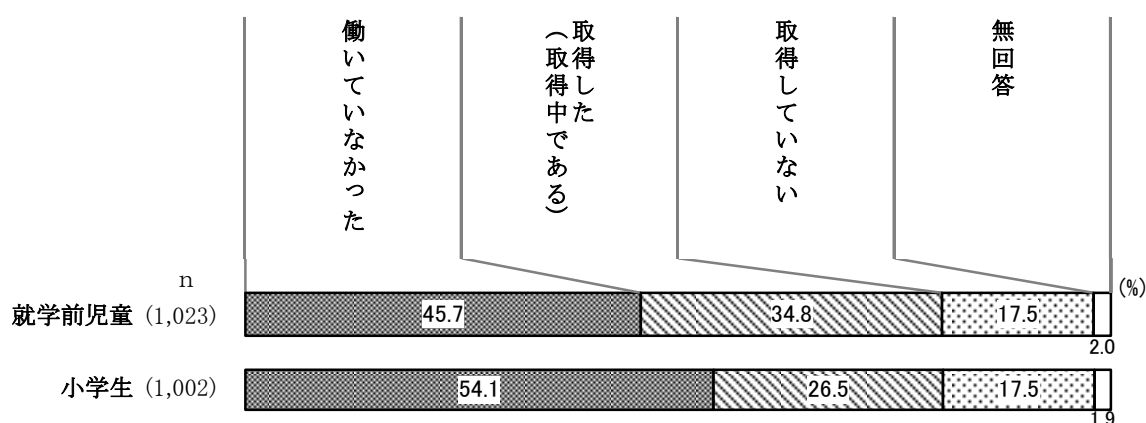
<取得状況>

育児休業の取得状況について全体でみると、母親では、就学前児童・小学生ともに「働いていなかった」が4割半ばから5割半ばで最も高く、「取得した（取得中である）」は就学前児童で3割半ば、小学生で2割半ばとなっている。父親では、「取得していない」が就学前児童・小学生ともに8割半ばを占め、「取得した」とする回答はいずれも1割未満となっている。（図表 86、図表 87）

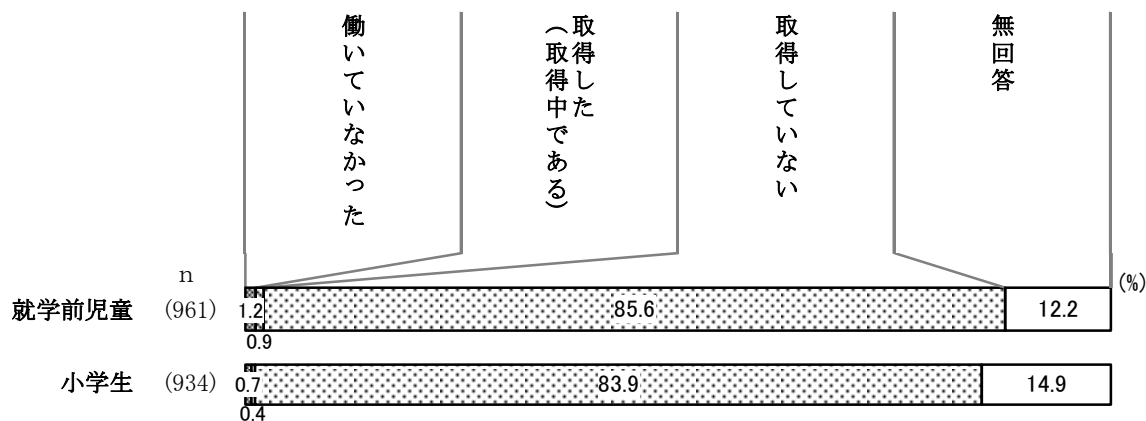
家族構成別にみると、いずれの家庭でも母親は「働いていなかった」、父親は「取得していない」がそれぞれ最も高い。

両親の就労状況別にみると、母親では、就学前児童の共働きの家庭を除いて「働いていなかった」、父親では就学前児童の母親のみ就労の家庭を除いて「取得していない」がそれぞれ最も高い。（図表 88、図表 89）

図表 86 育児休業の取得状況（母親）／全体



図表 87 育児休業の取得状況（父親）／全体



図表 88 育児休業の取得状況（母親）／家族構成別、両親の就労状況別

【就学前児童】

【小学生】

(上段：件、下段：%)

		調査数	働いていなかった	(取得した 取得中である)	取得していない	無回答
全体		1,023 100.0	468 45.7	356 34.8	179 17.5	20 2.0
家族構成別	ひとり親と子ども	36 100.0	16 44.4	10 27.8	9 25.0	1 2.8
	両親と子ども	750 100.0	338 45.1	262 34.9	135 18.0	15 2.0
	多世代同居	237 100.0	114 48.1	84 35.4	35 14.8	4 1.7
両親の就労状況別	共働き	537 100.0	152 28.3	293 54.6	87 16.2	5 0.9
	父親のみ就労	353 100.0	257 72.8	20 5.7	66 18.7	10 2.8
	母親のみ就労	58 100.0	23 39.7	20 34.5	14 24.1	1 1.7
	親は働いていない	11 100.0	10 90.9	-	1 9.1	-
	その他・無回答	64 100.0	26 40.6	23 35.9	11 17.2	4 6.3

(上段：件、下段：%)

		調査数	働いていなかった	(取得した 取得中である)	取得していない	無回答
全体		1,002 100.0	542 54.1	266 26.5	175 17.5	19 1.9
家族構成別	ひとり親と子ども	43 100.0	24 55.8	5 11.6	11 25.6	3 7.0
	両親と子ども	699 100.0	383 54.8	187 26.8	117 16.7	12 1.7
	多世代同居	260 100.0	135 51.9	74 28.5	47 18.1	4 1.5
両親の就労状況別	共働き	656 100.0	305 46.5	224 34.1	117 17.8	10 1.5
	父親のみ就労	176 100.0	133 75.6	13 7.4	26 14.8	4 2.3
	母親のみ就労	84 100.0	51 60.7	12 14.3	17 20.2	4 4.8
	親は働いていない	12 100.0	8 66.7	-	3 25.0	1 8.3
	その他・無回答	74 100.0	45 60.8	17 23.0	12 16.2	-

図表 89 育児休業の取得状況（父親）／家族構成別、両親の就労状況別

【就学前児童】

【小学生】

(上段：件、下段：%)

		調査数	働いていなかった	(取得した 取得中である)	取得していない	無回答
全体		961 100.0	12 1.2	9 0.9	823 85.6	117 12.2
家族構成別	ひとり親と子ども	7 100.0	-	-	4 57.1	3 42.9
	両親と子ども	750 100.0	10 1.3	8 1.1	647 86.3	85 11.3
	多世代同居	204 100.0	2 1.0	1 0.5	172 84.3	29 14.2
両親の就労状況別	共働き	537 100.0	7 1.3	6 1.1	458 85.3	66 12.3
	父親のみ就労	360 100.0	3 0.8	3 0.8	319 88.6	35 9.7
	母親のみ就労	2 100.0	2 100.0	-	-	-
	親は働いていない	-	-	-	-	-
	その他・無回答	62 100.0	-	-	46 74.2	16 25.8

(上段：件、下段：%)

		調査数	働いていなかった	(取得した 取得中である)	取得していない	無回答
全体		934 100.0	7 0.7	4 0.4	784 83.9	139 14.9
家族構成別	ひとり親と子ども	17 100.0	-	-	15 88.2	2 11.8
	両親と子ども	699 100.0	6 0.9	4 0.6	591 84.5	98 14.0
	多世代同居	218 100.0	1 0.5	-	178 81.7	39 17.9
両親の就労状況別	共働き	656 100.0	5 0.8	3 0.5	553 84.3	95 14.5
	父親のみ就労	200 100.0	1 0.5	1 0.5	174 87.0	24 12.0
	母親のみ就労	6 100.0	-	-	4 66.7	2 33.3
	親は働いていない	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3
	その他・無回答	69 100.0	-	-	52 75.4	17 24.6

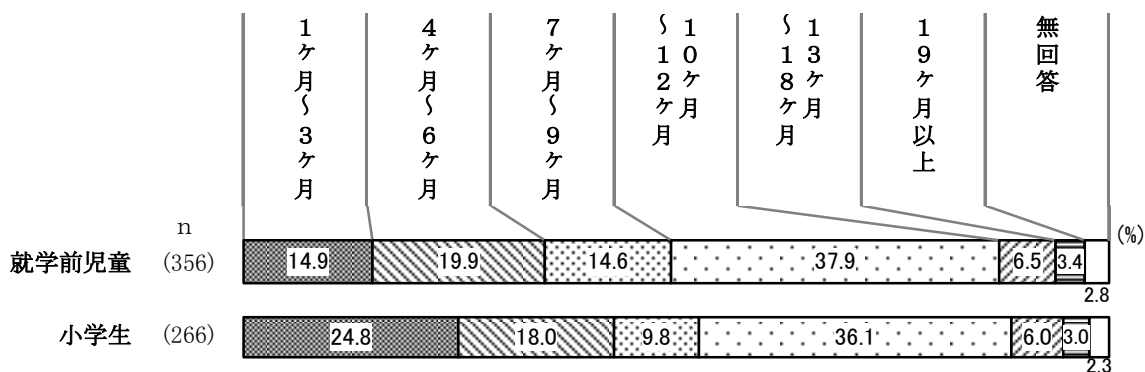
<取得期間>

育児休業の取得期間について全体で見ると、母親では、「10ヶ月～12ヶ月」が就学前児童(37.9%)、小学生(36.1%)ともに最も高い。(図表 90、図表 91)

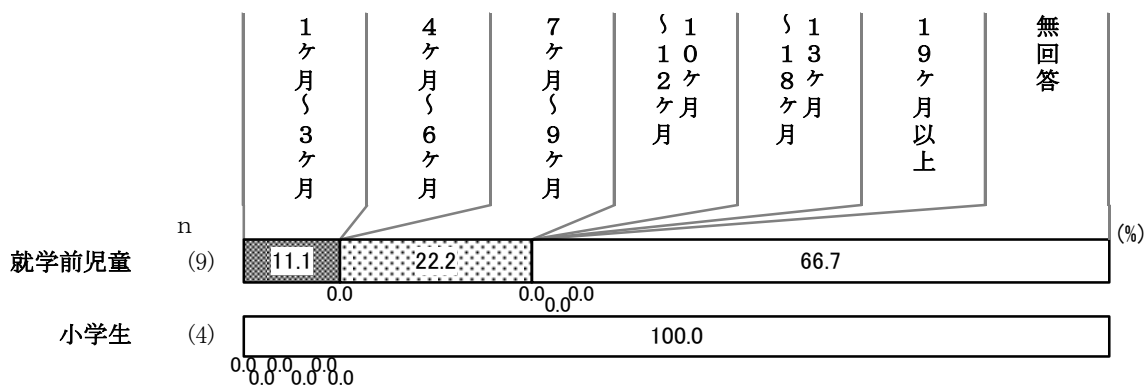
家族構成別にみると、母親では、就学前児童・小学生ともに、ひとり親と子どもの家庭で「1ヶ月～3ヶ月」、両親と子どもの家庭・多世代同居の家庭で「10ヶ月～12ヶ月」がそれぞれ最も高い。

両親の就労状況別にみると、母親では、就学前児童・小学生ともに、母親のみ就労の家庭で「1ヶ月～3ヶ月」の比率が他に比べて高い。(図表 92、図表 93)

図表 90 育児休業の取得期間（母親）／全体



図表 91 育児休業の取得期間（父親）／全体



図表 92 育児休業の取得期間（母親）／家族構成別、両親の就労状況別
【就学前児童】

(上段：件、下段：%)

		調査数	1 ヶ 月 ～ 3 ヶ 月	4 ヶ 月 ～ 6 ヶ 月	7 ヶ 月 ～ 9 ヶ 月	1 0 ヶ 月 ～ 1 2 ヶ 月	1 3 ヶ 月 ～ 1 8 ヶ 月	1 9 ヶ 月 以 上	無 回 答
全体		356 100.0	53 14.9	71 19.9	52 14.6	135 37.9	23 6.5	12 3.4	10 2.8
家 族 構 成 別	ひとり親と子ども	10 100.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-
	両親と子ども	262 100.0	31 11.8	53 20.2	39 14.9	102 38.9	19 7.3	10 3.8	8 3.1
	多世代同居	84 100.0	19 22.6	17 20.2	11 13.1	31 36.9	3 3.6	1 1.2	2 2.4
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	293 100.0	44 15.0	62 21.2	41 14.0	106 36.2	20 6.8	11 3.8	9 3.1
	父親のみ就労	20 100.0	1 5.0	2 10.0	-	15 75.0	1 5.0	-	1 5.0
	母親のみ就労	20 100.0	6 30.0	5 25.0	3 15.0	5 25.0	-	1 5.0	-
	親は働いていない	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他・無回答	23 100.0	2 8.7	2 8.7	8 34.8	9 39.1	2 8.7	-	-

【小学生】

(上段：件、下段：%)

		調査数	1 ヶ 月 ～ 3 ヶ 月	4 ヶ 月 ～ 6 ヶ 月	7 ヶ 月 ～ 9 ヶ 月	1 0 ヶ 月 ～ 1 2 ヶ 月	1 3 ヶ 月 ～ 1 8 ヶ 月	1 9 ヶ 月 以 上	無 回 答
全体		266 100.0	66 24.8	48 18.0	26 9.8	96 36.1	16 6.0	8 3.0	6 2.3
家 族 構 成 別	ひとり親と子ども	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-
	両親と子ども	187 100.0	41 21.9	30 16.0	17 9.1	73 39.0	14 7.5	7 3.7	5 2.7
	多世代同居	74 100.0	22 29.7	17 23.0	8 10.8	23 31.1	2 2.7	1 1.4	1 1.4
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	224 100.0	52 23.2	37 16.5	23 10.3	85 37.9	14 6.3	7 3.1	6 2.7
	父親のみ就労	13 100.0	5 38.5	3 23.1	1 7.7	3 23.1	1 7.7	-	-
	母親のみ就労	12 100.0	5 41.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	-	-	-
	親は働いていない	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他・無回答	17 100.0	4 23.5	4 23.5	1 5.9	6 35.3	1 5.9	1 5.9	-

図表 93 育児休業の取得期間（父親）／家族構成別、両親の就労状況別

【就学前児童】

(上段：件、下段：%)

		調査数	1 ヶ 月 ～ 3 ヶ 月	4 ヶ 月 ～ 6 ヶ 月	7 ヶ 月 ～ 9 ヶ 月	1 0 ヶ 月 ～ 1 2 ヶ 月	1 3 ヶ 月 ～ 1 8 ヶ 月	1 9 ヶ 月 以 上	無 回 答
全体		9 100.0	1 11.1	-	2 22.2	-	-	-	6 66.7
家 族 構 成 別	ひとり親と子ども	-	-	-	-	-	-	-	-
	両親と子ども	8 100.0	1 12.5	-	2 25.0	-	-	-	5 62.5
	多世代同居	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	6 100.0	1 16.7	-	2 33.3	-	-	-	3 50.0
	父親のみ就労	3 100.0	-	-	-	-	-	-	3 100.0
	母親のみ就労	-	-	-	-	-	-	-	-
	親は働いていない	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

【小学生】

(上段：件、下段：%)

		調査数	1 ヶ 月 ～ 3 ヶ 月	4 ヶ 月 ～ 6 ヶ 月	7 ヶ 月 ～ 9 ヶ 月	1 0 ヶ 月 ～ 1 2 ヶ 月	1 3 ヶ 月 ～ 1 8 ヶ 月	1 9 ヶ 月 以 上	無 回 答
全体		4 100.0	-	-	-	-	-	-	4 100.0
家 族 構 成 別	ひとり親と子ども	-	-	-	-	-	-	-	-
	両親と子ども	4 100.0	-	-	-	-	-	-	4 100.0
	多世代同居	-	-	-	-	-	-	-	-
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	3 100.0	-	-	-	-	-	-	3 100.0
	父親のみ就労	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	母親のみ就労	-	-	-	-	-	-	-	-
	親は働いていない	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 育児休業を取得していない理由

問 育児休業を取得していない理由をお答えください。【主な理由の番号を3つまで記入】

【就学前：問 22、小学生：問 18】

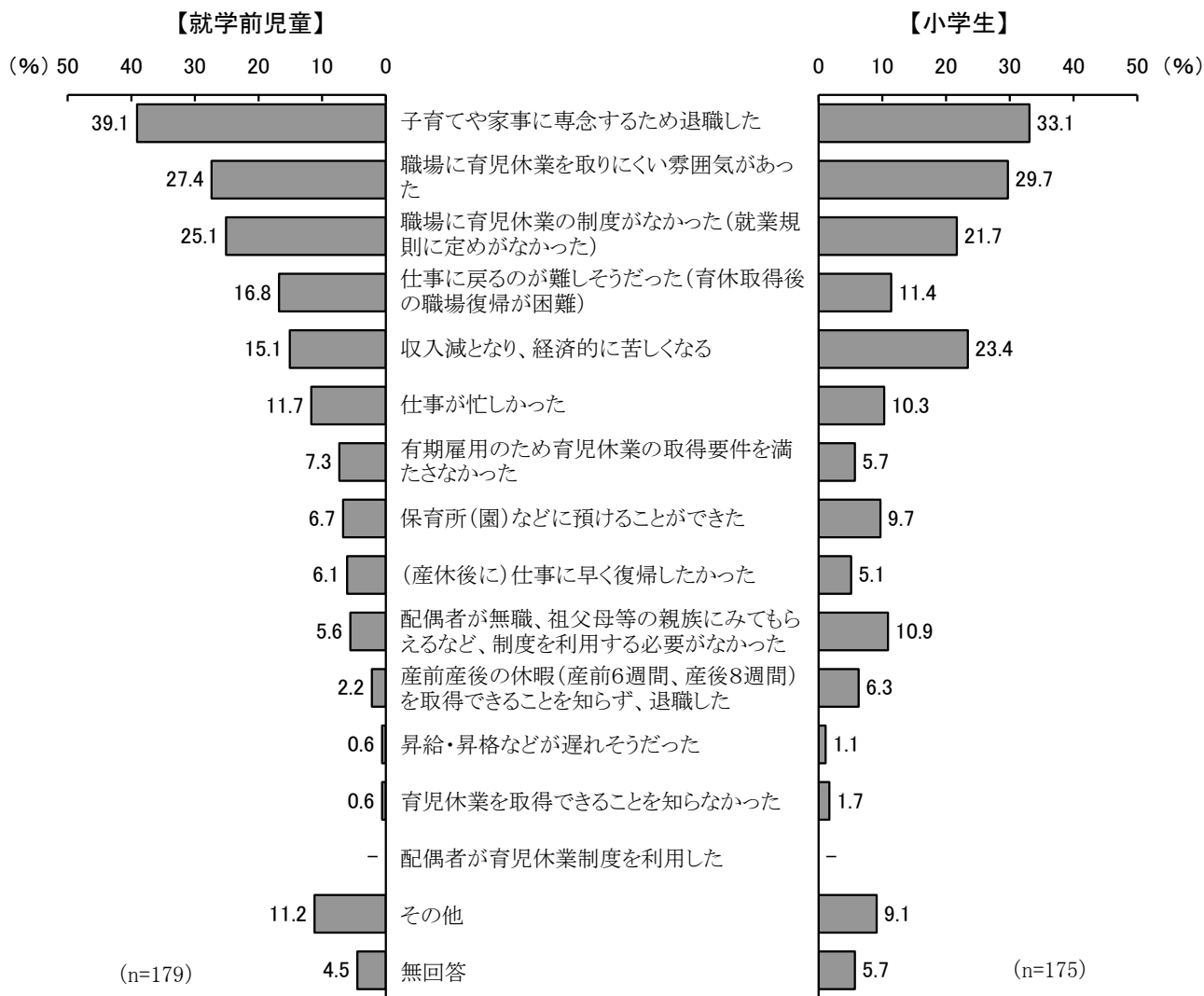
※ 『1 育児休業の取得状況』で父母のいずれか、もしくは双方が「取得していない」と回答した方のみ

育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」は、就学前児童・小学生の母親ともに3割を超え最も高いが、父親ではほとんど見られない。「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」は、就学前児童・小学生ともに母親では1割前後であるのに対し、父親では3割から4割と差がみられる。「収入減となり、経済的に苦しくなる」は、就学前児童の母親で1割半ばと他に比べて低い。「配偶者が育児休業制度を利用した」は、就学前児童・小学生ともに父親では1割半ばから2割程度いるが、母親では利用したとの回答はみられない。(図表 94、図表 95)

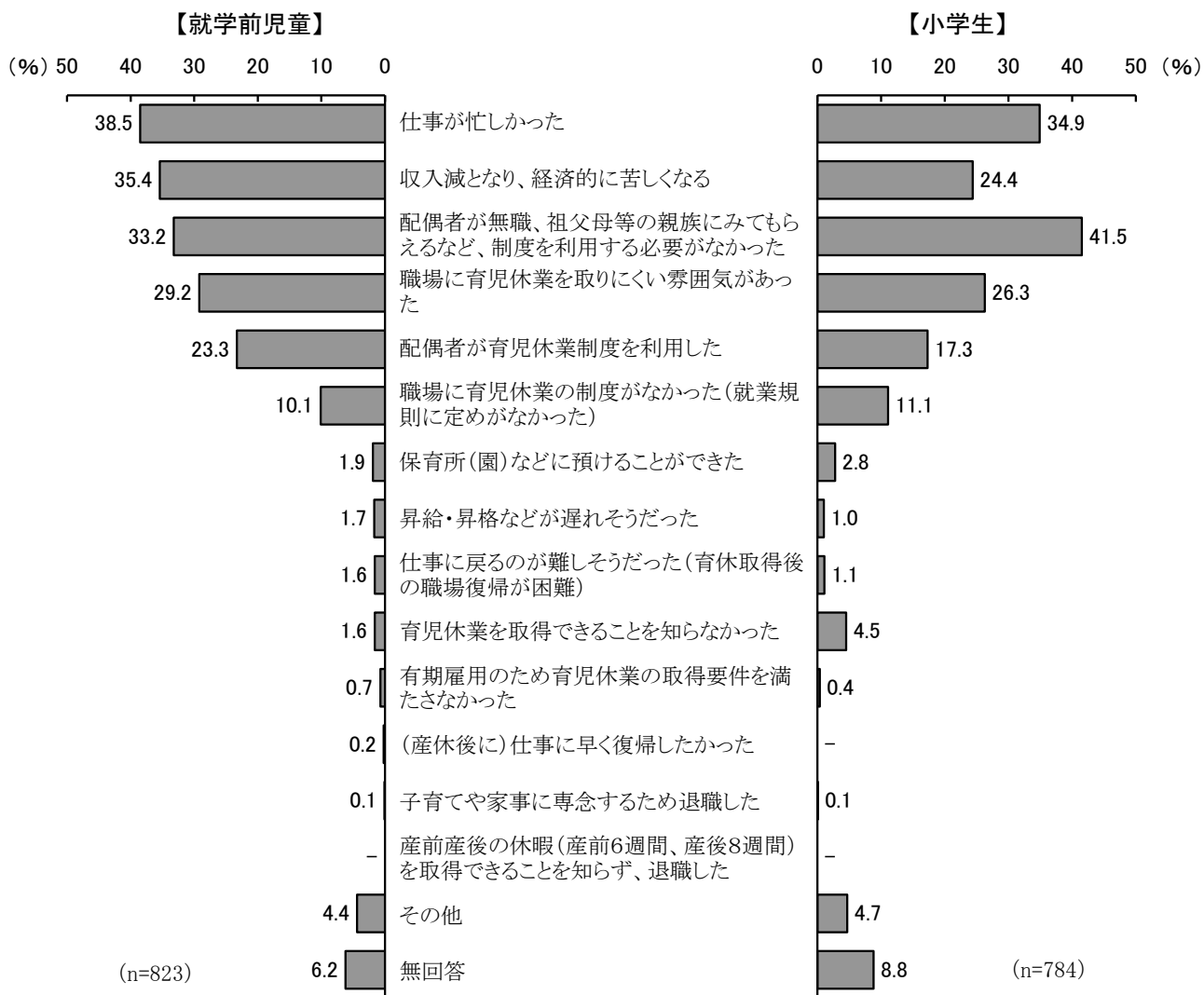
家族構成別にみると、両親と子どもの家庭・多世代同居の家庭では、就学前児童・小学生ともに「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」は、母親では2割未満であるのに対し、父親では3割以上と高い。

両親の就労状況別にみると、父親のみ就労している家庭では、就学前児童・小学生ともに、「子育てや家事に専念するため退職した」が母親で最も高く、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が父親で最も高い。(図表 96、図表 97)

図表 94 育児休業を取得していない理由（母親）／全体



図表 95 育児休業を取得していない理由（父親）／全体



図表 96 育児休業を取得していない理由・上位 14 項目（母親）／家族構成別、両親の就労状況別
【就学前児童】

(上段：件、下段：%)

	調査数	退職した 子育てや家事に専念するため	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	仕事に戻るのが難しかった (育児取得後の職場復帰が困難)	収入減となり、経済的に苦し くなる	仕事が忙しかった	有期雇用のため育児休業の取 得要件を満たさなかった	保育所(園)などに預けるこ とができた	(産休後に) 仕事に早く復帰 しなかった	配偶者が無職、祖父母等の親 族にみてもらえらるなど、制度 を利用する必要がなかった	産前産後の休暇(産前6週 間、産後8週間)を取得でき ることを知らず、退職した	産前産後の休暇(産前6週 間、産後8週間)を取得でき ることを知らず、退職した	昇給・昇格などが遅れそう だった	育児休業を取得できることを 知らなかった	配偶者が育児休業制度を利用 した	
																		件
全体	179	70	49	45	30	27	21	13	12	11	10	4	1	1	-	-	-	-
	100.0	39.1	27.4	25.1	16.8	15.1	11.7	7.3	6.7	6.1	5.6	2.2	0.6	0.6	-	-	-	-
家族構成別	ひとり親と子ども	9	1	3	-	1	3	3	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	11.1	33.3	-	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	両親と子ども	135	55	37	36	25	16	11	11	9	5	7	3	-	-	-	1	-
	100.0	40.7	27.4	26.7	18.5	11.9	8.1	8.1	6.7	3.7	5.2	2.2	-	-	-	0.7	-	-
多世代同居	35	14	9	9	4	8	7	1	2	3	3	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	40.0	25.7	25.7	11.4	22.9	20.0	2.9	5.7	8.6	8.6	2.9	2.9	-	-	-	-	-
両親の就労状況別	共働き	87	22	28	21	11	14	15	7	10	6	5	2	-	-	-	1	-
		100.0	25.3	32.2	24.1	12.6	16.1	17.2	8.0	11.5	6.9	5.7	2.3	-	-	-	1.1	-
	父親のみ就労	66	41	15	19	16	3	-	5	-	2	5	2	1	-	-	-	-
		100.0	62.1	22.7	28.8	24.2	4.5	-	7.6	-	3.0	7.6	3.0	1.5	-	-	-	-
	母親のみ就労	14	4	3	1	2	6	3	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	28.6	21.4	7.1	14.3	42.9	21.4	7.1	14.3	21.4	-	-	-	-	-	-	-	
親は働いていない	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他・無回答	11	2	3	4	1	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	18.2	27.3	36.4	9.1	36.4	27.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【小学生】

(上段：件、下段：%)

	調査数	退職した 子育てや家事に専念するため	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	仕事に戻るのが難しかった (育児取得後の職場復帰が困難)	収入減となり、経済的に苦し くなる	仕事が忙しかった	有期雇用のため育児休業の取 得要件を満たさなかった	保育所(園)などに預けるこ とができた	(産休後に) 仕事に早く復帰 しなかった	配偶者が無職、祖父母等の親 族にみてもらえらるなど、制度 を利用する必要がなかった	産前産後の休暇(産前6週 間、産後8週間)を取得でき ることを知らず、退職した	産前産後の休暇(産前6週 間、産後8週間)を取得でき ることを知らず、退職した	昇給・昇格などが遅れそう だった	育児休業を取得できることを 知らなかった	配偶者が育児休業制度を利用 した	
																		件
全体	175	58	52	38	20	41	18	10	17	9	19	11	2	3	-	-	-	-
	100.0	33.1	29.7	21.7	11.4	23.4	10.3	5.7	9.7	5.1	10.9	6.3	1.1	1.7	-	-	-	-
家族構成別	ひとり親と子ども	11	2	3	3	1	3	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	18.2	27.3	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-
	両親と子ども	117	43	35	25	14	25	11	6	13	7	11	7	-	-	-	2	-
	100.0	36.8	29.9	21.4	12.0	21.4	9.4	5.1	11.1	6.0	9.4	6.0	-	-	-	1.7	-	-
多世代同居	47	13	14	10	5	13	6	3	3	2	7	3	2	1	-	-	-	-
	100.0	27.7	29.8	21.3	10.6	27.7	12.8	6.4	6.4	4.3	14.9	6.4	4.3	2.1	-	-	-	-
両親の就労状況別	共働き	117	38	40	24	13	33	13	5	13	9	12	5	2	3	-	-	-
		100.0	32.5	34.2	20.5	11.1	28.2	11.1	4.3	11.1	7.7	10.3	4.3	1.7	2.6	-	-	-
	父親のみ就労	26	14	4	4	4	-	2	2	1	-	2	5	-	-	-	-	-
		100.0	53.8	15.4	15.4	15.4	-	7.7	7.7	3.8	-	7.7	19.2	-	-	-	-	-
	母親のみ就労	17	2	3	6	3	5	1	2	1	-	3	1	-	-	-	-	-
	100.0	11.8	17.6	35.3	17.6	29.4	5.9	11.8	5.9	-	17.6	5.9	-	-	-	-	-	
親は働いていない	3	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他・無回答	12	3	3	4	2	2	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	25.0	25.0	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-

図表 97 育児休業を取得していない理由・上位 14 項目（父親）／家族構成別、両親の就労状況別
【就学前児童】

(上段：件、下段：%)

	調査数	仕事が忙しかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	家族にみても必要がないなど、制度を利用する必要があるなど、制度親	配偶者が無職、祖父母等の親	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業制度を利用した	配偶者が育児休業制度を利用した	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがない）	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがない）	保育所（園）などに預けることができた	昇給・昇格などが遅れそうだった	困難	仕事に戻るのが難しそうだった（育児取得後の職場復帰が困難）	育児休業を取得できることを知らなかった	育児休業を取得できなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	退職した	子育てや家事に専念するため	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった	
																							件
全体	823 100.0	317 38.5	291 35.4	273 33.2	240 29.2	192 23.3	83 10.1	16 1.9	14 1.7	13 1.6	13 1.6	6 0.7	2 0.2	1 0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家族構成別	ひとり親と子ども	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	両親と子ども	647 100.0	262 40.5	225 34.8	212 32.8	198 30.6	147 22.7	67 10.4	12 1.9	13 2.0	13 2.0	11 1.7	5 0.8	1 0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多世代同居	172 100.0	53 30.8	64 37.2	60 34.9	41 23.8	45 26.2	15 8.7	4 2.3	1 0.6	-	-	2 1.2	1 0.6	1 0.6	1 0.6	-	-	-	-	-	-	-
両親の就労状況別	共働き	458 100.0	172 37.6	182 39.7	95 20.7	128 27.9	166 36.2	47 10.3	15 3.3	7 1.5	7 1.5	5 1.1	4 0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父親のみ就労	319 100.0	128 40.1	97 30.4	165 51.7	95 29.8	12 3.8	32 10.0	1 0.3	6 1.9	5 1.6	8 2.5	1 0.3	2 0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母親のみ就労	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	親は働いていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他・無回答	46 100.0	17 37.0	12 26.1	13 28.3	17 37.0	14 30.4	4 8.7	-	1 2.2	1 2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【小学生】

(上段：件、下段：%)

	調査数	仕事が忙しかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	家族にみても必要がないなど、制度を利用する必要があるなど、制度親	配偶者が無職、祖父母等の親	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業制度を利用した	配偶者が育児休業制度を利用した	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがない）	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがない）	保育所（園）などに預けることができた	昇給・昇格などが遅れそうだった	困難	仕事に戻るのが難しそうだった（育児取得後の職場復帰が困難）	育児休業を取得できることを知らなかった	育児休業を取得できなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	退職した	子育てや家事に専念するため	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった	
																							件
全体	784 100.0	274 34.9	191 24.4	325 41.5	206 26.3	136 17.3	87 11.1	22 2.8	8 1.0	9 1.1	35 4.5	3 0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家族構成別	ひとり親と子ども	15 100.0	7 46.7	4 26.7	3 20.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	両親と子ども	591 100.0	208 35.2	135 22.8	245 41.5	158 26.7	106 17.9	62 10.5	19 3.2	5 0.8	8 1.4	26 4.4	2 0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多世代同居	178 100.0	59 33.1	52 29.2	77 43.3	45 25.3	29 16.3	23 12.9	3 1.7	3 1.7	1 0.6	7 3.9	1 0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
両親の就労状況別	共働き	553 100.0	183 33.1	131 23.7	201 36.3	145 26.2	122 22.1	61 11.0	20 3.6	7 1.3	5 0.9	19 3.4	3 0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父親のみ就労	174 100.0	70 40.2	42 24.1	97 55.7	45 25.9	6 3.4	17 9.8	2 1.1	1 0.6	4 2.3	14 8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母親のみ就労	4 100.0	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	親は働いていない	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他・無回答	52 100.0	21 40.4	16 30.8	25 48.1	15 28.8	8 15.4	9 17.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

14. 子どもの虐待について

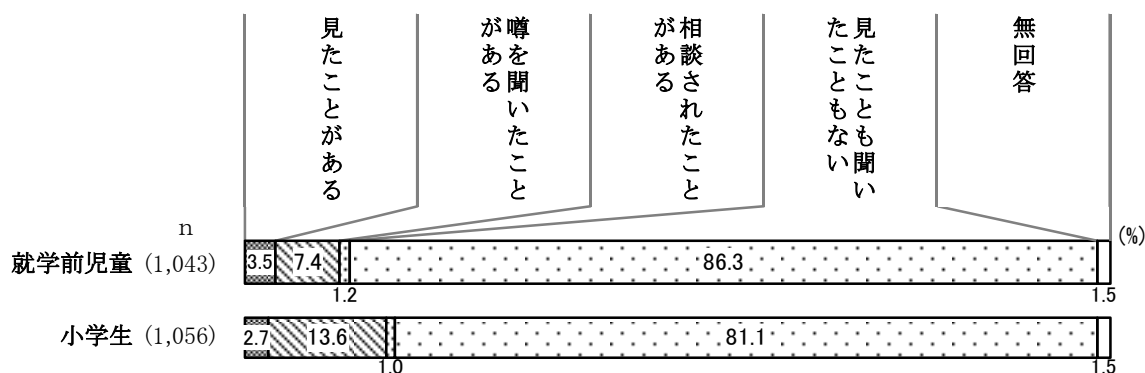
1. 虐待を見聞きした経験の有無

問 今までに子どもを虐待しているのを見たり聞いたりしたことはありますか。【〇は1つ】

【就学前：問 23、小学生：問 19】

虐待を見聞きした経験については、「見たことがある」、「噂を聞いたことがある」、「相談されたことがある」など、何らかの形で見聞きしたことがある人は就学前児童で12.1%、小学生で17.3%となっている。(図表 98)

図表 98 虐待を見聞きした経験の有無／全体



2. 虐待を見聞きした際の対処方法

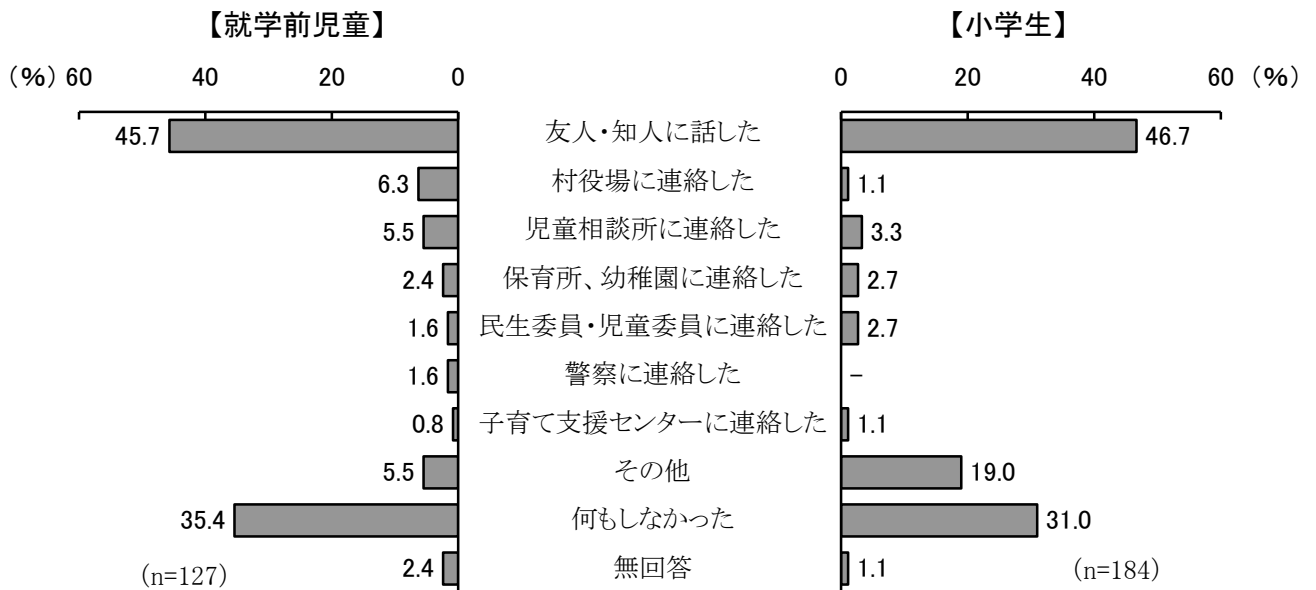
問 虐待を見たり聞いたりしたときに、どのように対処しましたか。【〇は当てはまるものすべて】
【就学前：問 23-1、小学生：問 19-1】

※ 『1 虐待を見聞きした経験の有無』で「見たり聞いたりしたことがある」と回答した方のみ

虐待を見聞きした際の対処方法については、「友人・知人に話した」が就学前児童・小学生ともに4割半ばとなっており、それ以外の具体的何らかの対処をしたという回答の比率はいずれも1割未満となっている。

その一方で、「何もしなかった」は就学前児童で35.4%、小学生で31.0%となっている。(図表 99)

図表 99 虐待を見聞きした際の対処方法／全体



15. 市の子育て支援全般について

1. 子育てに関する不安感や負担感の有無

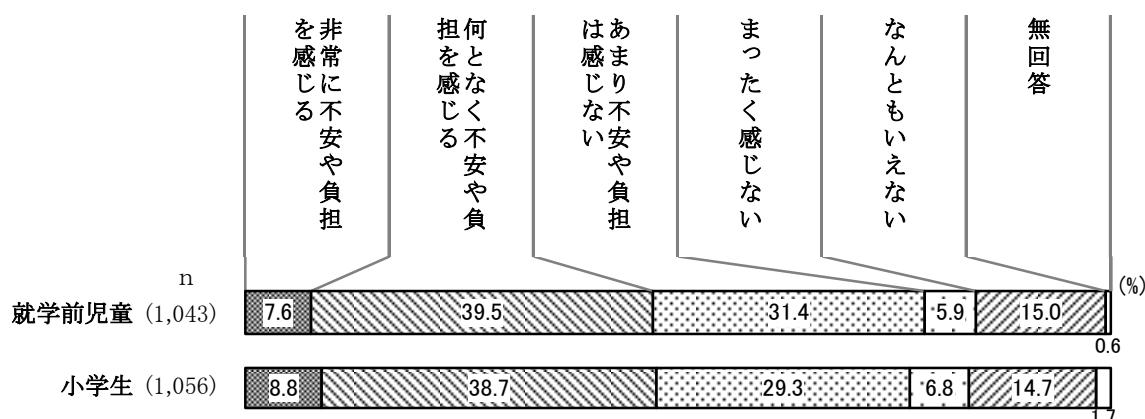
問 子育てに関して不安感や負担感を感じることがありますか。【〇は1つ】

【就学前：問 24、小学生：問 20】

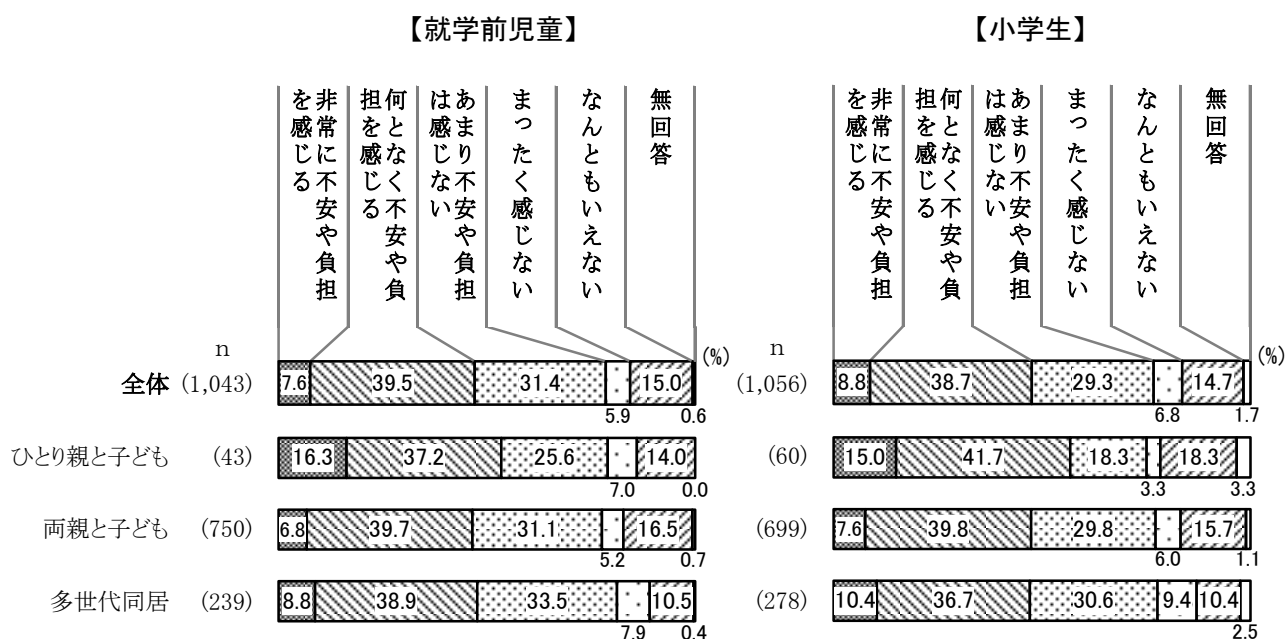
子育てに関して「非常に不安や負担を感じる」、「なんとなく不安や負担を感じる」を合わせた《不安や負担を感じる》は就学前児童で47.1%、小学生で47.5%となっている。一方、「あまり不安や負担は感じない」、「まったく感じない」を合わせた《不安や負担を感じない》は就学前児童で37.3%、小学生で36.1%となっており、就学前児童・小学生ともに《不安や負担を感じる》が《不安や負担を感じない》を10ポイント前後上回っている。(図表 100)

家族構成別にみると、就学前児童・小学生ともにひとり親と子どもの家庭で《不安や負担を感じる》が5割を超え、他に比べて高い。(図表 101)

図表 100 子育てに関する不安感や負担感の有無／全体



図表 101 子育てに関する不安感や負担感の有無／家族構成別



2. 居住地域における子育て環境や支援の満足度

問 お住まいの地域における子育て環境や支援について、どのくらい満足していますか。
【〇は1つ】

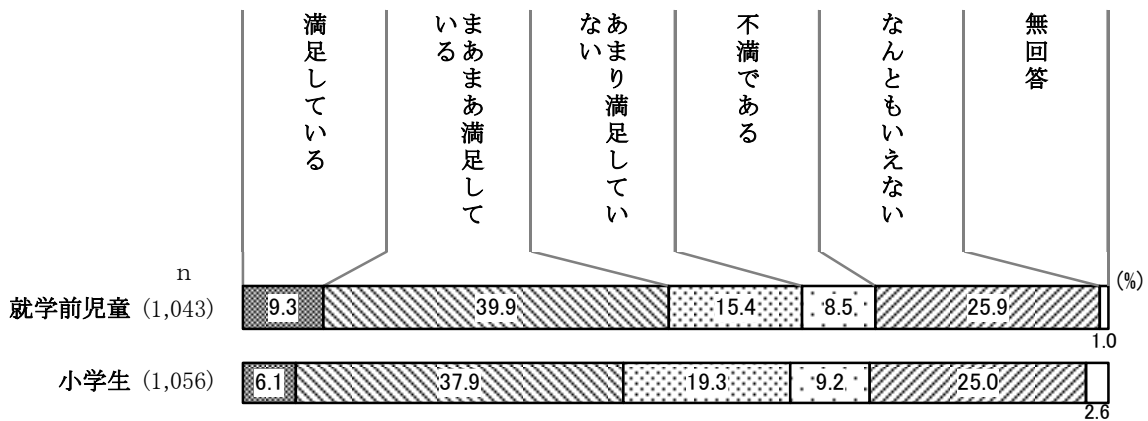
【就学前：問 25、小学生：問 21】

居住地域における子育て環境や支援について「満足している」、「まあまあ満足している」をあわせた《満足》は就学前児童で49.2%、小学生で44.0%と、「あまり満足していない」、「不満である」を合わせた《不満》を上回っている。(図表 102)

家族構成別にみると、小学生のひとり親と子どもの家庭で《満足》(26.7%)の比率が低い。(図表 103)

両親の就労状況別にみると、小学生の母親のみ就労の家庭・親は働いていない家庭で《満足》の比率が低い。(図表 104)

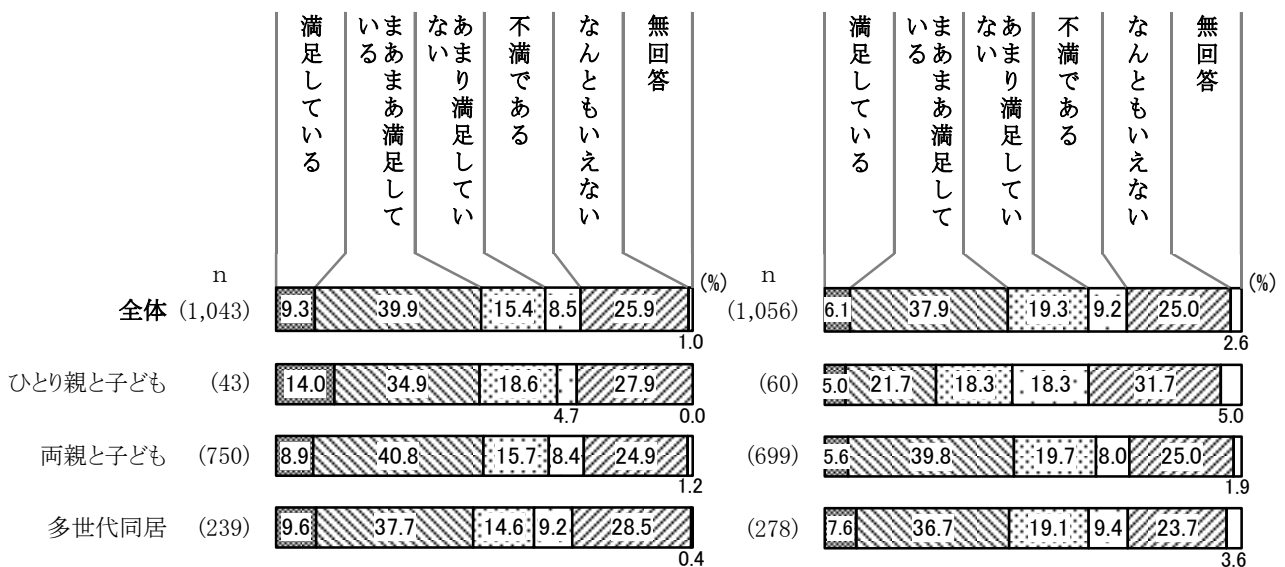
図表 102 居住地域における子育て環境や支援の満足度／全体



図表 103 居住地域における子育て環境や支援の満足度／家族構成別

【就学前児童】

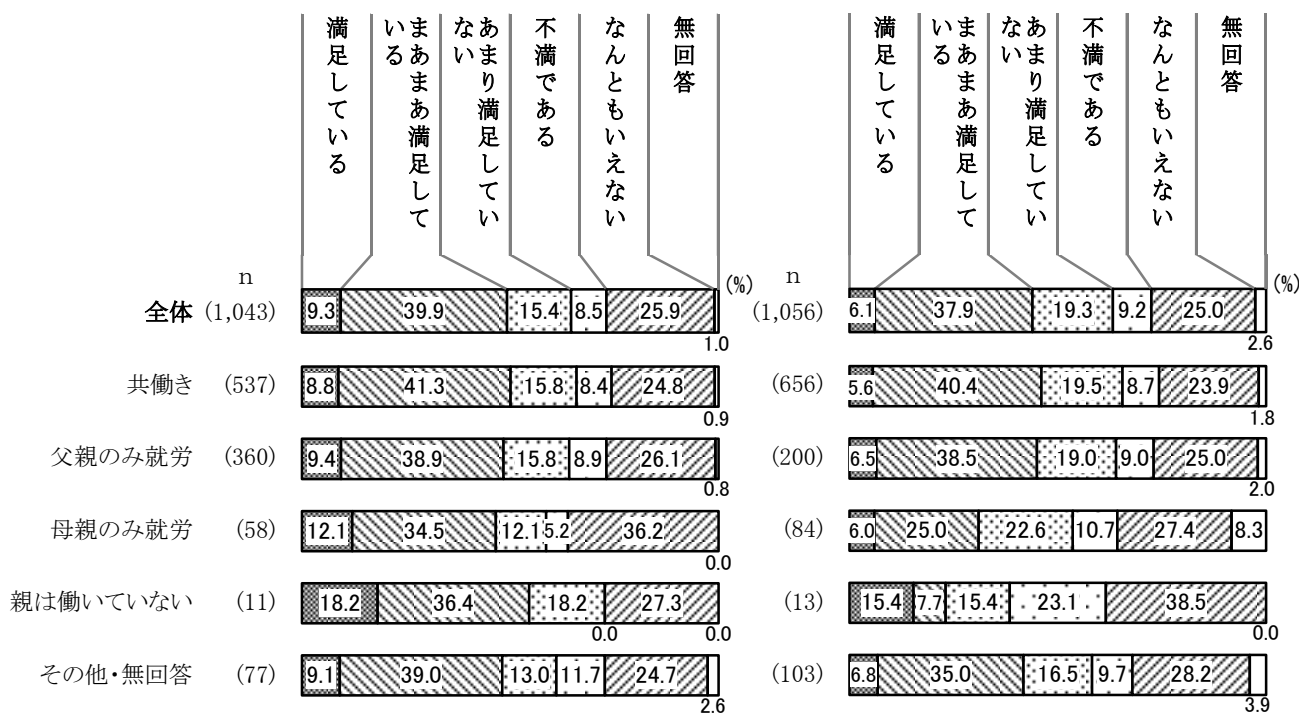
【小学生】



図表 104 居住地における子育て環境や支援の満足度／両親の就労状況別

【就学前児童】

【小学生】



3. 子育てをする中で有効な支援・対策

問 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと思いますか。

【〇は当てはまるものすべて】

【就学前：問 26、小学生：問 22】

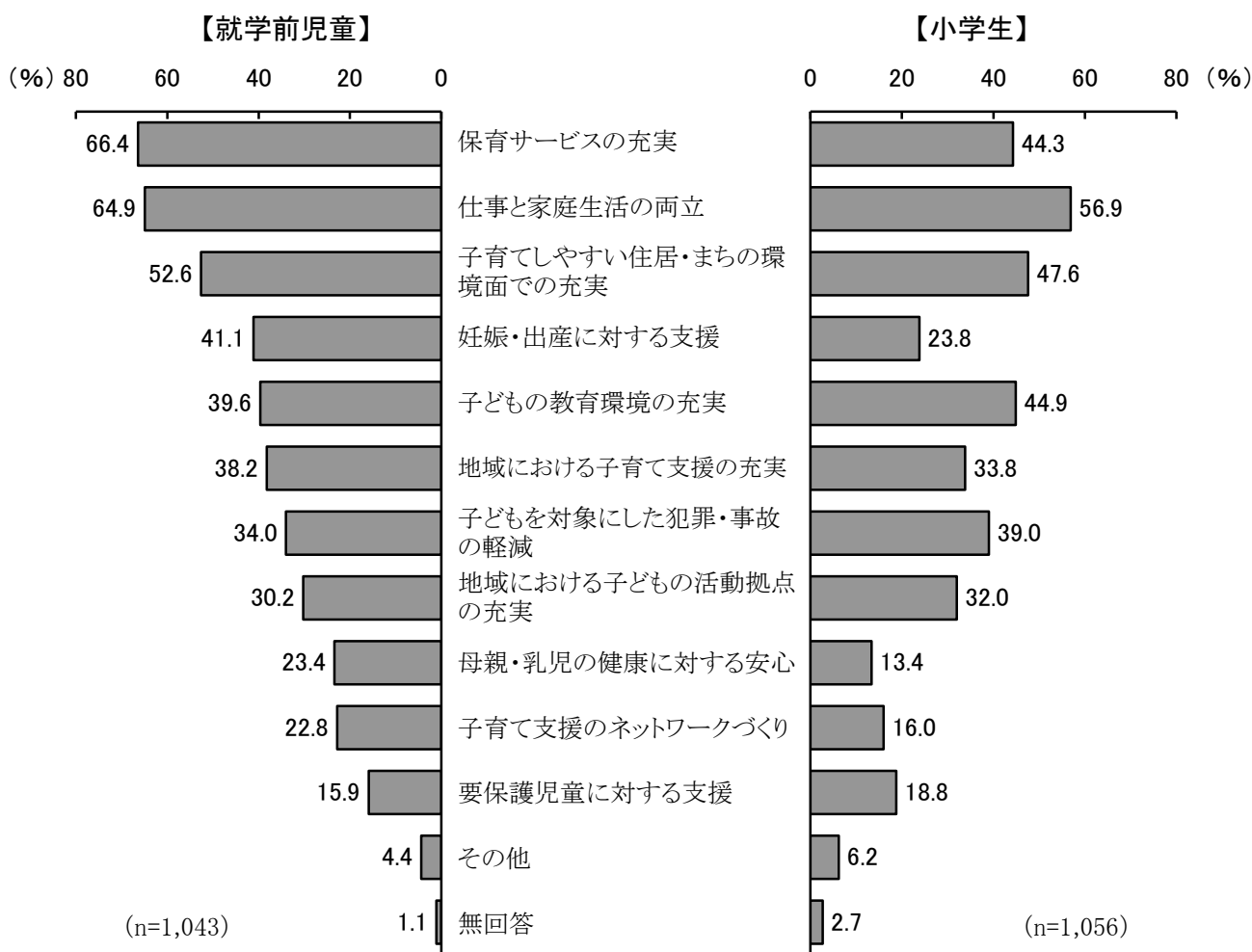
子育てをする中で有効な支援・対策については、就学前児童では「保育サービスの充実」(66.4%)、「仕事と家庭生活の両立」(64.9%)がともに6割半ばで高い。次いで「子育てしやすい住居・まちな環境面での充実」(52.6%)、「妊娠・出産に対する支援」(41.1%)となっている。

小学生では「仕事と家庭生活の両立」(56.9%)が最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちな環境面での充実」(47.6%)、「子どもの教育環境の充実」(44.9%)、「保育サービスの充実」(44.3%)となっている。(図表 105)

年齢・学年別にみると、「保育サービスの充実」、「仕事と家庭生活の両立」、子育てしやすい住居・まちな環境面での充実、「妊娠・出産に対する支援」について、子どもの年齢・学年が下がるほど比率が高くなっている。

両親の就労状況別にみると、就学前児童・小学生ともに共働きの家庭・母親のみ就労の家庭で「仕事と家庭生活の両立」の比率が他に比べて高い。(図表 106)

図表 105 子育てをする中で有効な支援・対策／全体



図表 106 子育てをする中で有効な支援・対策／年齢・学年別、両親の就労状況別

【就学前児童】

(上段：件、下段：%)

		調査数	保育サービスの充実	仕事と家庭生活の両立	子育てしやすい住居・ま	妊娠・出産に対する支援	子どもの教育環境の充実	地域における子育て支援の充実	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	地域における子どもの活動の充実	母親・乳児の健康に対する安心	子育て支援のネットワークづくり	要保護児童に対する支援	その他	無回答
全体		1,043 100.0	693 66.4	677 64.9	549 52.6	429 41.1	413 39.6	398 38.2	355 34.0	315 30.2	244 23.4	238 22.8	166 15.9	46 4.4	11 1.1
年齢別	0～2歳	524 100.0	374 71.4	349 66.6	287 54.8	253 48.3	206 39.3	222 42.4	177 33.8	167 31.9	165 31.5	155 29.6	95 18.1	21 4.0	5 1.0
	3～5歳	504 100.0	311 61.7	320 63.5	253 50.2	173 34.3	197 39.1	173 34.3	143 34.3	143 34.3	77 15.3	83 16.5	71 14.1	25 5.0	5 1.0
両親の就労状況別	共働き	537 100.0	367 68.3	394 73.4	279 52.0	239 44.5	194 36.1	190 35.4	167 31.1	165 30.7	117 21.8	111 20.7	88 16.4	18 3.4	4 0.7
	父親のみ就労	360 100.0	232 64.4	192 53.3	208 57.8	141 39.2	160 44.4	161 44.7	129 35.8	110 30.6	97 26.9	98 27.2	55 15.3	18 5.0	4 1.1
	母親のみ就労	58 100.0	45 77.6	45 77.6	25 43.1	20 34.5	19 32.8	16 27.6	25 43.1	13 22.4	10 17.2	8 13.8	9 15.5	3 5.2	-
	親は働いていない	11 100.0	5 45.5	3 27.3	5 45.5	-	1 9.1	6 54.5	3 27.3	2 18.2	2 18.2	4 36.4	1 9.1	1 9.1	-
	その他・無回答	77 100.0	44 57.1	43 55.8	32 41.6	29 37.7	39 50.6	25 32.5	31 40.3	25 32.5	18 23.4	17 22.1	13 16.9	6 7.8	3 3.9

【小学生】

(上段：件、下段：%)

		調査数	保育サービスの充実	仕事と家庭生活の両立	子育てしやすい住居・ま	妊娠・出産に対する支援	子どもの教育環境の充実	地域における子育て支援の充実	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	地域における子どもの活動の充実	母親・乳児の健康に対する安心	子育て支援のネットワークづくり	要保護児童に対する支援	その他	無回答
全体		1,056 100.0	468 44.3	601 56.9	503 47.6	251 23.8	474 44.9	357 33.8	412 39.0	338 32.0	142 13.4	169 16.0	198 18.8	65 6.2	29 2.7
学年別	低学年 (小学1年生～3年生)	332 100.0	156 47.0	189 56.9	159 47.9	99 29.8	135 40.7	128 38.6	135 40.7	105 31.6	52 15.7	58 17.5	60 18.1	20 6.0	9 2.7
	高学年 (小学4年生～6年生)	707 100.0	306 43.3	401 56.7	338 47.8	149 21.1	330 46.7	224 31.7	270 38.2	225 31.8	87 12.3	109 15.4	136 19.2	44 6.2	20 2.8
両親の就労状況別	共働き	656 100.0	322 49.1	391 59.6	312 47.6	155 23.6	297 45.3	232 35.4	255 38.9	217 33.1	85 13.0	110 16.8	114 17.4	32 4.9	14 2.1
	父親のみ就労	200 100.0	73 36.5	100 50.0	96 48.0	53 26.5	89 44.5	69 34.5	88 44.0	62 31.0	33 16.5	30 15.0	44 22.0	15 7.5	6 3.0
	母親のみ就労	84 100.0	33 39.3	50 59.5	42 50.0	19 22.6	36 42.9	25 29.8	31 36.9	22 26.2	12 14.3	11 13.1	22 26.2	8 9.5	4 4.8
	親は働いていない	13 100.0	6 46.2	4 30.8	8 61.5	4 30.8	5 38.5	5 38.5	7 53.8	2 15.4	3 23.1	3 23.1	5 38.5	2 15.4	-
	その他・無回答	103 100.0	34 33.0	56 54.4	45 43.7	20 19.4	47 45.6	26 25.2	31 30.1	35 34.0	9 8.7	15 14.6	13 12.6	8 7.8	5 4.9

4. 意見・要望

問 幼児教育・保育環境や教育環境の充実など子育ての環境や支援に関して意見がございましたら
ご自由にご記入ください。

自由意見（就学前）		373 件
1. 幼児教育・保育事業等について		175 件
① 保育所数		67 件
② 保育時間		8 件
③ 保育所への入園基準		20 件
④ 幼稚園数		0 件
⑤ 幼稚園の預かり時間		1 件
⑥ ファミリー・サポート・センター		6 件
⑦ 一時預かり全般		26 件
⑧ 病児・病後児保育		23 件
⑨ 保育制度全般		34 件
⑩ 認定こども園		0 件
⑪ 子育て支援センター		13 件
2. 放課後児童について		22 件
① 児童館・放課後児童クラブ		20 件
② 放課後子ども教室(チャグホ塾など)		1 件
③ 放課後保育の預かり時間		1 件
④ 長期休暇時の預かり		0 件
3. 労働環境について		27 件
① 保護者の労働環境		13 件
② 施設従事者の労働環境		15 件
4. 経済的負担について		75 件
① 保育料全般		44 件
② 子どもの医療費全般		32 件
③ その他の子育てに係る費用負担		7 件
5. 生活環境について		90 件
① 子どもの遊び場		61 件
② 交通環境全般(通学路の安全、アクセスの利便性など)		29 件
③ 医療施設		6 件
④ その他の公共施設		4 件
6. 役場の対応について		43 件
① 窓口対応		11 件
② 定期健診		12 件
③ 書類等の手続き		9 件

④ 広報などの情報発信	12 件
7. その他	51 件
① 要保護児童について(障がい・被虐待など)	7 件
② 地域社会について(子育てへの理解・支援など)	27 件
③ 学校教育について	2 件
④ チャグスポについて	0 件
⑤ その他	16 件

就学前調査での自由意見 一部抜粋

- 保育所を増やしてほしい。もしくは今ある保育所の受け入れ人数を増やしてほしい。希望する保育所になかなか入ることができない。
- 今は母でもフルタイムで仕事をする人が増えている。でも子どもがいるから社員になれない。子どもがキライで仕事に行くのではない訳だから、もっと遅くまで子どもを預かってくれる場所がほしい。
- 仕事をしたいと考えているが、保育園に、すぐに入れる事が出来ないのが問題だと思う。仕事を探している時でも、申請できると言われたが、結局は保留にされてしまって、もし仕事が決まっても、月末ギリギリに結果がくるのもいろいろと準備もあるのに、因る。友達の話で、仕事が決まっても、保育園に入れず、待ってもらったり、ことわったと言うのも聞いている。定員を増やしてだれでも預けやすいようにしてほしい。
- もう少し幼稚園の預かり時間を長くしてもらいたい。(早く帰ってくると、働きに出にくい。)
- ファミリー・サポート・センターを利用して時々子どもを預かってもらっている。小さな子ども2人を数時間預けるので仕方ないと思うが、もう少し安くなるともっと気軽に利用しやすいと思う。(普段が一番上の兄の学校行事、子ども会の参加のときに、利用させてもらっている。)
- 就職活動(面接など)を始められたらと思い、保育園の一時保育に申し込んだ。実際にはまだ面接などを受けておらず、利用できていないが、申し込むために保育所一カ所ごとに健診票が必要で、ちょっと預けるにはやや敷居が高いように感じた。長男が小さい時に他県だが一時保育を利用していたが、もっと気軽に預けられた。リフレッシュ、という項目もあるようだが、とてもそんな理由で預けられる感じではなかった。
- 病時保育を利用した事があるが、インフルエンザ流行期などは、対応できる人数に制限もあるので利用したい時でも断られた事が何度かあった。子どもの病気は突然で使用日を予約しておくこともできないので受け入れ人数や場所がもう少し増えると助かる。
- 職場復帰の際、乳児を保育園に預ける事になったが、ならし保育は一切受け付けないと言われた。母親も突然初日から1日勤務、乳児も突然1日親と離され、授乳もしていたため身体的負担も精神的負担も大変大きかった。育児中の母親の孤立についても対策が必要だと思う。こちらから求めても全くなかった。保育園で行われるものも、先にいる仲良しに占領され、より孤立感が際立って、育児うつになった。
- まだ子どもが小さいため育児支援センターなども参加したことがないが、興味はとてもある。ただ、何をするといいところなのかよくわからないため「ベビーマッサージ」などのイベントがある日に参加したいと考えている。が、そういったイベントがほとんどないのが残念である。また、図書館がもう少し充実していると親も子どもも楽しめるのだが…。
- 滝沢村(市)は小学校入学後も学童保育があり安心して働くことのできる環境にあると思う。ただ、児童の人数に対して施設の広さや指導員の数等が合っていないということも聞く。保育園のように外で遊ぶことのできるスペースも十分に確保されていないように見え、長期休み中はずっと室内で過ごすのかと思うとかわいそう

- に思う。上を見ればきりが無いが、今より少しでも楽しく過ごせるような施設や指導員の充実を期待している。
- 春に小学校入学を控えている。アンケートを見るまで放課後子ども教室があることを知らなかった。子どもの希望にもよるが、ぜひ参加させたいと思う。こういう教室があるということや内容など、もっと教えてほしい。
 - 学童数が足りないのではないか。学童に預けられる時間も土曜日は早くなってしまい（保育園より短いため）不安である。土・日や冬期間室内で遊べる施設があればよい。
 - 子どもが病気になった時、仕事を早退、欠席しにくい社会だと思う。特に、上司世代の年令の方（50～60代）が快く思わないので、子育て世代は、ますます、ストレスを感じるのではないか。
 - 保育士の賃金を上げるなど、他人の子の命を預かっているので少しでも待遇を良くし園内の人数をふやせるよう対策を作ってほしい。
 - 保育料が高すぎる。せっかく働いてきても、半分は保育費で、何のために働いているのかわからなくなる。
 - 中学生以下の子どもに対する医療費を無料にしてほしい。
 - 児童手当の金額を上げてほしい。
 - 子どもの遊ぶ所が少ない。公園といっても、遊具がどんどん撤去されている。けがなどによるクレームの為かと思われるし点検するのも大変かと思うが、のびのびと子育てというような話をする人もいる中、のびのび遊べる所があったらと思う。そういう公園などの整備をお願いしたい。
 - 子ども連れで出かけるのに不便な環境だと感じることが多い。ベビーカーを動かすにも、段があったり、道が悪かったり、歩道が無かったり…安心して散歩できない。
 - 夜間診療が不足している。夜に急な発熱等があり受診したくとも、盛岡の夜間診療所までいかねばならず、それも診療時間が19～23時と非常に短くそれ以降となると朝まで待つか、救急に行くかを選択せねばならず非常に不安である。そこまでの必要があるのかの判断に、「こどもの救急相談電話」を頼ろうとしても19～23時の利用時間で、どうにもならない。親自身の不勉強が悪いとも思うが、苦しそうな我が子を前にすると不安でならない。いつ何があってもここがあるので大丈夫と思えるものがあると、安心して子育てできるのではないか。
 - 村（市）立の図書館が居住地からは遠いので、支所に併設した図書館や、子どもの遊び場があるといい。馬っ子パークや森林公園は、とても良い場所だと思う。
 - 以前、幼児教育について聞きたい事があり訪ねたが、何も情報を得る事ができずに帰った事がある。不安な中で足を運んでいた為、そのような対応に落胆した。この機会に柔軟な対応ができるようになるよう願っている。
 - 乳児、幼児の時期は、体調不良、定期的な検診や予防接種と、仕事をしていると困難な場合も多く、村（市）の検診は何日かもうけてくれると助かるし、土日祝日も余裕をもってもらえると助かる。
 - 医療給付を受ける為に病院・薬局へ提出する用紙の記入を廃止してほしい。受給者証の提示だけで支払うことなくスムーズに受診できる様にするべき。他県ではその様にしている所もあるのでできない事ではないと思う。
 - 地域によって、さまざまな補助金がある、とテレビでやっていたのだが、滝沢ではどんなのがあるのか知りたい。子ども手当の他に何かあるのか。何かわかりやすく、広報などに載せてほしい。
 - 発達障害の事がだいぶ認知される様になってきたと思う。6才の息子は普通の学校の支援級から始める事にした。マイペースを取りみだしたくないので…。普通だけど少し難しい子の教育のカウンセラー、サポートがほしい。親はストレスがたまっている時もあるので月1でも話を出来る場所があれば良い。
 - 同じ世代の子どもを持つ親同士が交流でき不安や悩みを話せるような場が増えれば良いと思う。
 - 保育園では問題なく過ごせたと思う。この先、小学校に入学した後の方が心配である。朝の登校を1年～6年の班にして集団登校にするとか…次、1年生の男の子なので心配である。
 - 子どもの健康相談や教室（わんぱく広場）を利用した際に職員の方々の温かく親切な対応にとっても安心した。不慣れた地での子育てに不安があったが、滝沢村（市）に引っ越して良かった。

自由意見（小学生）		319 件
1. 幼児教育・保育事業等について		33 件
① 保育所数		6 件
② 保育時間		1 件
③ 保育所への入園基準		6 件
④ 幼稚園数		1 件
⑤ 幼稚園の預かり時間		0 件
⑥ ファミリー・サポート・センター		3 件
⑦ 一時預かり全般		1 件
⑧ 病児・病後児保育		7 件
⑨ 保育制度全般		9 件
⑩ 認定こども園		0 件
⑪ 子育て支援センター		1 件
2. 放課後児童について		89 件
① 児童館・放課後児童クラブ		74 件
② 放課後子ども教室(チャグホ塾など)		17 件
③ 放課後保育の預かり時間		0 件
④ 長期休暇時の預かり		5 件
3. 労働環境について		17 件
① 保護者の労働環境		9 件
② 施設従事者の労働環境		8 件
4. 経済的負担について		41 件
① 保育料全般		16 件
② 子どもの医療費全般		22 件
③ その他の子育てに係る費用負担		7 件
5. 生活環境について		102 件
① 子どもの遊び場		46 件
② 交通環境全般(通学路の安全、アクセスの利便性など)		44 件
③ 医療施設		4 件
④ その他の公共施設		18 件
6. 役場の対応について		19 件
① 窓口対応		7 件
② 定期健診		1 件
③ 書類等の手続き		0 件
④ 広報などの情報発信		11 件
7. その他		87 件
① 要保護児童について(障がい・被虐待など)		4 件

② 地域社会について(子育てへの理解・支援など)	23 件
③ 学校教育について	36 件
④ チャグスポについて	6 件
⑤ その他	21 件

小学生調査での自由意見 一部抜粋

- 保育園の待機児童（現在4才）で2年程待っている。人口増加の多い滝沢小地区である。もうひとつ保育園をぜひお願いしたい。
- 認可保育園では保育の条件が時間等短いので、私達家族のように頼れる人がいない者にとっては、娘が幼い時、本当に大変だった。
- 保育園の充実をお願いしたい。我が家は今後新規に入園することはないがとにかく保育園に入るとき、なかなか入れなくて苦労した。週5日、フルタイム8時間共働きなのに、保育園に入れなく、審査基準がどうなっているのか疑問に思った。問い合わせしてもはっきりした回答はなく、納得できなかったのを覚えている。
- 私立の幼稚園ばかりで保育料が高すぎる。他の市などでは、市立の幼稚園など、低い保育料で通わせられると聞いたので、滝沢も保育園にばかり力を入れず、幼稚園も作るべきである。
- ファミリー・サポート・センターは社員の人が使うなら良いが、パートにとっては高い。通勤時間もあるので。
- 保育園の一時預かりを主に利用しているが、大変有難いサービスだと思っている。ファミリー・サポート・センターの活動ももしもの時（まだ使ったことはないが…）の心強い味方である。
- 今は子どもが成長し、重い症状でなければ、学校を休んでも一人で置けるが、4年生くらいまでは、学校を欠席する時、父母のどちらかが仕事を休まなければならず、本当に大変だった。病児をあずかる支援がもっとあればと痛感して子育てをした12年だったので、仕事をしている親を助ける病児保育を充実してほしい。
- 産後、保育園の入所申し込みについて、産後8週後の保育期間日数が月の半数以上に達していなく、希望した月からの預けができなかった。財源等、保育士の配置等の問題はあと思うが、月の出席日数が少なくても入所受け入れをしてほしい。
- 4年生、1年生の兄弟が、長期間の休みになると朝早くから来て困っていた。また、夏休みだと暗くなるのが遅いので、6時すぎに外に出て御両親を待っていても何とか大丈夫そうだが、この間6時すぎ（まっ暗な時）にその兄弟が外に出て、バス停の所でずっと待っていてビックリした。犯罪にまきこまれたりしないか、心配であった。早く家の中に入る様に声かけても、「家がまっくらでこわいもん…」とやはり他人の言う事は聞いてくれず…。フルタイムで御両親働いている様なので、支援センターなど、近くにあったら良かったと思う。
- 学童を利用しているが、フルタイムの仕事なので土曜保育を父母にさせるのは厳しい状況だと思う。就労しているから学童に預けているので、土曜日休むのは難しい。できれば土曜日にも可能な指導員の方をお願いしたい。
- チャグホ塾に3年生まで通ったが、できれば高学年まで参加させてほしい。とっても楽しみにしていたが、「主に3年生まで」とあり、4年生からは参加しなかった。放課後子ども教室が地域で増えてくれるとありがたい。
- 学童保育の運営を親に依存するのではなく村（市）で行う体制にすべき。学童の経営安定のために年単位の退所しか認めない状況だと、長期休みのみ、月単位など短期利用をしたいなどのニーズに応えられないと思う。
- 仕事をしている場合、子どもの急な病気の時、仕事を休む事が出来ない事が多いと思う。その際、気軽に預けられる施設や、子どもを職場に連れていける環境になれば良い。一番良いのは、急な場合でも、会社側で休んで良いという制度があれば、安心なのだが…。
- 学童を利用しており、本当に先生方には色々工夫をこらしてもらい、楽しい学童生活を送ることができてい

- る。学童の先生方の給与体制があまりよくないと聞いた。内容はあまりよく知らないが、これから先も学童は必要不可欠であり、是非こちらの方への支援もお願いしたい。
- 学童クラブの料金が安い。子どもは行きたがったが通わせられなかった。低学年の頃に仕事で遅くなる時、一人で留守番させるのはとても心配だった。
 - インフルエンザの予防接種の助成を小学生も対象にしていただけると助かる。集団生活で広まりやすいので予防接種は必ずやっている。まだまだ2回接種なので少しでも負担が無くなればみんな受けやすいと思う。
 - 母子手当について、子ども1人に対して、2人に対して…金額が相応ではないような気がする。1人に対してかかる金額は同じです。2人でも、3人でも、同じように倍、倍と増やしてもらいたい。今は、塾等でも、だいぶかかるようになってきているので見直しも必要ではないか。
 - 子どもの遊べる場所（公園や図書館等）が少ない。公園は小学生くらいだと、近くにある公園では小さすぎる。もっと広い公園がないと外遊びは危険。
 - 通学路に歩道がなく交通量も多いので心配で不安である。もう少しそういった環境の整備に力を入れてほしい。冬場の除雪等もイマイチなので、そうなる歩行の困難になっている。
 - 近所のかかりつけ医はどれも同じ曜日の午後は休診。同じ地区の病院は午後休診などの曜日をずらしてほしい。
 - 子どもも地域住民も使える市立体育館を増やしてほしい。優れた施設（ナイター等）がそばにある学校はスポーツも強いが、ナイターも整備されていない校庭、平日は使用できない学校の体育館やサッカー禁止の体育館などなかなか障害は多い。総合体育館内は、放課後遊びにきている子どもたちがたくさんいるが、ふるさと交流館は子ども達に問題ありだったのか、遊びも制限されている。事故などの問題もあるが、自由に遊ぶことを望み、学校から開放されてまで時間の拘束をうける児童センターにはなかなか行きたがらないのではないかと思います。各学区内に開放された市営の施設があるとありがたい。
 - 子育ての相談ができる施設がほしい。
 - 出産した後、1ヶ月健診で母体を見てもらえるが、その後は、忙しく自分が病気にならない限り、病院に行くこともなく、日々が過ぎていく。健康診断も自分から行かなければどのような状態か知る機会もないので、子育てをしている母親に対する定期的な健康診断を実施してほしい。
 - 子育て等に関してどのような制度や施策があるのか、自分がその利用対象となるのかなど分からない。役場では聞けば教えていただけると思うが、そもそも制度等を知らなければ聞くこともない。制度や施策、サービス等の周知をお願いしたい。
 - 一般の子どもの学童クラブなどのサポートは多くなりつつあるが、ハンディキャップを抱えた子どものものは無いので、大変生活が苦しい。
 - 子ども達が通学途中、意外と年配の方が車を暴走させたり、止まってもらえなかった…等と聞く。今の若い者は…とばかりも言えない様に思う。全体的に共働きが多くなり、子どもに目が行き届かなくなりがち…。子ども達も親以外の大人の目がある緊張感が必要だと思う。いけない時にはいけない、良い事したらほめる、という大人の姿勢がほしい。
 - 鶴飼小、滝沢小は生徒数も多く、新設する小学校をもっと早く完成させてほしい。現状では、生徒1人1人に対して、先生の目が行きとどかない面もあるのではないかと。広く浅くの授業になっていないか、先生の負担が多くなりすぎているか、等不安な感じもする。
 - スポ少等も滝小地区に集中し通うのに難しい（チャグスポ、チャグチャグホールでの習い事）。
 - 色々な体験ができる施設（いつでも気軽に行ける）があれば子どもの生活にも成長にもいいと思う。授業料の安い学習塾のような場所や、習い事などの充実。仕事をさがす時の子どもの預ける場所の充実（いつでもすぐに対応してもらえる場所）。

IV. 資料

滝沢村

子育てに関するアンケート調査

就学前児童用

【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より児童福祉行政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、滝沢村では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育・子育て支援の充実を図るため5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとなりました（平成27年度から実施予定）。

この調査は、皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するために実施するものであり、村内にお住まいの就学前のお子さんがいらっしゃるご家庭の中から無作為に選ばせていただいた2,000人の保護者の方に、ご協力をお願いするものです。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

滝沢村長 柳村典秀

■記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**平成26年1月6日（月）まで**にポストへお入れください（切手は不要です）。

■この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】

岩手郡滝沢村鶉飼字中鶉飼55番地

滝沢村 健康福祉部 児童福祉課

TEL 019-684-2111（代）

FAX 019-684-2245

【 記入にあたってのお願い 】

1. 回答は、特にことわりがない場合は、同居の0歳から小学校入学前のお子さんすべてについて、保護者の方がお答えください。
2. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。選択肢の「その他」を選ばれ、（ ）がある場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. 数字（年齢や時間帯等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。また、**時間については24時間制**でご記入ください。 （例：午後1時 → 13時）
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
5. 保育サービスなどの子育て支援サービスについておうかがいする質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：保育所の入所要件など）を全て表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、担当課窓口にご相談ください。

《用語の定義》

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

名 称	内 容
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）。
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設。（児童福祉法第39条）
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）。
放課後児童クラブ	地域によって学童保育などと呼ばれる。小学校就学後の、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。
放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。

封筒のあて名のお子さんにご家族の状況についてうかがいます。

問1 あて名のお子さんのお住まいの地域はどちらですか。【〇は1つ】

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 篠木小学校区 | 6. 姥屋敷小学校区 |
| 2. 滝沢小学校区 | 7. 柳沢小学校区 |
| 3. 滝沢第二小学校区 | 8. 滝沢東小学校区 |
| 4. 鶴飼小学校区 | 9. その他 () |
| 5. 一本木小学校区 | |

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。【数字を記入】

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いますか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。【数字を記入】

きょうだい人数 人 (あて名のお子さんを含めた人数)

一番下のお子さんの生年月 平成 年 月生まれ

問4 あて名のお子さんと同居（2世帯住宅を含む）されている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。【〇は当てはまるものすべて】

また、同居されている家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数を [] 内に数字でご記入ください。【数字を記入】

1. 母親	2. 父親	3. 兄弟姉妹	家族人数 計 [] 人
4. 祖母	5. 祖父	6. その他 ()	

問5 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つ】

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つ】

1. 父母ともに 3. 主に父親 5. その他 ()
2. 主に母親 4. 主に祖父母

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない →問8へ

▶《問7で「1」から「4」のいずれか（みてもらえる親族・知人がいる）に○をつけた方にうかがいます。》

問7-1 祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【○は当てはまるものすべて】

1. 祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母、友人等の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父母、友人等の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

《お母さんの就労状況についてうかがいます。父子家庭の場合は4ページ問9へ進んでください。》

問8 お母さんの就労状況をお答えください。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 3ページ
問8-1へ

→ 3ページ
問8-4へ

《問8で「1」から「4」(就労している)のいずれかに○をつけた方にうかがいます。》

問8-1 お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日

1日当たり 時間

問8-2 お母さんが家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

【数字を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
自営業等で就労場所が自宅の場合は開始時間と終了時間を回答してください。

家を出る時間 時

帰宅時間 時

《問8で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問8-3 お母さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

《問8で「5」または「6」(現在就労していない)に○をつけた方にうかがいます。》

問8-4 お母さんは、就労したいという希望はありますか。

【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

② パートタイム、アルバイト等(「①」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

《お父さんの就労状況についてうかがいます。母子家庭の場合は5ページ問10へ進んでください。》

問9 お父さんの就労状況をお答えください。【〇は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	→問9-1へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	→ 5ページ 問9-4へ

《問9で「1」から「4」（就労している）のいずれかに〇をつけた方にうかがいます。》

問9-1 お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり		日		1日当たり			時間
-------	--	---	--	-------	--	--	----

問9-2 お父さんが家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

【数字を記入 時間は24時間制、時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
自営業等で就労場所が自宅の場合は開始時間と終了時間を回答してください。

家を出る時間			時		帰宅時間			時
--------	--	--	---	--	------	--	--	---

《問9で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。》

問9-3 お父さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問9で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-4 お父さんは、就労したいという希望はありますか。

【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】

- ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム、アルバイト等（「①」以外）
→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

平日の「幼児教育・保育事業」の利用状況についてうかがいます。

問10 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「幼児教育・保育事業」を定期的に利用されていますか。【○は1つ】

1. 利用している

2. 利用していない → 6ページ問10-5へ

《問10で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。》

▶問10-1 あて名のお子さんは、平日どのような幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

【○は当てはまるものすべて】

1. 幼稚園（通常就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した保育施設）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 無認可保育所（認可外保育施設）
6. 事業所内保育施設（企業や病院などで従業員用に運営する施設）
7. ファミリー・サポート・センター
8. 居宅訪問型保育（いわゆるベビーシッター）
9. その他（ ）

問10-2 平日に定期的に利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在 【週当たりの日数と利用時間（何時から何時まで）を数字で記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1週当たり 日利用 【利用時間】 時 ~ 時

(2) 希望 【週当たりの日数と利用時間（何時から何時まで）を数字で記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1週当たり 日利用 【利用時間】 時 ~ 時

問10-3 現在、利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）の実施場所をお答えください。【〇は1つ】

1. お住まいの小学校区域内の施設
2. お住まいの小学校区域外の村内施設
3. 自宅（ベビーシッターなど）
4. 村外の幼児教育・保育事業施設
5. その他（）

問10-4 平日に定期的に幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用されている主な理由として当てはまるものをお答えください。【〇は当てはまるものすべて】

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている者が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている者が就労予定である／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている者が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている者が病気や障がいがある
6. 子育て（教育を含む）をしている者が学生である
7. その他（）

《問10で「2. 利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。》

問10-5 幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用していない主な理由として当てはまるものをお答えください。【〇は当てはまるものすべて・「8」の場合は年齢を記入】

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、幼児教育・保育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため →（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（）

《すべての方にうかがいます。》

問 1 1 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

【〇は当てはまるものすべて】

これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園での預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した保育施設）
4. 無認可保育所（認可外保育施設）
5. 事業所内保育施設（企業や病院などで従業員用に運営する施設）
6. ファミリー・サポート・センター
7. 居宅訪問型保育（いわゆるベビーシッター）
8. 家庭的保育（いわゆる保育ママ）
9. 定員20人未満の小規模認可保育施設
10. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
11. その他（)
12. 利用したいと思わない

問 1 1 - 1 幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用したい場所をお答えください。

【〇は1つ】

1. お住まいの小学校区域内的の施設
2. お住まいの小学校区域外の村内施設
3. 自宅（ベビーシッターなど）
4. 村外の幼児教育・保育事業施設
5. 通勤圏内の施設
6. その他（)

問 1 1 - 2 幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を選択される際に特に重視することをお答えください。【〇は2つまで】

1. 居住地に近い場所
2. 勤務先の近く・通勤に便利な場所
3. 延長保育や休日保育など保育機能
4. 教育・保育の方針・内容
5. 幼稚園教諭、保育士などの対応
6. 利用料金の安さ
7. その他（)

**あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
幼児教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼児教育・保育事業*（幼稚園や保育所等）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

*「幼児教育・保育事業」とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日 【○は1つ・「2」、「3」の場合は利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 利用を希望しない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

[利用したい時間帯]
(時から 時まで)

(2) 日曜日・祝日 【○は1つ・「2」、「3」の場合は利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 利用を希望しない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

[利用したい時間帯]
(時から 時まで)

《幼稚園を利用されている方にうかがいます。》

問13 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）の利用を希望しますか。【○は1つ・「2」、「3」の場合は利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

これらの事業の利用には、一定の利用者負担があります。

1. 利用を希望しない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

[利用したい時間帯]
(時から 時まで)

あて名のお子さんの地域の子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがい

問14 あて名のお子さんが、現在、地域子育て支援拠点事業*を利用していますか。

【○は当てはまるものすべて・利用している事業は利用回数を記入】

*「地域子育て支援拠点事業」とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「地域子育て支援センター」等と呼ばれています。

1. 保育所で行う「地域子育て支援センター」の利用について

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. 利用していない

3. 今は利用していないが、以前利用したことがある

問15 問14のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思えますか。【○は1つ・利用を希望する場合は希望利用回数を記入】

事業の利用には、一定の利用者負担がある場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

〔利用したい回数〕 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、利用回数を増やしたい

〔増やしたい回数〕 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

**あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。
(平日に幼稚園や保育所などの幼児教育・保育事業を利用する方のみ)**

《平日の定期的な幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）を利用していると答えた保護者の方（問10で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、11ページ問17にお進みください。》

問16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）が利用できなかったことはありますか。【○は1つ】

1. あった

2. なかった →11ページ問17へ

《問16で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

→問16-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼児教育・保育事業（幼稚園や保育所等）が利用できなかった場合にどのように対応しましたか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの日数を記入（半日程度対応の場合も1日とカウント）】

- | | | | | | |
|----------------------------------|---|----------------------|----------------------|----------------------|-----|
| 1. 父親が仕事を休んだ | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 2. 母親が仕事を休んだ | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 4. 就労していない保護者がみた | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 5. 病児・病後児の保育施設を利用した | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 6. 居宅訪問型保育（いわゆるベビーシッター）を頼んだ..... | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 8. その他（ ） | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |

《問16-1で「1」または「2」（父親・母親が仕事を休んだ）に○をつけた方にうかがいます。》

→問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【○は1つ・利用したい場合は日数を記入】

病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日/年
2. 利用したいと思わない

あて名のお子さんの不定期の保育サービスの利用についてうかがいます。

問17 あて名のお子さんについて、この1年間に、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用日数を記入】

1. 幼稚園の預かり保育 ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)				
2. 一時預かり ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する)				
3. ファミリー・サポート・センター ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
4. 居宅訪問型保育(いわゆるベビーシッター) ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
5. 無認可保育所(認可外保育施設) ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
6. その他 ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
7. 利用していない				

問18 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。【○は1つ】

これらの事業の利用には、一定の利用者負担があります。

1. 利用したい

2. 利用する必要はない →12 ページ問19へ

《問18で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

→問18-1 どのような目的で、どのくらいの日数を利用したいですか。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入】

1. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事、リフレッシュ目的等) ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 ……→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
3. 不定期の就労 ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
4. その他() ……………→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年

《すべての方にかがいます。》

問19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）によりあて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【○は1つ】

1. あった

2. なかった →13 ページ問20へ

《問19で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。》

→問19-1 この1年間にどのように対応しましたか。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの1年間の泊数を記入】

1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった → 泊/年

2. 認可外保育施設やベビーシッター等を利用した → 泊/年

3. 仕方なく子どもを同行させた → 泊/年

4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた → 泊/年

5. その他 () → 泊/年

《問19-1で「1. 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にかがいます。》

→問19-2 親族や知人にみてもらうのは困難でしたか。【○は1つ】

1. 非常に頼みづらかった

2. どちらかというと頼みづらかった

3. 問題なく頼めた

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。⇒5歳未満の方は、問22へ

問20 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

*1「放課後子ども教室」とは、地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

*2「放課後児童クラブ」とは、地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室(チャグホ塾、たきざわっ子いきいきクラブ) *1	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ[学童保育] *2	週（ ）日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

問21 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室(チャグホ塾、たきざわっ子いきいきクラブ) *1	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ[学童保育] *2	週（ ）日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問22 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由をお答えください。

【○は1つ・「2」は月数、「3」は主な理由の番号を3つまで記入】

母親（○は1つ）	父親（○は1つ）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から主な理由の番号を3つまで選んでご記入ください） <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から主な理由の番号を3つまで選んでご記入ください） <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった（育休取得後の職場復帰が困難）
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所（園）などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
 15. その他（ ）

子どもの虐待についてうかがいます。

問23 今までに子どもを虐待しているのを見たり聞いたりしたことはありますか。【○は1つ】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 見たことがある 2. 噂を聞いたことがある 3. 相談されたことがある 	<p style="text-align: center;">→15 ページ 問23-1へ</p>
4. 見たことも聞いたこともない →15 ページ問24へ	

《問23で「1」から「3」のいずれか（見たり聞いたりしたことがある）に○をつけた方にうかがいます。》

問23-1 虐待を見たり聞いたりしたときに、どのように対処しましたか。

【○は当てはまるものすべて】

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 友人・知人に話した | 6. 村役場に連絡した |
| 2. 民生委員・児童委員に連絡した | 7. 児童相談所に連絡した |
| 3. 保育所、幼稚園に連絡した | 8. その他（ ） |
| 4. 警察に連絡した | 9. 何もしなかった |
| 5. 子育て支援センターに連絡した | |

子育てに関する不安・負担感や子育て支援についてうかがいます。

問24 子育てに関して不安感や負担感を感じることがありますか。【○は1つ】

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. まったく感じない |
| 2. 何となく不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担は感じない | |

問25 お住まいの地域における子育て環境や支援について、どのくらい満足していますか。

【○は1つ】

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 満足している | 4. 不満である |
| 2. まあまあ満足している | 5. なんともいえない |
| 3. あまり満足していない | |

問26 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと思いますか。

【○は当てはまるものすべて】

*「要保護児童」とは、保護者のない児童又は、保護者の疾病や保護者による虐待等により、保護者に監護させることが不適當であると認められる児童のことです。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 保育サービスの充実 | 7. 子どもの教育環境の充実 |
| 2. 仕事と家庭生活の両立 | 8. 地域における子どもの活動拠点の充実 |
| 3. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 | 9. 母親・乳児の健康に対する安心 |
| 4. 地域における子育て支援の充実 | 10. 子育て支援のネットワークづくり |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 11. 要保護児童*に対する支援 |
| 6. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | 12. その他（ ） |

滝沢村

子育てに関するアンケート調査

小学生用

【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より児童福祉行政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、滝沢村では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育・子育て支援の充実を図るため5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとなりました（平成27年度から実施予定）。

この調査は、皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するために実施するものであり、村内にお住まいの小学生のお子さんがいらっしゃるご家庭の中から無作為に選ばせていただいた2,000人の保護者の方に、ご協力をお願いするものです。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

滝沢村長 柳村典秀

■記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**平成26年1月6日（月）まで**にポストへお入れください（切手は不要です）。

■この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】

岩手郡滝沢村鵜飼字中鵜飼55番地

滝沢村 健康福祉部 児童福祉課

TEL 019-684-2111（代）

FAX 019-684-2245

【 記入にあたってのお願い 】

1. 回答は、特にことわりがない場合は、同居の小学生のお子さんすべてについて、保護者の方がお答えください。
2. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。選択肢の「その他」を選ばれ、() がある場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
3. 数字（年齢や時間帯等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。また、**時間については24時間制**でご記入ください。（例：午後1時 → 13時）
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
5. 放課後児童クラブなどの預りサービスについておうかがいする質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：放課後児童クラブの入所要件など）を全て表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、担当課窓口にご相談ください。

《用語の定義》

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

名 称	内 容
放課後児童クラブ	地域によって学童保育などと呼ばれる。小学校就学後の、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。
放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。

封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問1 あて名のお子さんのお住まいの地域はどちらですか。【○は1つ】

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 篠木小学校区 | 6. 姥屋敷小学校区 |
| 2. 滝沢小学校区 | 7. 柳沢小学校区 |
| 3. 滝沢第二小学校区 | 8. 滝沢東小学校区 |
| 4. 鶴飼小学校区 | 9. その他 () |
| 5. 一本木小学校区 | |

問2 あて名のお子さんは何年生ですか。【○は1つ】

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いますか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。【数字を記入】

きょうだい人数 人 (あて名のお子さんを含めた人数)

一番下のお子さんの生年月 平成 年 月生まれ

問4 あて名のお子さんと同居(2世帯住宅を含む)されている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。【○は当てはまるものすべて】

また、同居されている家族全員(ご両親とお子さんを含む)の人数を [] 内に数字でご記入ください。【数字を記入】

- | | | | |
|-------|-------|------------|--------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟姉妹 | 家族人数 計 [] 人 |
| 4. 祖母 | 5. 祖父 | 6. その他 () | |

問5 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

- | | |
|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父 |
| 2. 主に母親 | 5. その他 () |
| 3. 主に父親 | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない →問8へ

▶ 《問7で「1」から「4」のいずれか（みてもらえる親族・知人がいる）に○をつけた方にうかがいます。》

問7-1 祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【○は当てはまるものすべて】

- 1. 祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2. 祖父母、友人等の身体的負担が大きく、心配である
- 3. 祖父母、友人等の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6. その他（)

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

《お母さんの就労状況についてうかがいます。父子家庭の場合は4ページ問9へ進んでください。》

問8 お母さんの就労状況をお答えください。【○は1つ】

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまで就労したことがない

→ 3ページ
問8-1へ

→ 3ページ
問8-4へ

《問8で「1」から「4」（就労している）のいずれかに○をつけた方にうかがいます。》

問8-1 お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。

1週当たり 日

1日当たり 時間

問8-2 お母さんが家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

【数字を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。
自営業等で就労場所が自宅の場合は開始時間と終了時間を回答してください。

家を出る時間 時

帰宅時間 時

《問8で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問8-3 お母さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問8で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問8-4 お母さんは、就労したいという希望はありますか。

【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

② パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

《お父さんの就労状況についてうかがいます。母子家庭の場合は5ページ問10へ進んでください。》

問9 お父さんの就労状況をお答えください。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

→問9-1へ

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→5ページ
問9-4へ

《問9で「1」から「4」（就労している）のいずれかに○をつけた方にうかがいます。》

問9-1 お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。【数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。

1週当たり

日

1日当たり

時間

問9-2 お父さんが家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

【数字を記入 時間は24時間制、時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。
自営業等で就労場所が自宅の場合は開始時間と終了時間を回答してください。

家を出る時間

時

帰宅時間

時

《問9で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-3 お父さんは、フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問9で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-4 お父さんは、就労したいという希望はありますか。

【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）			
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい			
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】			
<table border="0"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td> ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム、アルバイト等（「①」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table>	{	① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム、アルバイト等（「①」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	}
{	① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム、アルバイト等（「①」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	}	

あて名のお子さんの小学校卒業までの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

- *1「放課後子ども教室」とは、地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
- *2「放課後児童クラブ」とは、地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週（ <input type="text"/> ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ <input type="text"/> ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ <input type="text"/> ）日くらい
4. 放課後子ども教室(チャグホ塾、たきざわっ子いきいきクラブ) *1	週（ <input type="text"/> ）日くらい
5. 放課後児童クラブ[学童保育] *2	週（ <input type="text"/> ）日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ <input type="text"/> ）日くらい
7. その他（地域交流センター、公園、図書館など）	週（ <input type="text"/> ）日くらい

問11 あて名のお子さんについて、これから小学校卒業まで、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

【○はあてはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入 「放課後児童クラブ」の場合には利用希望時間を記入 時間は24時間制、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げ】

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室（チャグホ塾、たきざわっ子いきいきクラブ）	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ[学童保育]	週（ ）日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（地域交流センター、公園、図書館など）	週（ ）日くらい

あて名のお子さんの放課後児童クラブの現在の利用状況をうかがいます。

問12 あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。【○は1つ】

1. 利用している 2. 利用していない ---▶ 問12-3へ

《問12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問12-1 利用の状況をお答えください。【時間は24時間制（例：午後6時→18時）】

【利用している日数】 1週当たり 日

【利用している時間帯】

（平日） 放課後から 時 分まで

（長期休暇中） 時 分から 時 分まで

【土曜日の利用】 1. 利用している 2. 利用していない

【利用している理由】（○は1つ）

お子さんの身の回りの世話をしている方が

1. 現在就労している 3. 病気や障害がある

2. 家族・親族などを介護している 4. その他（ ）

問 1 2 - 2 現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。

【○は当てはまるものすべて】

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 開設時間を延長してほしい | 5. 指導内容を工夫してほしい |
| 2. 日曜日・祝日も開いてほしい | 6. 指導員の対応をよくしてほしい |
| 3. お盆・年末年始に開いてほしい | 7. その他 () |
| 4. 施設設備を改善してほしい | 8. 特にない |

《問 1 2 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。》

問 1 2 - 3 放課後児童クラブを利用していないのはなぜですか。【○は主な理由 1 つ】

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 利用する必要がないから | 5. 放課後児童クラブの開設時間が短いから |
| 2. 放課後児童クラブを知らなかったから | 6. 利用料がかかるから (または高いから) |
| 3. 近くに、放課後児童クラブがないから | 7. その他 () |
| 4. 放課後児童クラブに空きがないから | |

あて名のお子さんの今後の放課後児童クラブの利用希望をうかがいます。

《現在利用している方、利用していない方、すべての方へうかがいます。》

- * 現在利用している方で、現在の利用のままでよい方も、その利用回数・時間等を記入してください。
- * 放課後児童クラブの利用料は月額 5,000 円～9,000 円程度(クラブ・学年によって異なります)、開設時間は平日放課後から概ね 18 時まで、長期休業中及び代休日(夏休み等)は概ね 8 時から 18 時までです。

問 1 3 あて名のお子さんは、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【○は 1 つ】

1. 利用したい

2. 利用希望はない ---▶ 9 ページ問 14 へ

《問 1 3 で「1. 利用したい」に○をつけた方へうかがいます。》

→ 問 1 3 - 1 利用したい日数、時間などをお答えください。【時間は 24 時間制(例：午後 6 時→18 時)】

【利用したい日数】 1 週当たり 日

【利用したい時間帯】

(平日) 放課後から 時 分まで

(長期休暇中) 時 分から 時 分まで

【土曜日の利用】 1. 利用したい 2. 利用希望はない

【何年生まで利用したいか】(○は 1 つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1 年生まで | 4. 4 年生まで |
| 2. 2 年生まで | 5. 5 年生まで |
| 3. 3 年生まで | 6. 6 年生まで |

【利用を希望する理由】(○は 1 つ)

お子さんの身の回りの世話をしている方が

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 現在就労している | 3. 病気や障害がある |
| 2. 家族・親族などを介護している | 4. その他 () |

あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。

問14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。

【○は1つ】

1. あった

2. なかった →10ページ問15へ

《問14で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

▶問14-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合にどのように対応しましたか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入（半日程度対応の場合も1日とカウント）】

- | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------------------|----------------------|----------------------|-----|
| 1. 父親が仕事を休んだ | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 2. 母親が仕事を休んだ | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 4. 就労していない保護者がみた | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 5. 病児・病後児の保育施設を利用した | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 6. 居宅訪問型保育(いわゆるベビーシッター)を頼んだ | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 7. ファミリー・サポート・センターを利用した | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |
| 9. その他() | → | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日/年 |

《問14-1で「1」または「2」(父親・母親が仕事を休んだ)に○をつけた方にうかがいます。》

▶問14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【○は1つ・利用したい場合は日数を記入】

病児・病後児保育は概ね小学校1年生から3年生が対象となります。

病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日/年

2. 利用したいと思わない

あて名のお子さんの不定期の保育サービスの利用についてうかがいます。

問15 あて名のお子さんについて、この1年間に、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用日数を記入】

1. 日中預かり (保護者が病気などの際に、緊急一時的に児童養護施設等で子どもを預かる事業)	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
2. ファミリー・サポート・センター	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
3. 短期入所生活援助事業(ショートステイ) (保護者の仕事等の際に、児童養護施設等で、泊りがけで子どもを預かる事業)	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
4. トワイライトステイ (保護者が仕事等で帰宅が夜間になる場合、児童養護施設等で夕食の世話等を行う事業)	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
5. ベビーシッター	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
6. その他	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
7. 利用していない					

問16 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。【○は1つ】

これらの事業の利用には、一定の利用者負担があります。

1. 利用したい

2. 利用する必要はない →11 ページ問17へ

《問16で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

▶問16-1 どのような目的で、どのくらいの日数を利用したいですか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入】

1. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事、リフレッシュ目的等)	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
3. 不定期の就労	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年
4. その他()	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日/年

《すべての方にうかがいます。》

問17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病期など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことがありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【○は1つ】

1. あった

2. なかった →12 ページ問18へ

《問17で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

▶問17-1 この1年間にどのように対応しましたか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の泊数を記入】

1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった> 泊/年

2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した> 泊/年
(児童養護施設等で、泊りがけで子どもを預かる事業)

3. 2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）> 泊/年
を利用した

4. 仕方なく子どもを同行させた> 泊/年

5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた> 泊/年

6. その他（ ）> 泊/年

《問17-1で「1. 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。》

▶問17-2 親族や知人にみてもらうのは困難でしたか。【○は1つ】

1. 非常に頼みづらかった
2. どちらかというと頼みづらかった
3. 問題なく頼めた

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問18 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由をお答えください。

【○は1つ・「2」は月数、「3」は主な理由の番号を3つまで記入】

母親（○は1つ）	父親（○は1つ）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から主な理由の番号を3つまで選んでご記入ください） <input style="width: 40px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 25px;" type="text"/>	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から主な理由の番号を3つまで選んでご記入ください） <input style="width: 40px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 25px;" type="text"/>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった（育休取得後の職場復帰が困難）
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所（園）などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
 15. その他（ ）

子どもの虐待についてうかがいます。

問19 今までに子どもを虐待しているのを見たり聞いたりしたことはありますか。【○は1つ】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 見たことがある 2. 噂を聞いたことがある 3. 相談されたことがある 	<p style="text-align: center;">→13 ページ 問19-1へ</p>
4. 見たことも聞いたこともない →13 ページ問20へ	

《問19で「1」から「3」のいずれか（見たり聞いたりしたことがある）に○をつけた方にうかがいます。》

問19-1 虐待を見たり聞いたりしたときに、どのように対処しましたか。

【○は当てはまるものすべて】

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 友人・知人に話した | 6. 村役場に連絡した |
| 2. 民生委員・児童委員に連絡した | 7. 児童相談所に連絡した |
| 3. 保育所、幼稚園に連絡した | 8. その他（ ） |
| 4. 警察に連絡した | 9. 何もしなかった |
| 5. 子育て支援センターに連絡した | |

子育てに関する不安・負担感や子育て支援についてうかがいます。

問20 子育てに関して不安感や負担感を感じるがありますか。【○は1つ】

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. まったく感じない |
| 2. 何となく不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担は感じない | |

問21 お住まいの地域における子育て環境や支援について、どのくらい満足していますか。

【○は1つ】

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 満足している | 4. 不満である |
| 2. まあまあ満足している | 5. なんともいえない |
| 3. あまり満足していない | |

問22 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと思いますか。

【○は当てはまるものすべて】

*「要保護児童」とは、保護者のない児童又は、保護者の疾病や保護者による虐待等により、保護者に監護させることが不相当であると認められる児童のことです。

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 保育サービスの充実 | 7. 子どもの教育環境の充実 |
| 2. 仕事と家庭生活の両立 | 8. 地域における子どもの活動拠点の充実 |
| 3. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 | 9. 母親・乳児の健康に対する安心 |
| 4. 地域における子育て支援の充実 | 10. 子育て支援のネットワークづくり |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 11. 要保護児童*に対する支援 |
| 6. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | 12. その他（ ） |

子育てに関するアンケート調査 調査結果報告書

滝沢市

平成 26 年 3 月

滝沢市役所 健康福祉部 児童福祉課

滝沢市中鶴飼 55

TEL : 019-684-2111 FAX : 019-684-2245